

取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

AVENSIS



TABLE OF CONTENTS

目次

1 運転する前に

運転するまでに必要となる操作、ご注意が説明してあります。

2 運転するときに

走行・停止の方法や、安全運転の方法が説明してあります。

3 室内装備の使い方

室内装備を快適にご使用いただくための説明がしてあります。

4 お手入れのしかた

車のお手入れ・メンテナンスに関する方法が説明してあります。

5 トラブルが起きたら

故障やパンクしたときなど、万一のときの対処に関する説明がしてあります。

6 車両仕様

車の仕様やカスタマイズ機能に関する情報が記載してあります。

さくいん

本書に記載されている情報を五十音順などの方法で探すことができます。

1 運転する前に

1-1. キーの取り扱い	
キー	20
1-2. ドアの開閉のしかた、 ロックのしかた	
スマートエントリー& スタートシステム	22
ワイヤレスリモコン	34
ドア (フロントドア・リヤドア)	36
バックドア	41
1-3. シート・ハンドル・ミラーの 調整のしかた	
フロントシート	46
リヤシート	48
ヘッドレスト	50
シートベルト	52
ハンドル	57
インナーミラー	58
ドアミラー	59
1-4. ドアガラスの開け方、閉め方	
パワーウィンドウ	61
1-5. 給油のしかた	
給油口の開け方	64

1-6. 盗難防止システム

エンジンモビライザー システム	68
--------------------------	----

1-7. 安全にお使いいただくために

正しい運転姿勢	69
SRS エアバッグ	71
子供専用シート	80
チャイルドシートの取り付け	89

2 運転するときに

2-1. 運転のしかた

運転にあたって	98
エンジン (イグニッション) スイッチ	108
トランスミッション	112
方向指示レバー	117
パーキングブレーキ	118
ホーン (警音器)	120

2-2. メーターの見方

計器類	121
表示灯/警告灯	124
マルチインフォメーション ディスプレイ	127

2-3. ライトのつけ方、ワイパーの 使い方

ライトスイッチ	135
リヤフォグライトスイッチ	139
ワイパー & ウォッシャー (フロント)	140
ワイパー & ウォッシャー (リヤ)	144

2-4. その他の走行装置の使い方

運転を補助する装置	146
-----------------	-----

2-5. 様々な状況での運転

荷物を積むときの注意	151
寒冷時の運転	153

3 室内装備の使い方

3-1. エアコン・デフォグガーの 使い方

オートエアコン	158
リヤウインドウデフォグガー (曇り取り)	166

3-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧	167
・メインスイッチ	168
・パーソナルライト/ インテリアライト	168

3-3. 収納装備の使い方

収納装備一覧	170
・グローブボックス	171
・コンソールボックス	172
・小物入れ	173
・カップホルダー	174
・ボトルホルダー	175

3-4. その他の室内装備の使い方

サンバイザー	177
バニティミラー	178
灰皿	179
シガレットライター	180
アクセサリースOCKET	181
リヤセンターアームレスト	182
ラゲージスルー	183
フロアマット	184
ラゲージルーム内装備	186
ステアリングスイッチ	190

1

2

3

4

5

6

4 お手入れのしかた

4-1. お手入れのしかた

外装の手入れ.....	192
内装の手入れ.....	197
タイヤについて.....	200

4-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット.....	203
ガレージジャッキ.....	206
エンジンルームカバー.....	208
電球（バルブ）の交換.....	210
ヒューズの点検・交換.....	220
キーの電池交換.....	229
ウォッシュ液の補給.....	232
エアコンフィルターの 清掃・交換.....	233
ワイパーゴムの交換.....	235

5 トラブルが起きたら

5-1. まず初めに

故障したときは.....	238
非常点滅灯.....	239
発炎筒.....	240
けん引について.....	242
フューエルポンプ シャットオフシステム.....	247
イベントデータレコーダー.....	248

5-2. 緊急時の対処法

警告灯がついたときは.....	250
警告メッセージが表示された ときは.....	254
パンクしたときは.....	256
エンジンがかからない ときは.....	266
シフトレバーがシフト できないときは.....	268
パーキングブレーキが解除 できないときは.....	269
キーをなくしたときは.....	272
電子キーが正常に働かない ときは.....	273
バッテリーがあがった ときは.....	275
オーバーヒートしたときは.....	278
スタックしたときは.....	280
車両を緊急停止するには.....	281

6 車両仕様

6-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ
(指定燃料・オイル量など) ... 284

6-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ
機能一覧 289

さくいん

略語一覧 292

五十音順さくいん 293

症状別さくいん 304

1

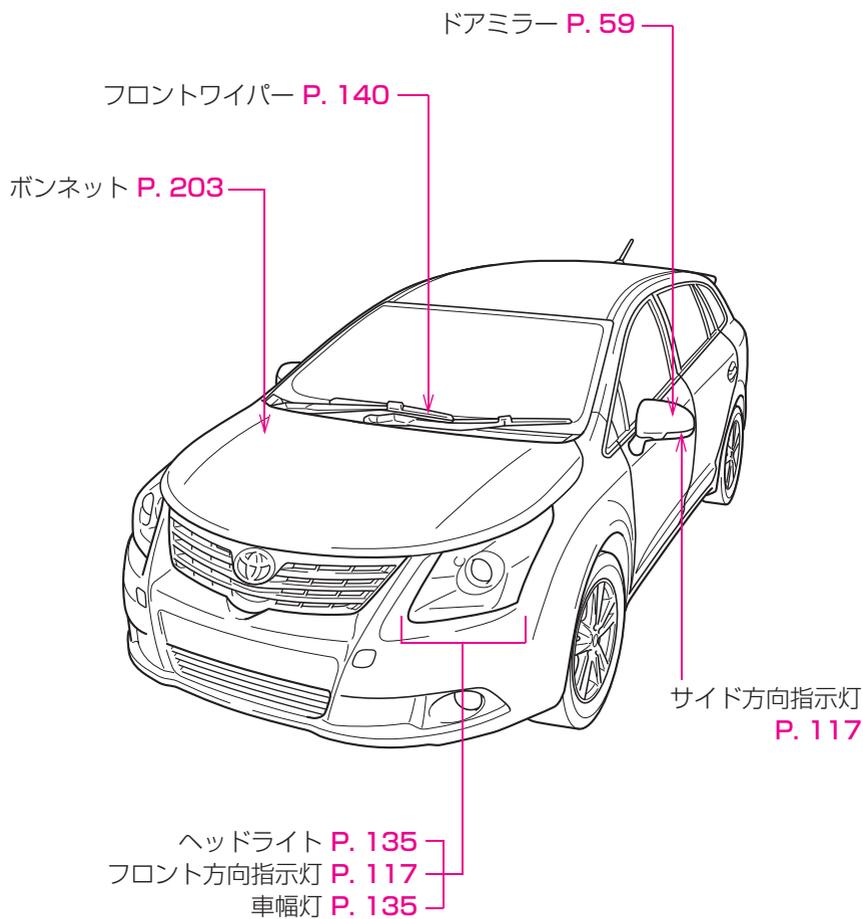
2

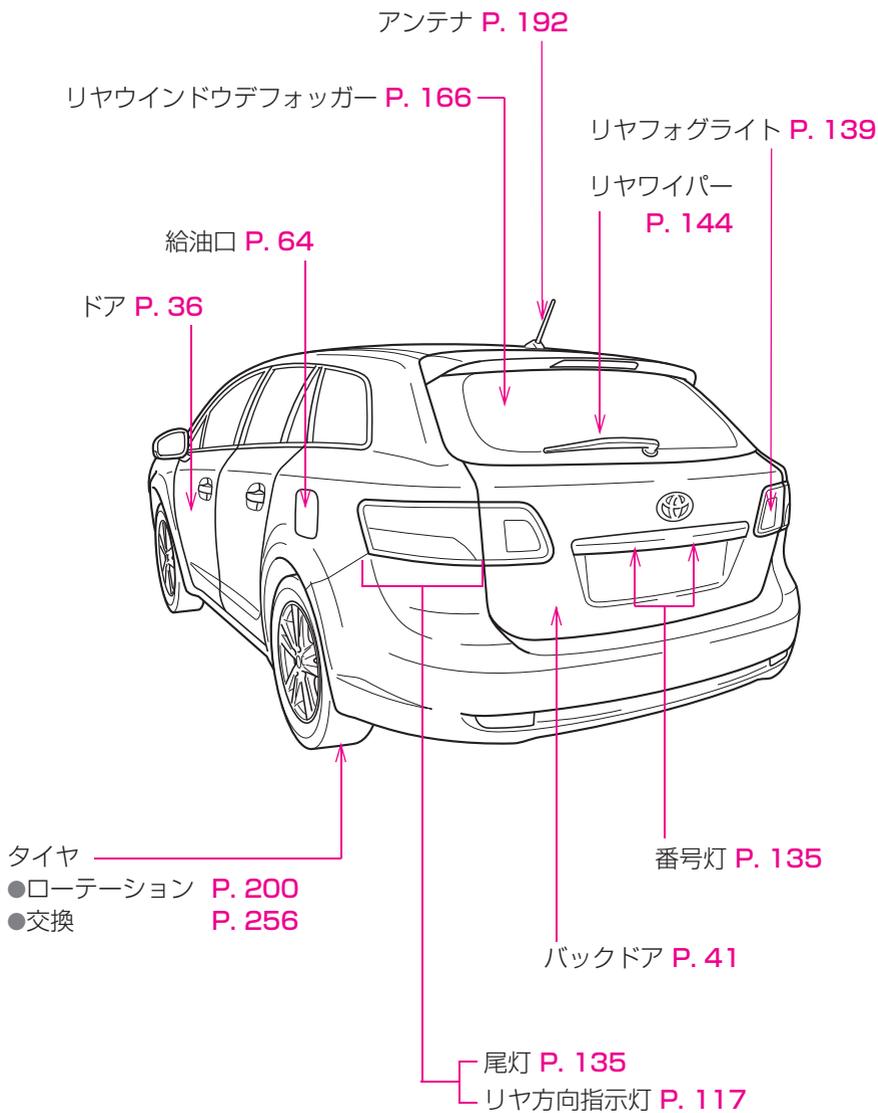
3

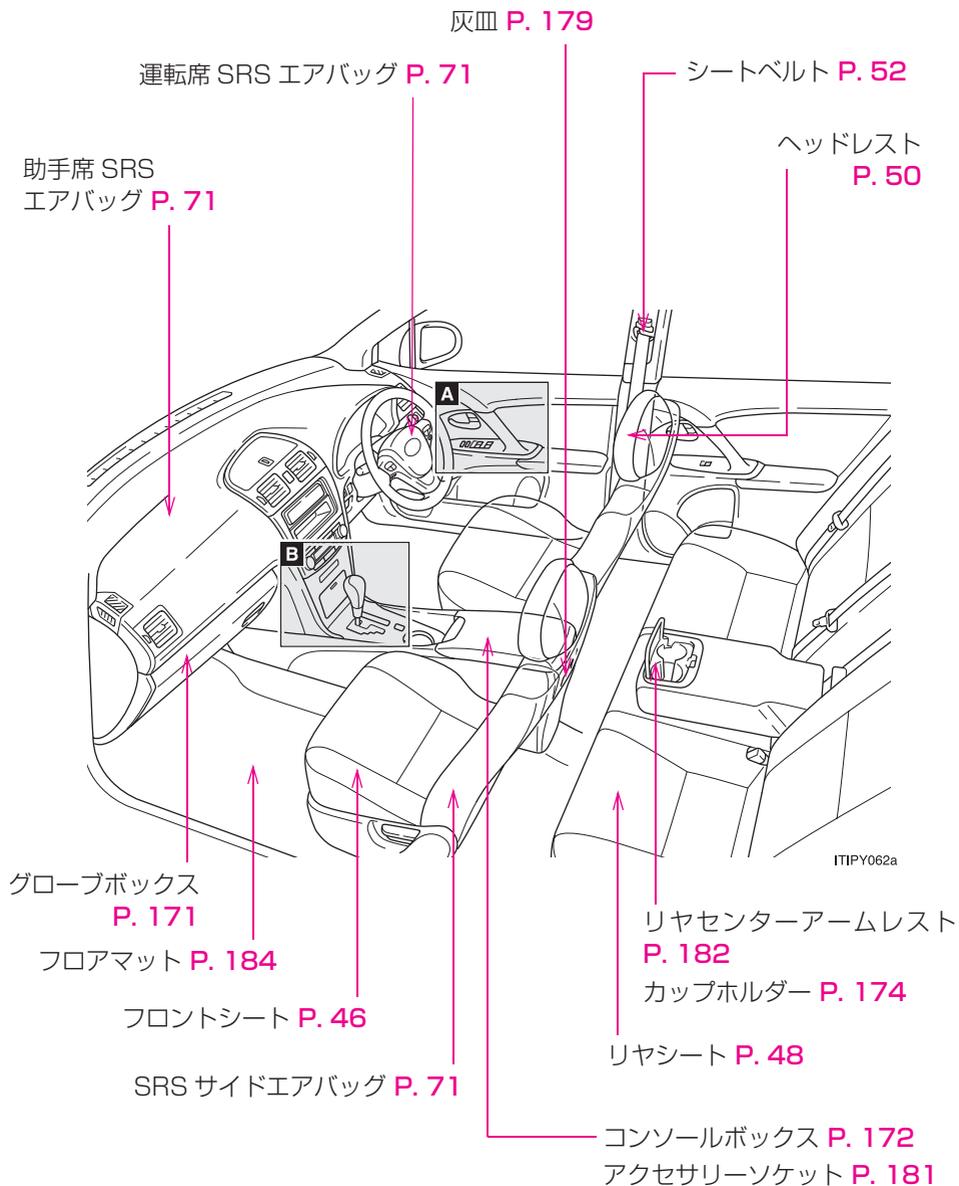
4

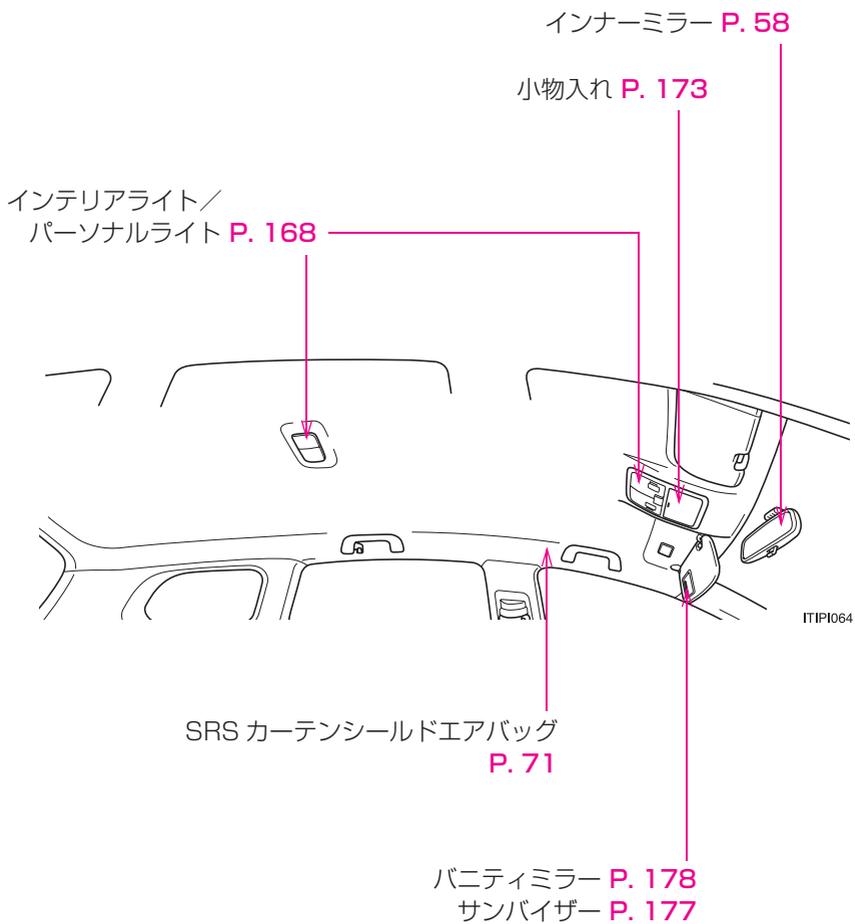
5

6

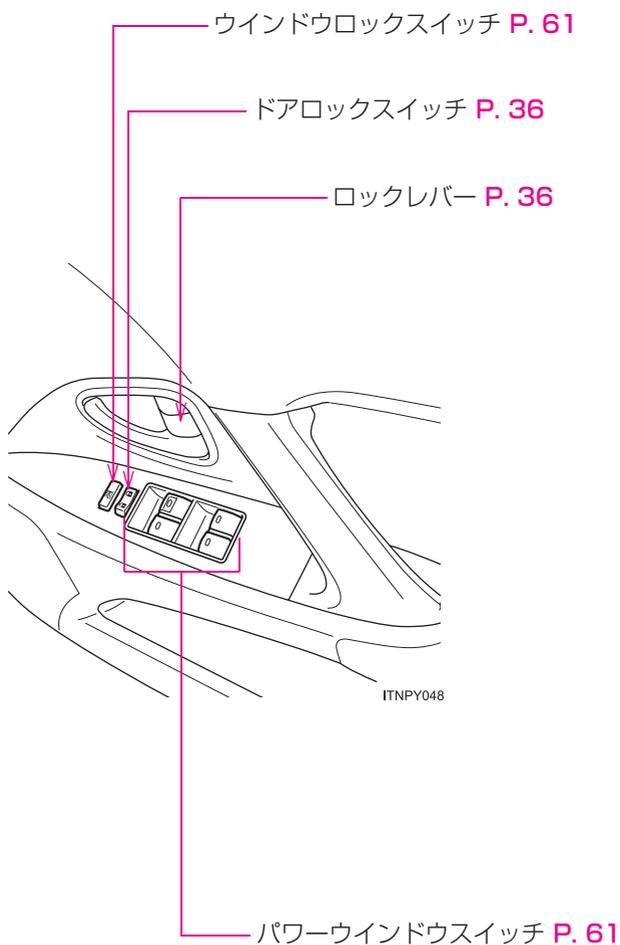








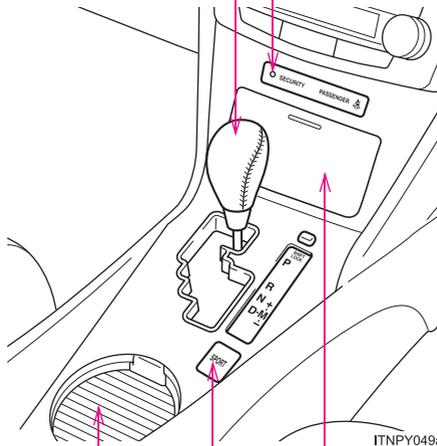
A



B

セキュリティインジケータ P. 68

シフトレバー P. 112



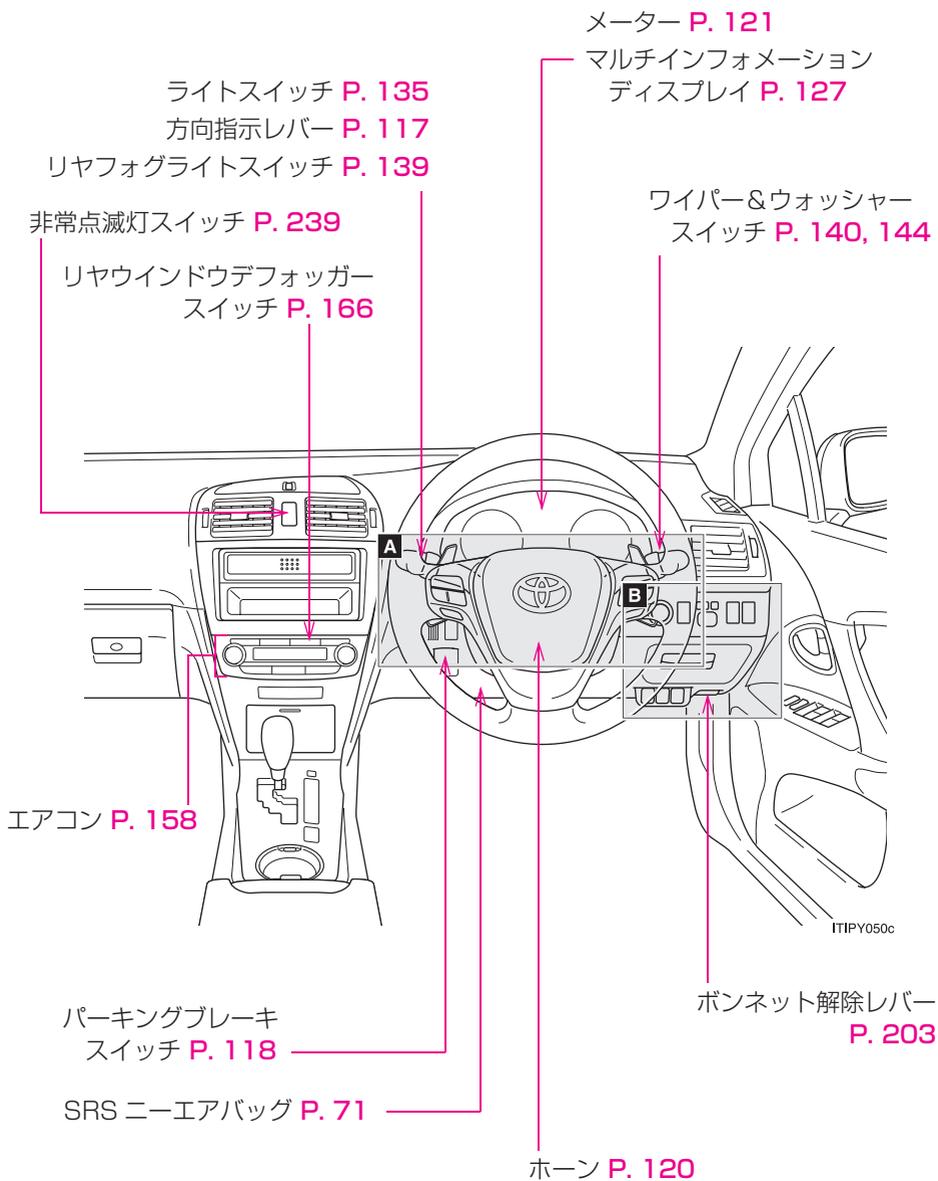
ITNPY049a

カップホルダー P. 174

スポーツモードスイッチ P. 113

灰皿 P. 179

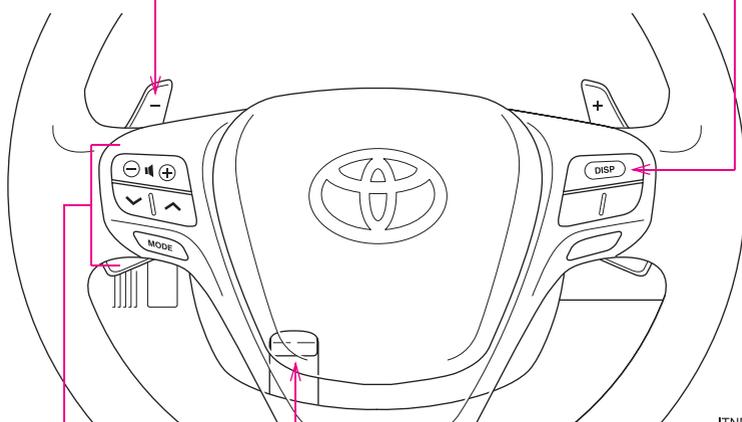
シガレットライター P. 180



A

パドルシフト P. 114

DISP スイッチ
P. 127

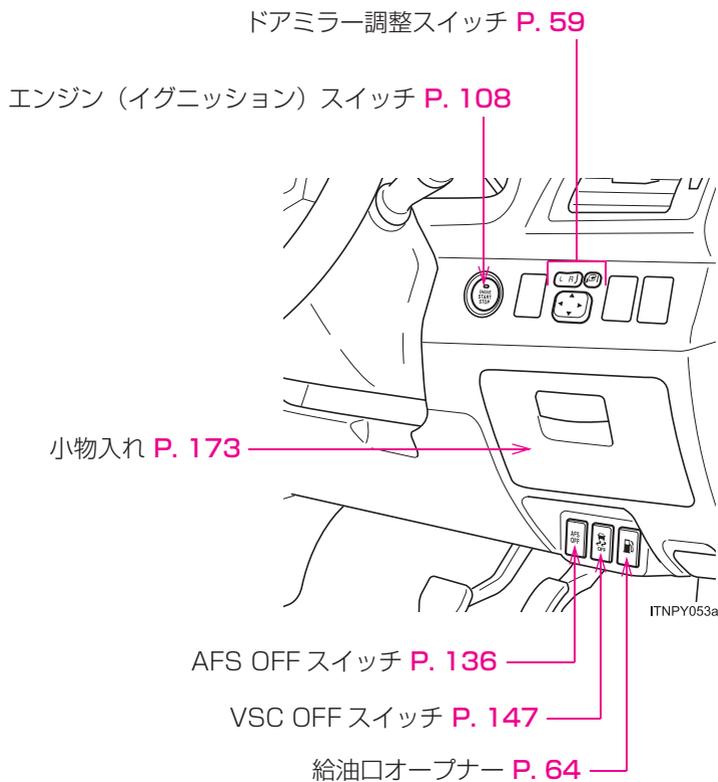


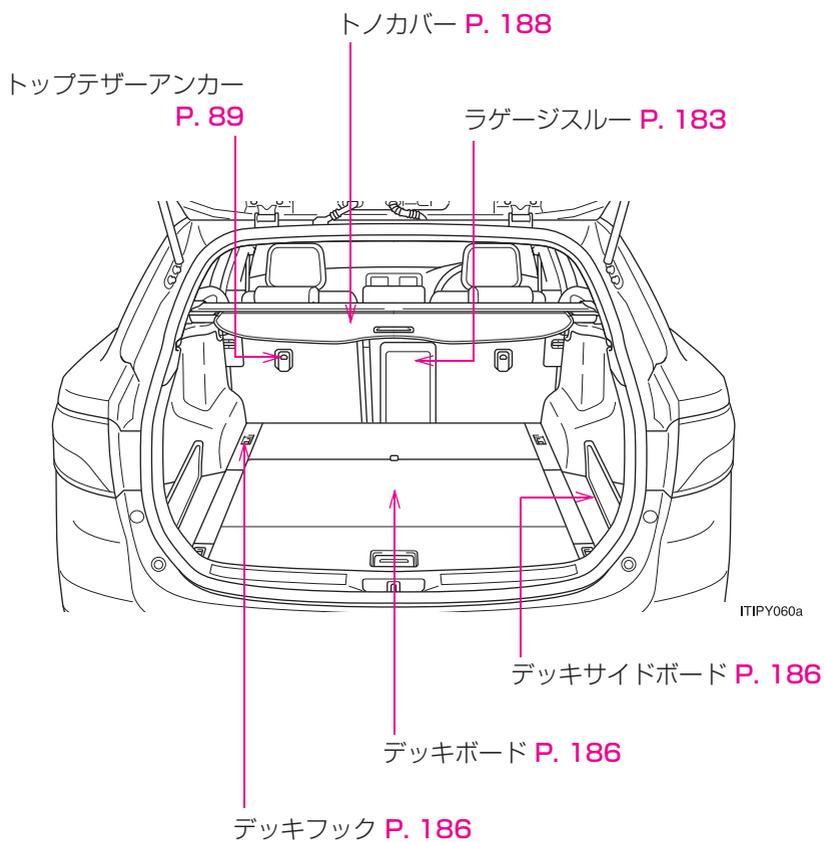
ITNPY052a

ステアリングスイッチ P. 190

ハンドル位置調整レバー P. 57

B





知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。

そのため、お客様のお車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取り扱い説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様のお車の装備と一致しない場合があります。

違法改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違法改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適合しない部品を装着すると、故障の原因になったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
 - ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換
異なる種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、違法改造になることがあります。
 - ・ 電装品・無線機などの取り付け、取りはずし
電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。
- フロントウインドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けしないでください。視界をさまたげるばかりでなく、違法改造につながるおそれがあります。

運転についてのご注意

他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。

飲酒運転は絶対しないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。

運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。

お子さまを乗せるときは

お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、ライター・発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシートの取り付け」(→P. 89)をお読みください。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。(法律で義務付けられています)

本書の中の表示について

警告・注意・知識について

⚠ 警告

ここに記載されていることをお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

⚠ 注意

ここに記載されていることをお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれや、正しい性能を確保できない場合があります。

📖 知識

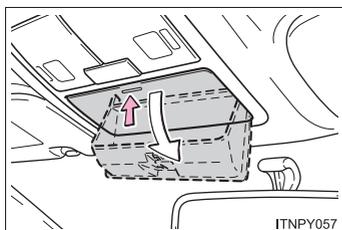
機能の説明や操作方法の説明以外で知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを説明しています。

イラスト内の表示について



セーフティーシンボル

“してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味を表しています。



操作を示す矢印

- ➡ スイッチなどの操作（押す、まわすなど）を示しています。
- ➡ 操作後の作動（フタが開くなど）を示しています。

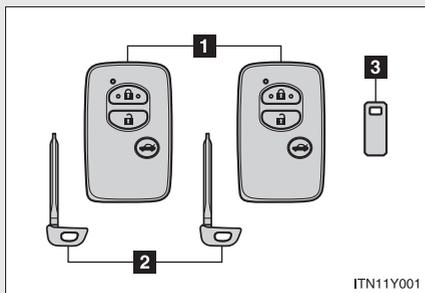
運転する前に

1

- 1-1. キーの取り扱い
 - キー 20
- 1-2. ドアの開閉のしかた、
ロックのしかた
 - スマートエントリー&
スタートシステム 22
 - ワイレスリモコン 34
 - ドア
(フロントドア・リヤドア) ... 36
 - バックドア 41
- 1-3. シート・ハンドル・ミラーの
調整のしかた
 - フロントシート 46
 - リヤシート 48
 - ヘッドレスト 50
 - シートベルト 52
 - ハンドル 57
 - インナーミラー 58
 - ドアミラー 59
- 1-4. ドアガラスの開け方、閉め方
 - パワーウインドウ 61
- 1-5. 給油のしかた
 - 給油口の開け方 64
- 1-6. 盗難防止システム
 - エンジンイモビライザー
システム 68
- 1-7. 安全にお使いいただく
ために
 - 正しい運転姿勢 69
 - SRS エアバッグ 71
 - 子供専用シート 80
 - チャイルドシートの
取り付け 89

キー

お客様へ次のキーをお渡します。



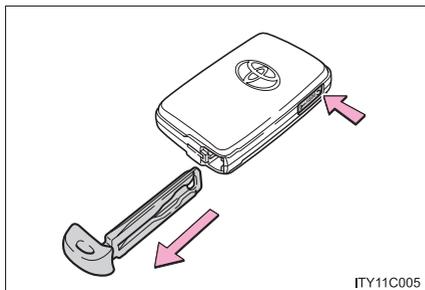
1 電子キー

- ・ スマートエントリー&スタートシステムの作動 (→P. 22)
- ・ ワイヤレス機能の作動 (→P. 34)

2 メカニカルキー

3 キーナンバープレート

メカニカルキーを使うには



メカニカルキーを取り出すには、解除ボタンを押してキーを取り出す

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときや、スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。(→P. 273)

 知識

■ 駐車場などでキーを預けるときは

グローブボックスを施錠します。(→P. 171)
メカニカルキーを取り出し、電子キーのみを渡してください。

■ キーナンバープレート

車の中以外の安全な場所(財布の中など)に保管してください。万一、メカニカルキーを紛失した場合、トヨタ販売店でキーナンバーから新しいキーが作製できます。(→P. 272)

■ 航空機に乗るときは

航空機に電子キーを持ち込む場合は、航空機内で電子キーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

 注意

■ キーの故障を防ぐために

- キーに衝撃を与えたり、直射日光のあたる高温な場所に置いたり、ぬらしたりしないでください。
- キーを磁気のあるものに近付けたり、電磁波を遮断するものをキー表面に貼り付けたりしないでください。
- キーを分解しないでください。

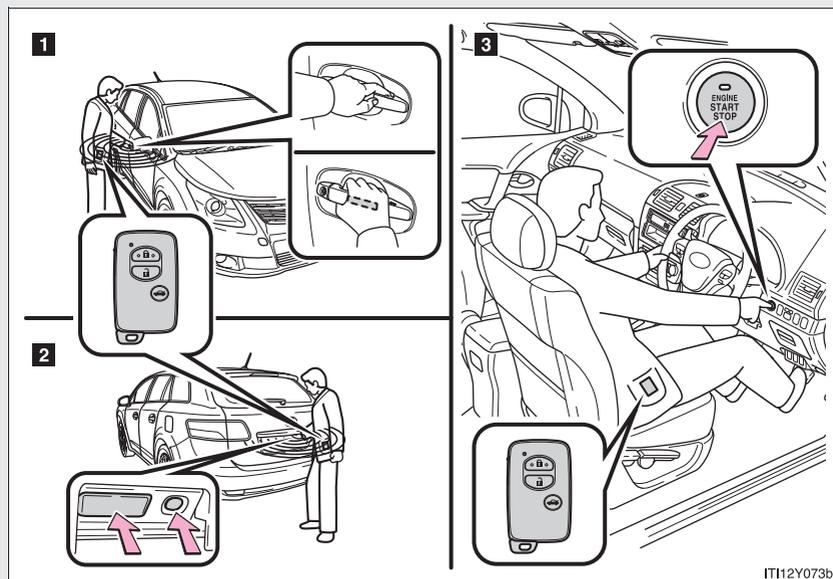
■ 電子キーについて

電子キーは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。

- 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解・改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- 必ず日本国内でご使用ください。

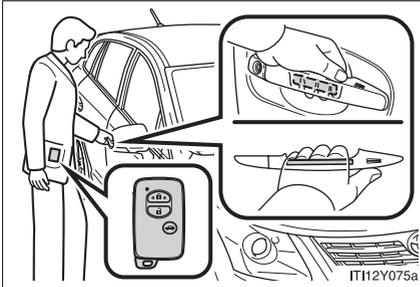
1-2. ドアの開閉のしかた、ロックのしかた スマートエントリー&スタートシステム

電子キーをポケットなどに携帯すると、次の操作が行えます。
(必ず運転者が携帯してください)



- 1** ドアを解錠・施錠する (→P. 23)
- 2** バックドアを解錠・施錠する (→P. 24)
- 3** エンジンを始動する (→P. 108)

ドアの解錠・施錠（フロント席ドアハンドルのみ）



ハンドルを握って解錠する

ハンドル裏面のセンサー部に確実に
ふれてください。

施錠操作後3秒間は、解錠できません。

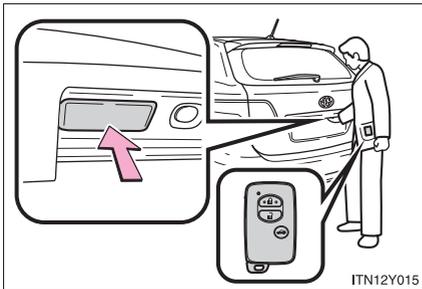


ドアハンドル上側のロックセン
サー部（ハンドルのくぼみ部）に
ふれ施錠する

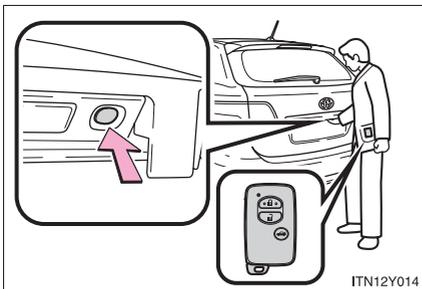
1

運転する前に

バックドアの解錠・施錠



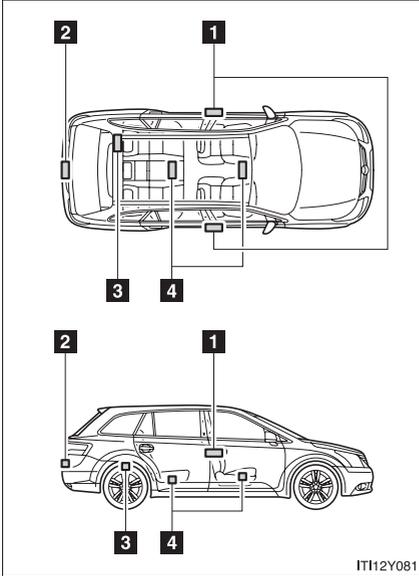
バックドアオープンスイッチを押して解錠する



ロックスイッチを押して施錠する
バックドアを開閉して車両を離れるときは、必ず施錠してください。バックドアを閉めても自動的に施錠されません。

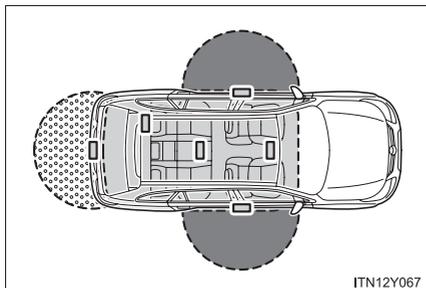
アンテナの位置と作動範囲

■ アンテナの位置



- 1 車外アンテナ
- 2 ラゲージルーム外アンテナ
- 3 ラゲージルーム内アンテナ
- 4 車内アンテナ

■ 作動範囲（電子キーの検知エリア）



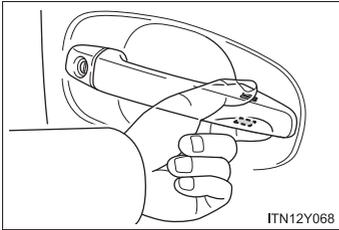
- : ドアの施錠・解錠時
フロントドアハンドルから周囲約70 cm以内で電子キーを携帯している場合に作動します。(電子キーを検知しているドアハンドルのみ作動します)
- : エンジン始動時、またはモード切りかえ時
車内で電子キーを携帯している場合に作動します。
- : バックドアの施錠・解錠時
バックドアハンドルから周囲約70cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。

知識

■ 作動の合図

非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は 1 回、解錠は 2 回)

■ ドアハンドル上側ロックセンサーで施錠できないときは



ドアハンドル上側のロックセンサー部にふれても施錠できないときは、上下のロックセンサー部に同時にふれてください。

■ 機能が正常に働かないおそれのある状況

スマートエントリー&スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に作動しない場合があります。(対処方法：→P. 273)

- 電子キーの電池が消耗しているとき
- 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- 無線機や携帯電話、コードレス式電話などの無線通信機器を携帯しているとき
- 電子キーが次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
 - ・ アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - ・ アルミ箔を使用したタバコの箱
 - ・ 金属製の財布やかばん
 - ・ 小銭
 - ・ カイロ
 - ・ CD や DVD などのメディア
- 複数の電子キーが近くにあるとき
- 近くでほかの電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき

- 電子キーを、次のような電波を発信する製品と同時に携帯または使用しているとき
 - ・ 他の車の電子キーや電波式ワイヤレスリモコン
 - ・ パソコンや携帯情報端末（PDA など）
 - ・ デジタルオーディオプレーヤー
 - ・ ポータブルゲーム機器
- リヤウインドウガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき

■ 節電機能

電子キーの電池と車両のバッテリー保護のため、次の状況ではスマートエントリー&スタートシステムを停止します。

- 5 日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった
- 車両の外約 1 m 以内に電子キーを 10 分以上放置した

次のいずれかを行うと、スマートエントリー&スタートシステムが復帰します。

- ドアハンドルのロックセンサー部にふれて施錠する
- ワイヤレス機能で施錠・解錠する（→P. 34）
- メカニカルキーで施錠・解錠する（→P. 273）

■ 電池の消耗について

- 電池の標準的な寿命は 1～2 年です。（電子キーを使用しなくても電池は消耗します）スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレス機能が作動しなかったり、作動範囲が狭くなったりする場合は、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。（→P. 229）
- 電池残量が少なくなると、エンジンを停止した際に車内から警告音が鳴りません。（→P. 32）
- 電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の 1 m 以内に電子キーを置かないでください。
 - ・ TV
 - ・ パソコン
 - ・ 携帯電話やコードレス電話機、および充電器
 - ・ 電気スタンド
 - ・ 電磁調理器

■システムを正しく作動させるために

電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようにしてください。

作動時の電子キーの位置や持ち方によっては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。(誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります)

■ご留意いただきたいこと

- 電子キーが作動範囲内(検知エリア内)にあっても、次のような場合は正しく作動しないことがあります。
 - ・ ドアの施錠・解錠時に電子キーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎる、または地面の近くや高い場所にある場合
 - ・ バックドアの施錠・解錠時に電子キーが地面の近くや高い場所にある、またはリヤバンパー中央に近付きすぎた場合
 - ・ エンジン始動時またはモード切りかえ時に電子キーがインストルメントパネルやフロア上・トノカバーなどの上、またはグローブボックス内などに置かれていた場合
- インストルメントパネル上面・ドアポケット付近に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知されて車外からのドアロックが可能になる場合があります、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあるため注意してください。
- 電子キーが作動範囲内にあれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。
- 車外でもドアガラスに近い位置に電子キーがあるときは、エンジン始動が可能になる場合があります。
- 電子キーが作動範囲内にある場合、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかると、ドアが解錠することがあります。(ドアの開閉操作がなければ約30秒後に自動的に施錠されます)
- 電子キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠/解錠動作を繰り返すことがあります。その場合は電子キーを車両から2m以上離れた場所に保管して、洗車等をしてください。(キーの盗難に注意してください)

- 車内に電子キーがあるときに、洗車機で洗車するなどして水をドアハンドルにかけた場合、警報がマルチインフォメーションディスプレイに表示され、車外のブザーが吹鳴することがあります。その場合は全ドアを施錠すれば警報は表示されなくなります。
- ロックセンサーの表面に氷や雪、泥が付着した場合、センサーが反応しない場合があります。反応しない場合は表面に付着した氷や雪、泥を取り除いて再度操作するか、ドアハンドル下部のロックセンサーを使って操作してください。
- 手袋を着用していると、ドアハンドルを握っても解錠されない場合があります。
- 車両に近い位置に電子キーがあるときにワイヤレス機能などで施錠を行うと、スマートエントリー&スタートシステムによる解錠ができなくなることがあります。(ワイヤレス機能を使って解錠すると復帰します)
- 車外アンテナの作動範囲内への急な接近やドアハンドル操作では、解錠されない場合があります。その場合は、ドアハンドルを一度もとにもどし、解錠されたことを確認してからドアハンドルを引いてください。

■長期間運転しないときは

盗難防止のため、電子キーを車両から 2 m 以上離しておいてください。

■解錠操作のセキュリティ機能

解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

■警告音と警告灯について

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、車内や車外で警告音が鳴ったり、警告灯が点灯することがあります。警告灯が点灯した場合は、状況に応じて適切に対処してください。(→P. 254)

警告音が鳴る場合の状況と対処方法は次のようになります。

警告音	状況	対処方法
車内から“ポーン”と1回鳴る 車外から“ピー”と10秒間鳴る	車内に電子キーを置いたまま、スマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした	車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠してください。
	“エンジンスタートストップ”スイッチをOFFにせず、電子キーを外に持ち出してドアをスマートエントリー&スタートシステムで施錠しようとした	“エンジンスタートストップ”スイッチをOFFにしたあと、再度施錠してください。
車外から“ピー”と10秒間鳴る	いずれかのドアが開いているときにスマートエントリー&スタートシステムで施錠しようとした	全ドアを閉めたあと、再度施錠してください。
車内から“ポーン、ポーン”と鳴り続ける	運転席ドアが開いている状態で“エンジンスタートストップ”スイッチをアクセサリモードにした(アクセサリモードのとき運転席ドアを開いた)	“エンジンスタートストップ”スイッチをOFFにしたあと、運転席ドアを閉めてください。
	運転席ドアが開いている状態で“エンジンスタートストップ”スイッチをOFFにした	運転席ドアを閉めてください。
車内から“ピー”と鳴り続ける	シフトレバーをP以外の位置にしたまま、ドアを開けて外に出ようとした	シフトレバーをPにしてください。

警告音	状況	対処方法
車内・車外から “ピー”と鳴り続ける	“エンジンスタートストップ” スイッチがイグニッション ON モードまたはアクセサリ モードのとき、シフトレバーを P 以外の位置にしたまま電子 キーを持ち出して運転席ドア を閉めた	シフトレバーを P に入 れ、“エンジン スタ ートストップ”スイ ッチを OFF にしたあと、運 転席ドアを閉めてくだ さい。
車内から “ポーン” と 1 回鳴る	電子キーの電池の残量が少ない	新しい電池と交換して ください。(→P. 229)
車内から “ピー” と 1 回鳴る 車外から “ピッ・ ピッ・ピッ” と 3 回 鳴る	電子キーを携帯していないか、 電子キーが正常に作動しない 状態でエンジンを始動しよう とした	電子キーを携帯してエ ンジンを始動してくだ さい。*
車内から “ピー” と 1 回鳴る 車外から “ピッ・ ピッ・ピッ” と 3 回 鳴る	“エンジンスタートストップ” スイッチを OFF にせずに電子 キーを外に持ち出して運転席 ドアを閉めた	“エンジン スタ ートストップ”スイ ッチを OFF にしたあと、再度 運転席ドアを閉めてく ださい。
	“エンジンスタートストップ” スイッチが OFF になっていな いときに、同乗者が電子キーを 持ち出してドアを閉めた	電子キーを車内に戻し てください。

*電子キーが車内にあってもエンジンが始動しない場合は、電池が切れているか電波の状況が悪い可能性があります。(→P. 273)

■ スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないときは

- ドアの施錠・解錠：→P. 273
- エンジンの始動：→P. 273

■ 電池が切れたときは

→P. 229

■ 販売店で設定可能な機能

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にするなどの変更ができます。
(カスタマイズ一覧：→P. 289)

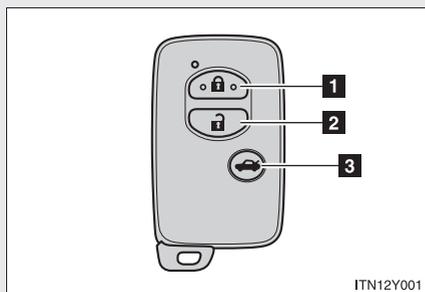
⚠ 警告**■ 電波がおよぼす影響についての警告**

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車内アンテナ・車外アンテナ（→P. 25）から約 22 cm 以内に近付かないようにしてください。電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることもできます。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

1-2. ドアの開閉のしかた、ロックのしかた ワイヤレスリモコン

ドアを施錠・解錠できます。



- 1** 全ドアを施錠する
- 2** 全ドアを解錠する
- 3** バックドアを解錠する

バックドアを開閉して車両を離れるときは、必ず施錠してください。バックドアを閉めても自動的に施錠されません。

 知識**■ 作動の合図**

非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は 1 回、解錠は 2 回)

■ 半ドア警告ブザー

ドアが完全に閉まっていない状態でドアを施錠しようとする、ブザーが鳴ります。ドアを完全に閉めてから、もう一度施錠してください。

■ 電池の消耗について

→P. 28

■ 解錠操作のセキュリティ機能

解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

■ ワイヤレスリモコンが正常に作動しないときは

ドアの施錠・解錠：→P. 273

■ 電池が切れたときは

→P. 229

■ 機能が正常に働かないおそれのある状況

→P. 27

■ 販売店で設定可能な機能

ワイヤレスリモコンを非作動にするなどの変更ができます。
(カスタマイズ一覧：→P. 289)

1-2. ドアの開閉のしかた、ロックのしかた ドア（フロントドア・リヤドア）

スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレス機能、ドアロックスイッチを使って施錠・解錠できます。

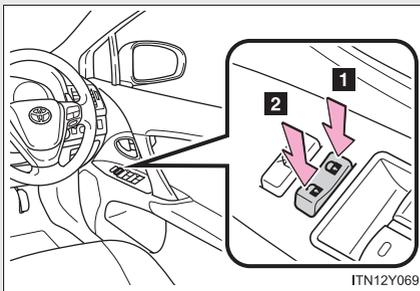
■ スマートエントリー&スタートシステム

→P. 23

■ ワイヤレス機能

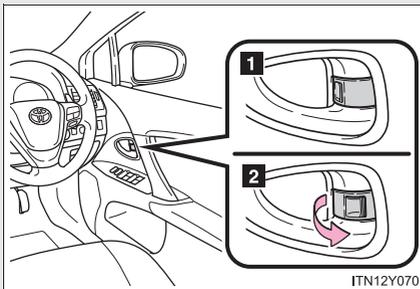
→P. 34

■ ドアロックスイッチ



- 1 全ドアを施錠する
- 2 全ドアを解錠する

■ ロックレバー



- 1 ドアを施錠する
- 2 ドアを解錠する

フロント席ドアは、ロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアハンドルを引くと開けられます。

キーを使わずに外側からフロント席ドアを施錠するときは

手順 1 ロックレバーを施錠側にする

手順 2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める

“エンジン スタート ストップ” スイッチがアクセサリモード、またはイグニッション ON モードのときや、車内に電子キーが放置されているときは施錠されません。

電子キーの位置によっては、キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

チャイルドプロテクター



施錠側になると、リヤ席ドアが車内から開かなくなります

- 1** 解錠
- 2** 施錠

お子さまが車内からリヤ席ドアを開けられないようにできます。両側のリヤ席ドアを施錠側にしてください。

オートドアロック・アンロック機能

次の機能を設定・解除することができます。

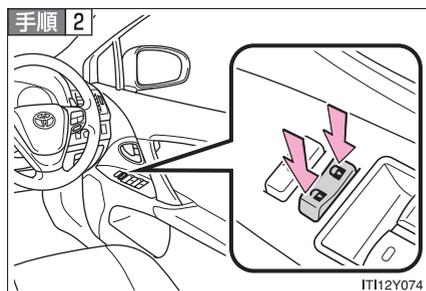
機能	作動内容
車速感応オートロック	速度が約 20km/h 以上になると全ドアが施錠されます。*
シフト連動オートロック	エンジン回転中にシフトレバーを P から動かすと全ドアが施錠されます。
シフト連動オートアンロック	シフトレバーを P に入れると全ドアが解錠されます。
運転席ドア連動オートアンロック	“エンジン スタート ストップ” スイッチを OFF にしてから 10 秒以内に運転席ドアを開けると全ドアが解錠されます。

* 1 回作動すると、“エンジン スタート ストップ” スイッチを OFF にするか、ドアを開閉するまでは再度作動しません。

■ 設定・解除のしかた

次の手順で、各機能の設定と解除が交互に切りかわります。

手順 1 すべてのドアを閉め、“エンジン スタート ストップ” スイッチをイグニッション ON モードにする(その後 10 秒以内に **手順 2** を行う)



シフトレバーを P または N に入れ、ドアロックスイッチの  または  を約 5 秒間押し離す

設定を行う機能によってシフトレバーとスイッチの位置を次ページの表から選択します。

機能を解除するには、同じ手順で行います。

機能	シフトレバーの位置	ドアロック スイッチの位置
シフト連動オートロック	P	
シフト連動オートアン ロック		
車速感応オートロック	N	
運転席ドア連動オート アンロック		

設定または解除の切りかえ操作が完了すると、すべてのドアが施錠されたあと、解錠されます。

知識

■ 衝撃感知ドアロック解除システム

車両が前後左右から強い衝撃を受けると、すべてのドアが解錠されます。衝撃の度合いや事故の形態によっては作動しないことがあります。

■ メカニカルキーでの施錠・解錠

メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→P. 273)

■ チャイルドプロテクター使用時のドアの開け方

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合は、ドアガラスを下げて手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

 **警告**

■ **事故を防ぐために**

運転中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、不意にドアが開き、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートベルトを必ず使用する
- すべてのドアを施錠する
- すべてのドアを確実に閉める
- 走行中はドア内側のドアハンドルを引かない
ドアが開き車外に放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。特に、フロント席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。
- お子さまをリヤ席に乗せるときは、チャイルドプロテクターを使用して車内からドアが開かないようにする

■ **ドアを開閉するときは**

傾斜地・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

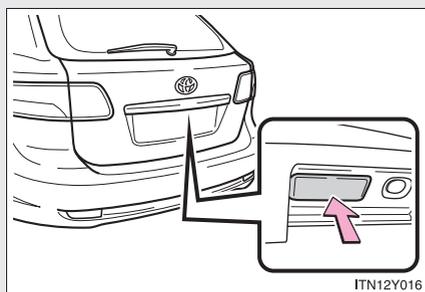
1-2. ドアの開閉のしかた、ロックのしかた バックドア

バックドアは次の方法で施錠・解錠および開けることができます。

■ バックドアの施錠・解錠

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム
→P. 24
- ▶ ワイヤレス機能
→P. 34
- ▶ ドアロックスイッチ
→P. 36

■ バックドアを開けるには



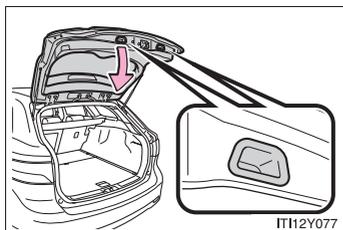
バックドアオープンスイッチを
押したまま、バックドアを持ち
上げる

 知識

■ ラゲージルームライト

バックドアを開けるとラゲージルームライトが点灯します。

■ バックドアを閉めるときは

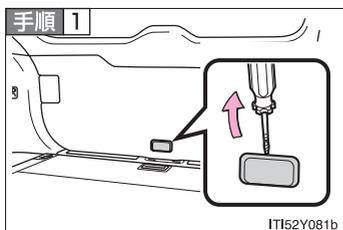


バックドアグリップを持ってバックドアを引き下げ、必ず外から押して閉めてください。

引き下げるときに横方向に力をかけないでください。

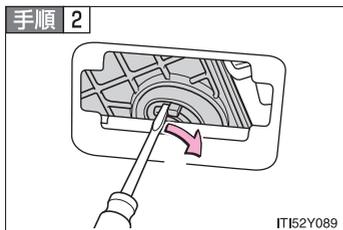
■ バックドアが開かないときは

バックドアを内側から開けることができます。



バックドア内側のカバーをはずす

傷付き防止のため、テープなどを巻いたマイナスドライバーを使用してください。



レバーを押す

 **警告****■ 走行中の警告**

- 走行中はバックドアを閉めてください。
開けたまま走行すると、バックドアが車外のものにあたり荷物が投げ出されたりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
また、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。走行する前に必ずバックドアが閉まっていることを確認してください。
- 走行前にバックドアが完全に閉まっていることを確認してください。
バックドアが完全に閉まっていないと、走行中にバックドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲージルームには絶対に人を乗せないでください。
急ブレーキ、急施回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ お子さまを乗せているときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

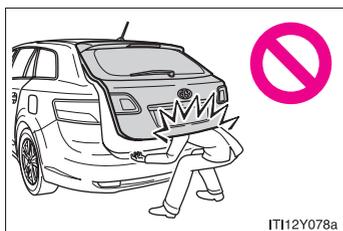
- ラゲージルームでお子さまを遊ばせないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。
不意にバックドアが動いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

警告

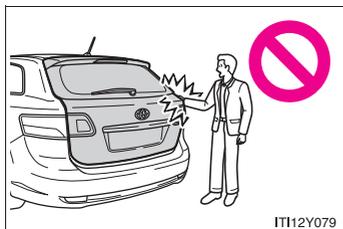
■ バックドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- バックドアを開ける前に、バックドアにはり付いた雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでバックドアが落下するおそれがあります。
- バックドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。
バックドアが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。



- 半開状態で使用すると、バックドアが落ちて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜した場所では、平坦な場所よりもバックドアの開閉がしにくく、急にバックドアが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずバックドアが全開で静止していることを確認して使用してください。



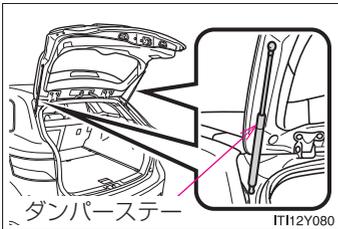
- バックドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。
- バックドアは必ず外から軽く押して閉めてください。バックドアグリップで直接バックドアを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。

警告

- バックドアダンパーステアを持ってバックドアを閉めたり、ぶら下がったりしないでください。
手を挟んだり、バックドアダンパーステアが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアにキャリアなどの重いものを取り付けると、開けたあとにドアが落下し、手・頭・首などを挟むおそれがあります。バックドアへのアクセサリ用品の取り付けは、トヨタ純正品を使用することをおすすめします。

注意**■ ダンパーステアについて**

バックドアにはバックドアを支えるためのダンパーステアが取り付けられています。ダンパーステアの損傷や作動不良を防ぐため次のことをお守りください。



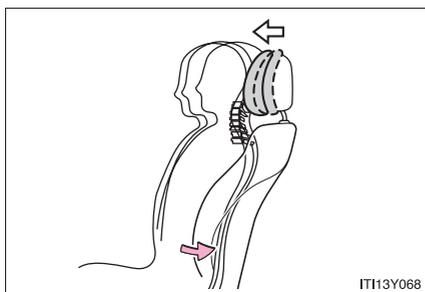
- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステアのロッド部（棒部）に付着させない
- ロッド部を軍手などでふれない
- ステアに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない

1-3. シート・ハンドル・ミラーの調整のしかた フロントシート



- 1 前後位置調整
- 2 リクライニング調整
- 3 シート全体の上下調整
(運転席のみ)

アクティブヘッドレスト



追突の衝撃によって、乗員の背中がシートバックを押しすることで、ヘッドレストが少し前方に動き、乗員のむち打ち傷害軽減に貢献します。

 知識

■ アクティブヘッドレストについて

シートバックへの衝撃が弱い場合でもアクティブヘッドレストが作動することがありますが、故障ではありません。

 警告

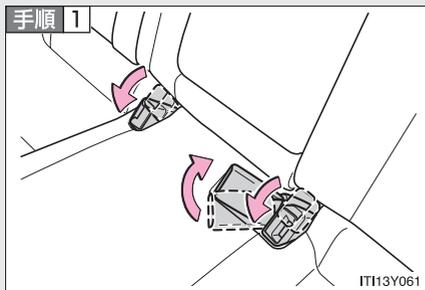
■ シート調整について

- シートを操作するときは、他の乗員や荷物にぶつからないように注意してください。
- 背もたれは必要以上に倒さないでください。
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後はシートが確実に固定されていることを確認してください。

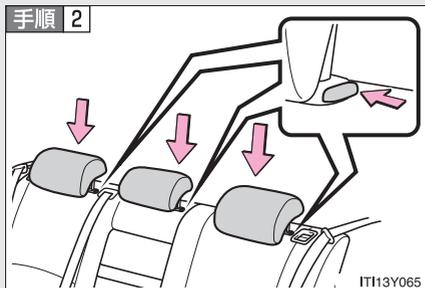
1-3. シート・ハンドル・ミラーの調整のしかた リヤシート

リヤシートは前倒しすることができます。

■ 前倒しする前に



シートベルトのバックルを格納する



解除ボタンを押しながらヘッドレストを下げる

■ 前に倒すときは



レバーを引いてロックを解除し、背もたれを倒す

⚠ 警告

■ 背もたれを前倒しするときは

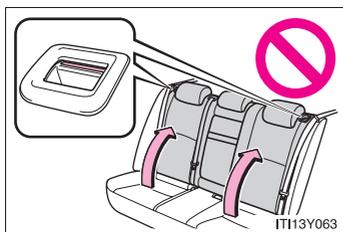
次のことをお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中に前倒しをしない
- 平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にする
- 倒した背もたれの上やラゲージルームに人を乗せて走行しない
- お子さまがラゲージルームに入らないよう注意する

■ 背もたれをもとの位置にもどすときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

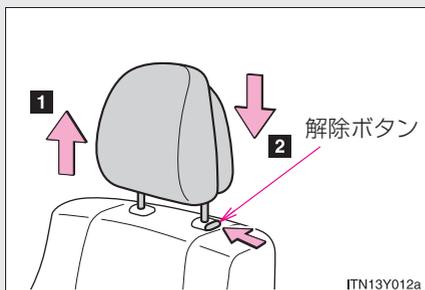


- シートを前後に軽くゆさぶり、確実に固定する

シートが確実に固定されていないときは、レバー部に赤色が見えます。赤色が見えていないことを確認してください。

- シートベルトを挟み込まないようにする

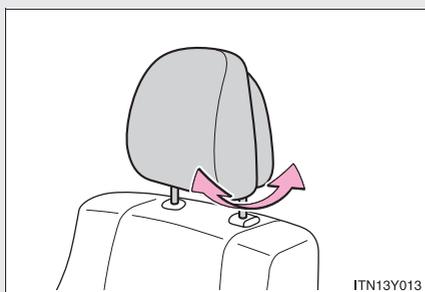
1-3. シート・ハンドル・ミラーの調整のしかた ヘッドレスト



上下調整

- 1 上げる
- 2 下げる

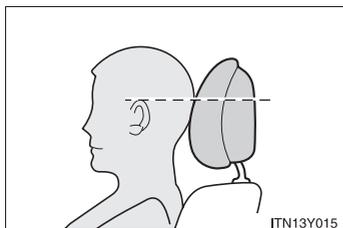
下げるときは、解除ボタンを押しながらか操作します。



前後調整（フロントシート）

知識

■ヘッドレストの高さについて



必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上の辺りになるよう調整してください。

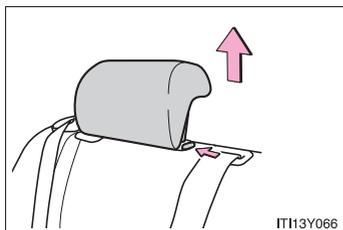
■ リヤ席について

使用するときには、常に格納位置から一段上げてください。

■ フロントヘッドレストを取りはずすときは

トヨタ販売店にご相談ください。

■ リヤヘッドレストを取りはずすときは



解除ボタンを押しながら取りはずします。

⚠ 警告

■ ヘッドレストについて

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

1-3. シート・ハンドル・ミラーの調整のしかた

シートベルト

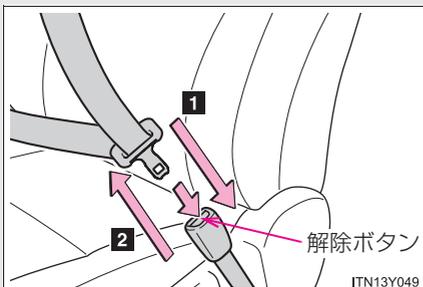
走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

■ 正しく着用するには



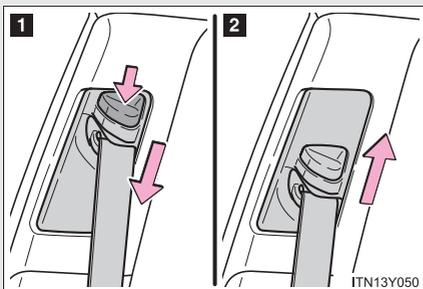
- 肩部ベルトを肩に十分かける首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれが無いようにする

■ 着け方・はずし方



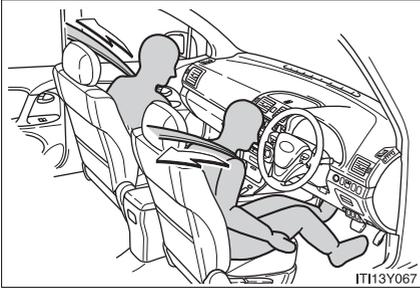
- 1 ベルトを固定するには、“カチッ”と音がするまでプレートをバックルに挿し込む
- 2 ベルトを解除するには、解除ボタンを押す

■ シートベルトの高さ調節（フロント席）



- 1 解除ボタンを押しながら、アジャスターを下げる
 - 2 アジャスターを上げる
- “カチッ”と音がして固定されるところまで動かしてください。

シートベルトプリテンショナー（フロント席）



前方から強い衝撃を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

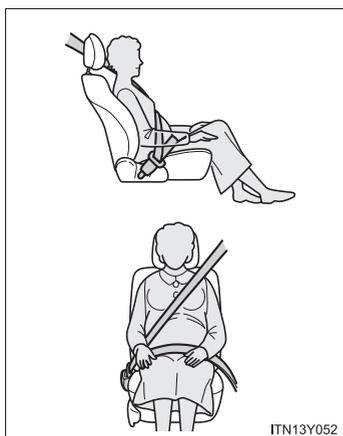
前方からの衝撃が弱いときや、横やうしろからの衝撃のときは作動しない場合があります。

知識

■緊急時シートベルト固定機構

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを巻きもどし、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■ 妊娠中の女性の場合



医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→P. 52)

妊娠中の方も、通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に着用してください。また、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 疾患のある方の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

■ お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

- シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合ったチャイルドシートを使用してください。(→P. 80)
- シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。(→P. 52)

■ シートベルトプリテンショナーについて

シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シートベルトの着用について

- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する
お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤシートに座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さない
上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する

■お子さまを乗せるときは

お子さまをシートベルトであそばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

 **警告**

■ **プリテンショナー付シートベルトについて**

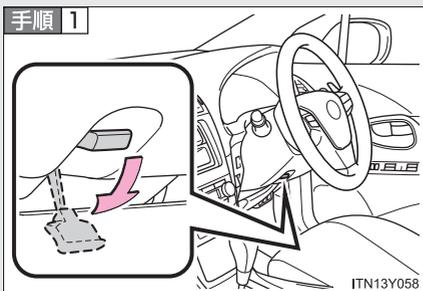
シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合はシートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

■ **シートベルトの損傷・故障について**

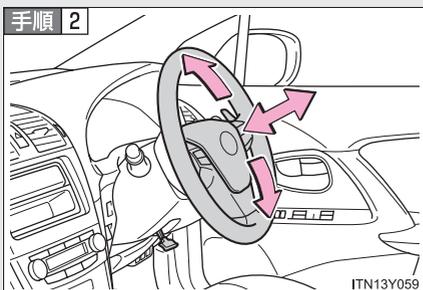
- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときは、シートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート・シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付シートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。
不適切に扱うと、正常に作動しなくなり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

1-3. シート・ハンドル・ミラーの調整のしかた ハンドル

ハンドル位置を運転しやすいように調整できます。



ハンドルを持ち、レバーを下げる



ハンドルを上下・前後に動かし、適切な位置にする

位置が決定したら、レバーを上げてハンドルを固定してください。

警告

■ 走行中の警告

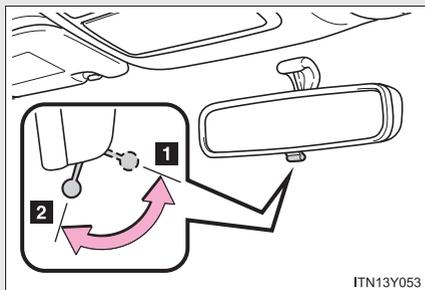
走行中はハンドル位置の調整をしないでください。
運転を誤り、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドルの位置が突然変わり、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

1-3. シート・ハンドル・ミラーの調整のしかた インナーミラー

後続車のライトがまぶしいときは、レバーを操作して反射光を減少（防眩）できます。



1 通常使用時

2 防眩時

⚠ 警告

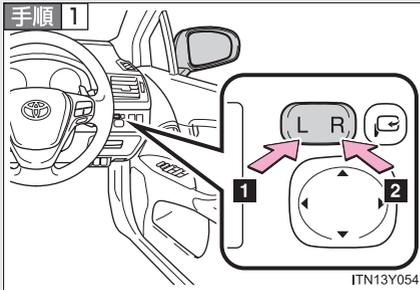
■ 運転中の警告

運転中はミラーの調整をしないでください。

運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

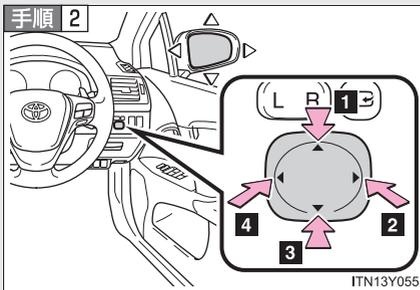
1-3. シート・ハンドル・ミラーの調整のしかた ドアミラー

スイッチで鏡面の角度調整をします。



ミラーを選ぶ

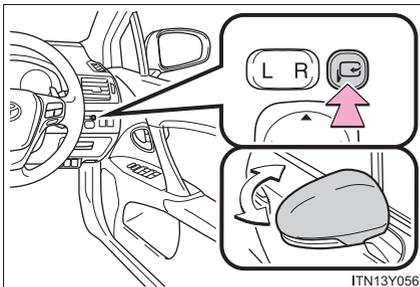
- 1 左
- 2 右



スイッチを操作してミラーの鏡面を調整する

- 1 上
- 2 右
- 3 下
- 4 左

ドアミラーを格納するとき



ボタンを押してドアミラーを格納する

もう一度押すと、もとの位置にもどります。

知識

■ 作動条件

“エンジン スタート ストップ” スイッチがアクセサリモード、またはイグニッション ON モードのとき

■ ミラーが曇ったときは

ミラーヒーターを作動させて、曇りを取ることができます。(→P. 166)

警告

■ 走行しているときは

走行中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ミラーの調整をしない
- ドアミラーを格納したまま走らない
- 必ず走行前に運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

■ ミラーが動いているときは

手をふれないでください。

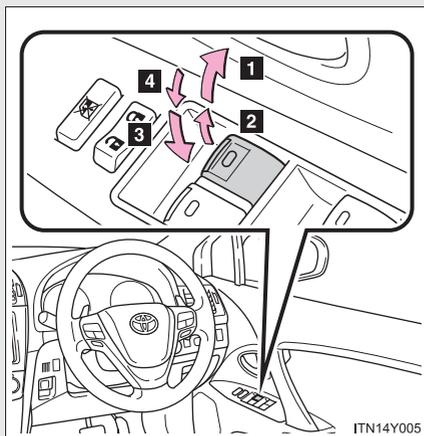
手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

■ ミラーヒーターが作動しているときは

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

1-4. ドアガラスの開け方、閉め方 パワーウィンドウ

スイッチでドアガラスを開閉できます。



1 自動全閉※

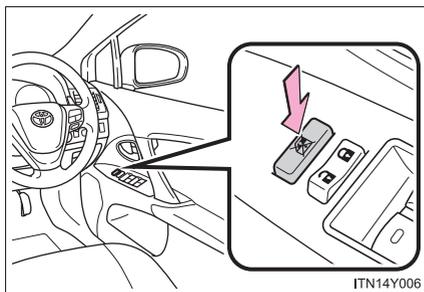
2 閉める

3 自動全開※

4 開ける

※ 途中で停止するとき、スイッチを反対側へ操作します。

ウィンドウロックスイッチ



スイッチを押すと、運転席以外のドアガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。

 知識

■ 作動条件

“エンジン スタート ストップ” スイッチがイグニッション ON モードのとき

■ “エンジン スタート ストップ” スイッチ OFF 後の作動

“エンジン スタート ストップ” スイッチをアクセサリーモード、または OFF にしたあとでも、約 45 秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだにフロントドアを開くと作動しなくなります。

■ 挟み込み防止機能

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

■ パワーウィンドウを閉めることができないときは

挟み込み防止機能が異常に作動してしまい、ドアガラスを閉めることができないときは、閉めることができないドアのパワーウィンドウスイッチで、下記の操作を行ってください。

車を停止し、“エンジン スタート ストップ” スイッチをイグニッション ON モードの状態、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続けることでドアガラスを閉めることができます。

上記の操作を行ってもドアガラスが閉まらない場合、挟み込み防止機能の初期化を次の手順で実施してください。

手順 1 パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 6 秒間引き続ける

手順 2 パワーウィンドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続け、ドアガラスを全開にしたあと、さらにスイッチを 2 秒間押し続ける

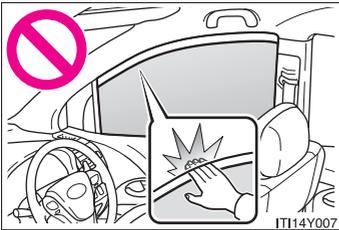
手順 3 再度、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 2 秒間引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手をはなすと、最初からやり直しとなります。以上の操作を行っても反転して閉じ切らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

警告**■ ドアガラスを開閉するときは**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないように声かけをしてください。
- お子さまには、ドアガラスの操作をさせないでください。
ドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

■ 挟み込み防止機能

- 挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを引き続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

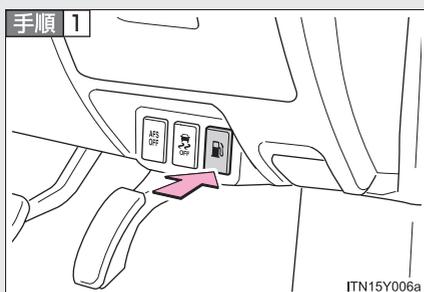
1-5. 給油のしかた 給油口の開け方

次の手順で給油口を開けてください。

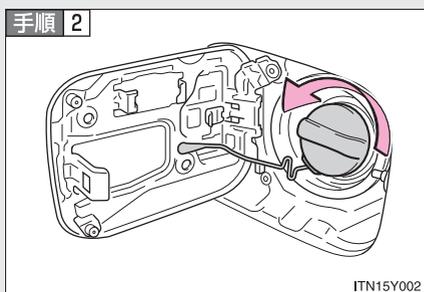
■ 給油する前に

ドアとドアガラスを閉め、“エンジン スタート ストップ” スイッチを OFF にしてください。

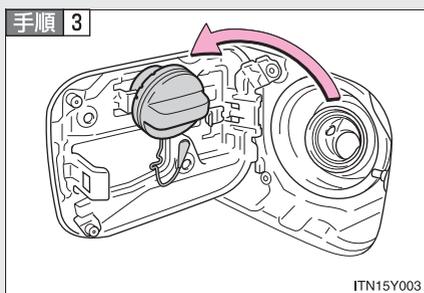
■ 給油口の開け方



給油口オープナーを押して、給油口を開ける

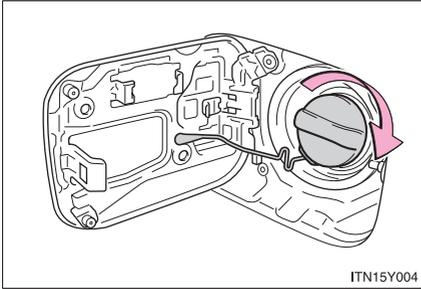


キャップをゆっくりまわして開ける



キャップをハンガーにかける

給油口のキャップを閉めるときは



キャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しもどります。

知識

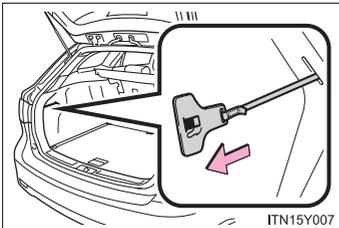
■ 燃料の種類

無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク）

■ 燃料タンク容量（参考値）

60 L

■ 給油口が車内から開けられないときは



緊急用レバーを車両後方に引いてください。（横に引かないでください）

バッテリーがあがったときなど、車内の給油口オープナーを押しても給油口が開かないときにご使用ください。



警告

■ 給油について

給油するときは次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去する
除去しないと放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。
- キャップをゆるめたときに、“シュー”という音がする場合は、その音が止まってからゆっくり開ける
キャップを開けるときは、キャップのツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けます。ゆっくりと開けないと、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き返すおそれがあります。
- 給油口に、静電気を除去していない人を近付けない
- 気化した燃料を吸わないようにする
燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。
- 喫煙しない
引火して火災を引き起こすおそれがあります。
- 車内にもどったり、静電気を除去していない人や帯電しているものにふれない
再び帯電する可能性があります。

■ 給油時の注意

- 給油するときは給油口にノズルを確実に挿入してください。
ノズルを浮かして継ぎ足し給油を行うと、オートストップが作動せず、燃料がこぼれる場合があります。
- 正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

■ キャップ交換時の警告

トヨタ純正品以外のキャップを使用しないでください。

純正品を使わないと火災などを引き起こし、その結果重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 給油するときは**

指定以外のガソリン（無鉛レギュラーガソリン）や他の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・アルコール系燃料）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。

次のような状態になるおそれがあります。

- エンジンの始動性が悪くなる
- ノッキングが発生する
- エンジン出力が低下する
- 排気制御システムが正常に機能しない
- 燃料系部品が損傷する
- 塗装が損傷する

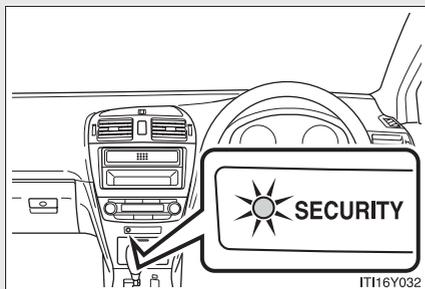
■ 緊急用レバーの損傷を防ぐために

- 必要以上の力で引かないでください。
- 緊急時以外は使用しないでください。

エンジンイモビライザーシステム

キーに信号発信機が内蔵しており、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できません。

車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。



“エンジンスタートストップ”スイッチを OFF にすると、システムの作動を知らせるためにインジケーターが点滅します。

登録されたキーを携帯し、“エンジンスタートストップ”スイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにするとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。

知識

■メンテナンスについて

エンジンイモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

■システムが正常に作動しないとき

- キーが金属製のものに接したり、覆われている
- キーが他の車両のセキュリティシステム用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

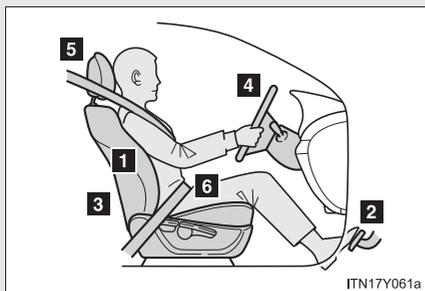
⚠ 注意

■エンジンイモビライザーシステムを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

1-7. 安全にお使いいただくために 正しい運転姿勢

次の条件に合った正しい姿勢で運転してください。



- 1 まっすぐ座り、背もたれから背を離さない（→ P. 46）
- 2 シートをペダルが十分に踏み込めるようなシート位置にする（→ P. 46）
- 3 各装置が操作しやすい背もたれの角度にする（→ P. 46）
- 4 SRSエアバッグが自分の胸の方へ向くようなハンドルの位置にする（→ P. 57）
- 5 ヘッドレストの中央を耳のいちばん上あたりになるようにする（→ P. 50）
- 6 シートベルトが正しく着用できる（→ P. 52）

 **警告**

■ **走行中は**

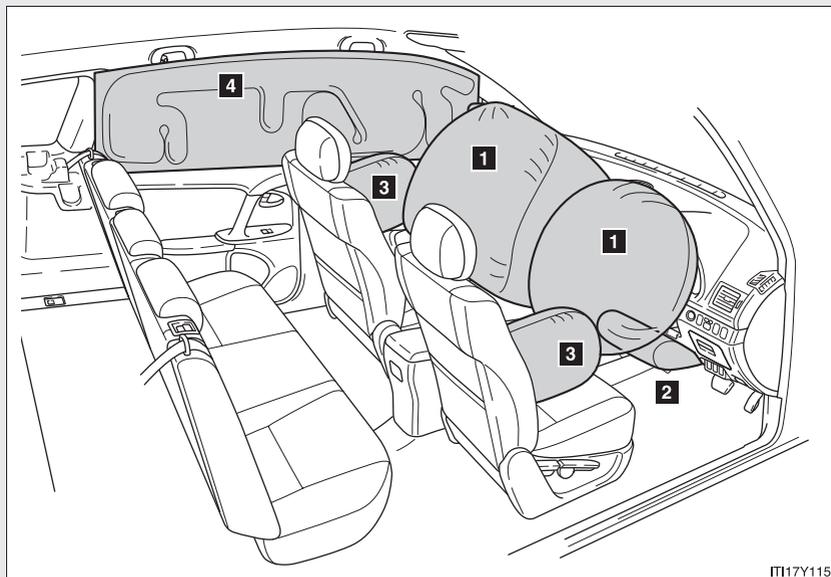
- 走行中は運転席の調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されずに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- フロントシートの下にものを置かないでください。
ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。また、調整機構の故障の原因になります。

■ **シートを調整するときは**

- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。
指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



PH17Y115

▶ フロント SRS エアバッグ

1 運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ
(運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和)

2 SRS ニーエアバッグ
(運転者の衝撃緩和を補助)

▶ SRS サイドエアバッグ& SRS カーテンシールドエアバッグ

3 SRS サイドエアバッグ
(フロント席乗員の胸などへの衝撃を緩和)

4 SRS カーテンシールドエアバッグ
(フロント席とリア外側席乗員の主に頭部への衝撃を緩和)

 **知識**

■ **SRS エアバッグが展開すると**

- SRS エアバッグとの接触により、打撲やすり傷などを受けることがあります。
- 作動音とともに白いガスが発生します。
- フロント席・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールの一部分などだけでなくエアバッグモジュールの各部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- フロントウインドウガラスが破損することがあります。

■ **SRS エアバッグが作動するとき（フロント SRS エアバッグ）**

- フロント SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、約 20 ～ 30 km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
ただし、駐車している車両や標識のような衝撃によって移動や変形する物に衝突した場合や、もぐり込むような衝突（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになる、など）の場合は、展開車速は設定値より高くなります。
- 衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

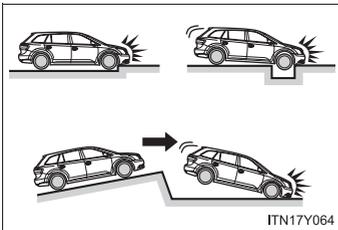
■ SRS エアバッグが作動するとき

(SRS サイドエアバッグ& SRS カーテンシールドエアバッグ)

SRS サイドエアバッグと SRS カーテンシールドエアバッグは、衝撃の強さが設定値（約 1.5t の車両が、約 20 ～ 30km/h の速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。

■ 衝突以外で作動するとき

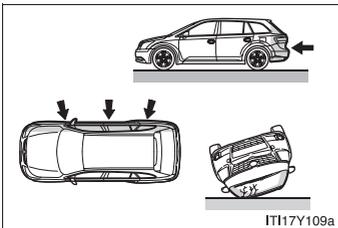
次のような状況で、車両下部に強い衝撃を受けたときも、作動する場合があります。



- 縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- 深い穴や溝に落ちたり、乗り越えたとき
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき

■ SRS エアバッグが作動しないとき (フロント SRS エアバッグ)

フロント SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転または低速での前方からの衝撃で作動するようには設計されていません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、フロント SRS エアバッグが作動することがあります。

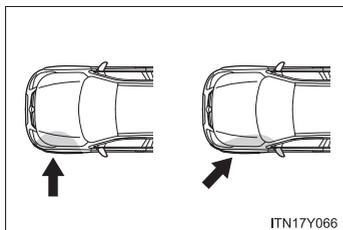


- 側面からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転

■ SRS エアバッグが作動しないとき

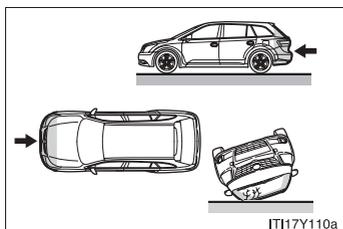
(SRS サイドエアバッグ& SRS カーテンシールドエアバッグ)

斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときには、SRS サイドエアバッグと SRS カーテンシールドエアバッグが作動しない場合があります。



- 客室部分以外の側面への衝撃
- 斜めからの衝撃

SRS サイドエアバッグと SRS カーテンシールドエアバッグは、前方や後方からの衝撃・横転・または低速での側面からの衝撃で作動するようには設計されていません。

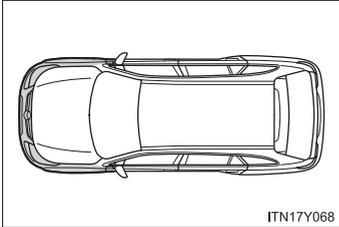


- 前方からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転

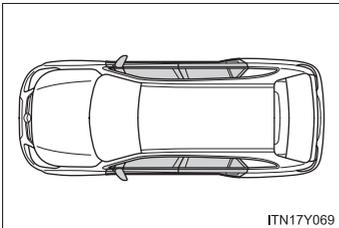
■ トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

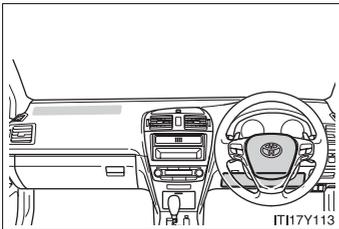
● いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき



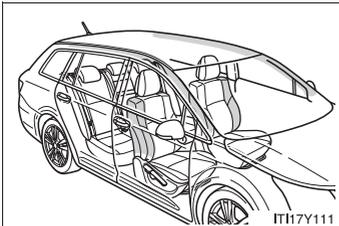
- フロント SRS エアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



- SRS サイドエアバッグと SRS カーテンシールドエアバッグはふくらまなかったが、事故でドア部分を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



- ハンドルのパッド部分・助手席 SRS エアバッグのカバー部・インストルメントパネル下部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



- SRS サイドエアバッグが内蔵されているシート表面が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき
- SRS カーテンシールドエアバッグが内蔵されているフロントピラー部・リヤピラー部・ルーフサイド部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき

警告

■ SRS エアバッグについて

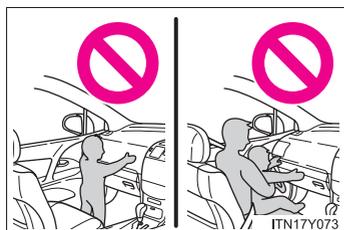
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- 助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、特に乗員が SRS エアバッグに近付きすぎると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。乗員が SRS エアバッグのふくらむ場所に近い場合は特に危険です。シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- お子さまがシートにしっかり座っていないと、SRS エアバッグのふくらむ衝撃で重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。
お子さまはリヤ席に乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させることをおすすめいたします。(→P. 89)



- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない



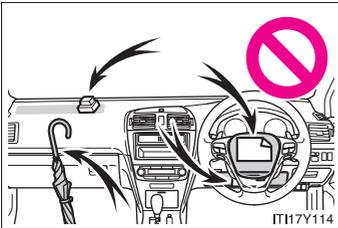
- お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- 運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない


警告
■ SRS エアバッグについて

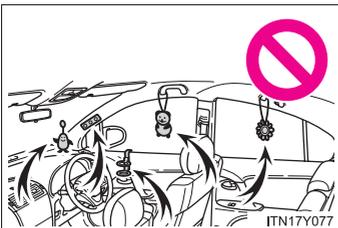

- ドアやフロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールへ寄りかからない



- 助手席やリヤ外側シートでは、ドアに向かってひざをついたり、窓から顔や手を出したりしない



- ダッシュボード・ハンドルのパッド部分・インストルメントパネル下部などには何も取り付けたり、置いたりしない



- ドア・フロントウインドウガラス・ドアガラス・フロントピラーおよびリヤピラー・ルーフサイドレール・アシストグリップなどには何も取り付けない



警告

■ SRS エアバッグについて

- コートフックにハンガーなどの硬いものをかけないでください。SRS カーテンシールドエアバッグが作動したときに投げ出されて重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- SRS ニーエアバッグがふくらむ場所にビニールカバーが付いている場合は取り除いてください。
- SRS サイドエアバッグがふくらむ場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。
- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRS エアバッグが収納されているパッド部およびフロントピラーガーニッシュ部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。

 **警告****■ 改造・廃棄について**

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード・シート・シート表皮・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール周辺の修理・取りはずし・改造
- フロントフェンダー・フロントバンパー・車両客室側面部の修理・改造
- グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）・除雪装置・ウィンチなどの取り付け
- サスペンションの改造
- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

子供専用シート

子供専用シートの固定機構を使用して、子供専用シートを固定することができます。

知っておいていただきたいこと

- 車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切な子供専用シートをお選びください。
- 子供専用シートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの子供専用シートに付属の取り扱い説明書をお読みください。
- この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーを標準装備しています。

子供専用シートの適合性一覧表について

■ 質量グループについて

ECE R44 ※の基準に適合する子供専用シートはお子さまの体重により次の5種類に分類されます。

- グループ 0 : 10kg まで
- グループ 0⁺ : 13kg まで
- グループ I : 9 ~ 18kg
- グループ II : 15 ~ 25kg
- グループ III : 22 ~ 36kg

この本では代表的な次の3種類の子供専用シートをシートベルトで固定する方法を紹介します。

※ ECE R44 は、子供専用シートに関する国際法規です。

■ サイズ等級、固定具について

子供専用シートに表示される分類記号と、それにとまなう取り付け器具の記号になります。

▶ ベビーシート



ECE R44 基準のグループ 0、0⁺に相当

▶ チャイルドシート



ECE R44 基準のグループ 0⁺、Iに相当

▶ ジュニアシート



ECE R44 基準のグループ II、IIIに相当

シート位置別子供専用シート適合性一覧表（シートベルトでの取り付け）

質量グループ	着席位置（または他の場所）		
	フロントシート	リヤシート	
	助手席	左右席	中央席
0 (10kg まで)	×	U	U
0 ⁺ (13kg まで)	×	U	U
I (9 ~ 18kg)	前向き UF	U	U
	うしろ向き ×		
II (15 ~ 25kg)	UF	U	U
III (22 ~ 36kg)	UF	U	U

● 上表に記入する文字の説明

U：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの子供専用シートに適しています。

UF：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの前向き子供専用シートに適しています。

×：子供専用シートを取り付けることはできません。

子供専用シートの装着については子供専用シートの取り扱い説明書もご確認ください。

表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

シート位置別子供専用シートの適合性一覧表 (ISOFIX 対応トップテザーアンカーでの取り付け)

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両 ISOFIX 位置
			リヤシート左右席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	IL
0 ⁺ (13kg まで)	E	ISO/R1	IL
	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
I (9 ~ 18kg)	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
	B	ISO/F2	IUF
	B1	ISO/F2X	IUF
	A	ISO/F3	IUF
II (15 ~ 25kg)		(1)	×
III (22 ~ 36kg)		(1)	×

● 上表に記入する文字の説明

(1) サイズ等級表示 (A から G) のない子供専用シートの各シート位置での ISOFIX 対応子供専用シート固定機構の取り扱いについては、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF : この質量グループでの使用を許可された汎用 (ユニバーサル) カテゴリーの ISOFIX 対応の前向き子供専用シートに適しています。

IL : ISOFIX 子供専用シートのリストに示す「特定自動車」、「限定」、または「準汎用」 カテゴリーの子供専用シートに適しています。

× : ISOFIX 子供専用シートを取り付けることはできません。

子供専用シートの装着については子供専用シートの取り扱い説明書もご確認ください。
表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

ISOFIX 子供専用シートの一覧

質量グループ	サイズ等級	固定具	ISOFIX 子供専用シート	カテゴリー
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO BABY	準汎用
0 ⁺ (13kg まで)	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO BABY	準汎用

知識

■ ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーについて

この車に標準装備されている ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーは、ECE R44 に適合している子供専用シートの取り付け専用です。それ以外のものを使用することはできません。

■ 子供専用シートの選択、使用について

- お子さまに最適な子供専用シートについては、子供専用シート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまでは、お子さまに合った子供専用シートを使用してください。
- 体が十分に大きく、子供専用シートが不要なお子さまは、リヤシートに乗せて車のシートベルトを使用してください。

■シートベルトで取り付けるタイプの子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シート適合性一覧表」(→P. 82)を参照し、子供専用シートを取り付け可能な位置と、対応する子供専用シートの種類(記号)をご確認の上、適したものを選択してください。

■ECE R44 適合の ISOFIX 対応子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シートの適合性一覧表」(→P. 83)を確認して、適切なシートを選択してください。

手順 1 お子さまの体重から、該当する「質量グループ」を確認する

(例 1) : 体重が 12kg の場合、質量グループは「0⁺」になります。

(例 2) : 体重が 15kg の場合、質量グループは「I」になります。

手順 2 サイズ等級を選択する

手順 1 で確認した「質量グループ」から該当するサイズ等級を確認します。^{*}

(例 1) : 質量グループが「0⁺」の場合、サイズ等級は「C」・「D」・「E」が該当します。

(例 2) : 質量グループが「I」の場合、サイズ等級は「A」・「B」・「B1」・「C」・「D」が該当します。

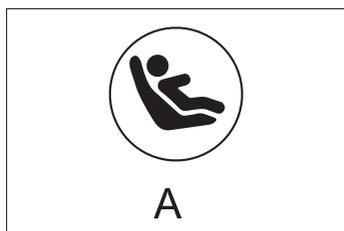
^{*}ただし、該当のサイズ等級でも適合性一覧表の「車両 ISOFIX 位置」に「×」と記載されているものは選択できません。また、「IL」と記載されている場合は、「ISOFIX 子供専用シートのリスト」(→P. 84)で指定されている製品を使用してください。



子供専用シートに表示されているマーク／ラベルを確認して、基準に適合したシートであることを確認する

汎用（ユニバーサル）子供専用シートには、次に示すマーク・ラベル類が表示されています。*

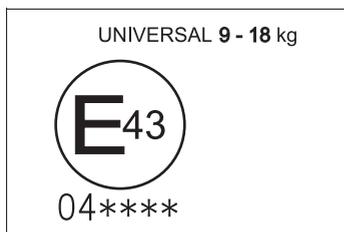
*表示されている位置・記号などは、商品により異なります。



1 ISOFIX 対応子供専用シートであることを示す表示

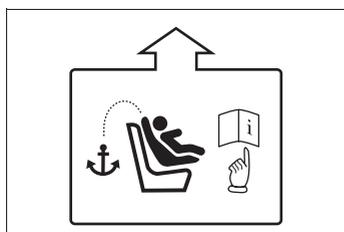
サイズ等級が示されています。（表示される文字は、製品により異なります）

手順 2 で確認したサイズ等級に適合しているものを選択してください。



2 汎用（ユニバーサル）子供専用シートの認可マーク

UNIVERSAL は汎用品の認可であることをあらわし、併せて、対象となるお子さまの体重の範囲が記載されています。



3 トップテザー（→P. 89）を示すマーク

商品の取り付け装置の位置により、意匠は異なります。

■ ISOFIX 対応子供専用シートの種類（サイズ等級別）

A-ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B-ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1-ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (B-ISO/F2 と別形状のもの)
C-ISO/R3	大型後向き幼児用チャイルドシート
D-ISO/R2	小型後向き幼児用チャイルドシート
E-ISO/R1	後向き乳児用チャイルドシート
F-ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート（キャリコット）
G-ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート（キャリコット）

■ 助手席に子供専用シートを取り付けるとき

やむを得ず助手席に子供専用シートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、子供専用シートを前向きに取り付けてください。



- 背もたれを直立状態にする
- シートをいちばんうしろに下げる
- シートベルトの高さをいちばん低い位置まで下げる

■キャリコットについて

キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳しくは子供専用シート製造業者または販売業者にお尋ねください。



■子供専用シートを使用しない場合

- 子供専用シートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- 子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、ラゲージルーム内に容易に動かないように収納してください。

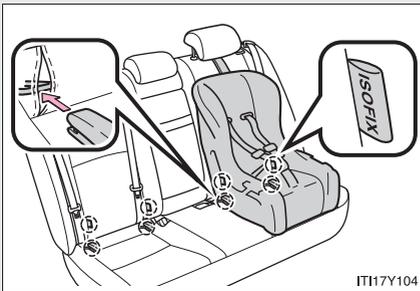
1-7. 安全にお使いいただくために チャイルドシートの取り付け

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。

取り付け方法は、商品に付属の取り扱い説明書に必ず従ってください。

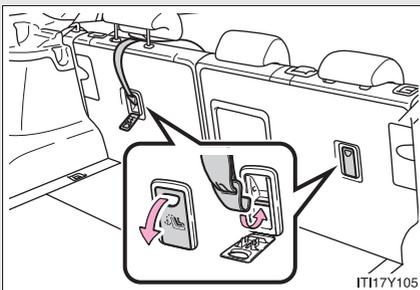


シートベルトによる取り付け
(→ P. 90)



ISOFIX 対応チャイルドシート
固定専用バー (→ P. 91)

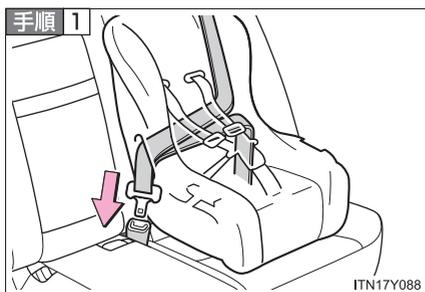
リヤシートの外側席に装備されています。(固定専用バーが装備されていることを示すタグがシートに付いています)



トップテザーアンカー
(→ P. 91)

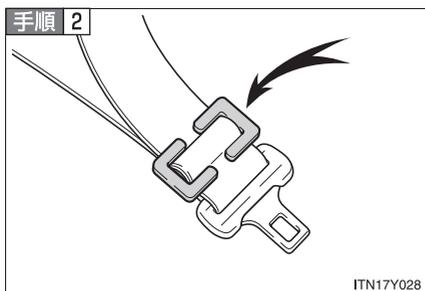
テザーベルトを固定するときに使います。トップテザーアンカーは、リヤ外側シートに装備されています。

シートベルトで固定する



チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートをバックルに“カチッ”と音がするまで挿し込む。ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取り扱い説明書に従い、シートベルトをチャイルドシートにしっかりと固定させてください。



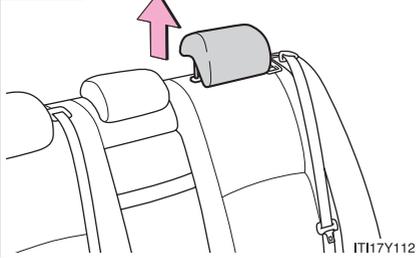
チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロックングクリップ（別売）を使用して固定する

ロックングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。（ロックングクリップ品番：73119-22010）

取り付け後はチャイルドシートを軽くゆさぶり、しっかりと固定されていることを確認してください。

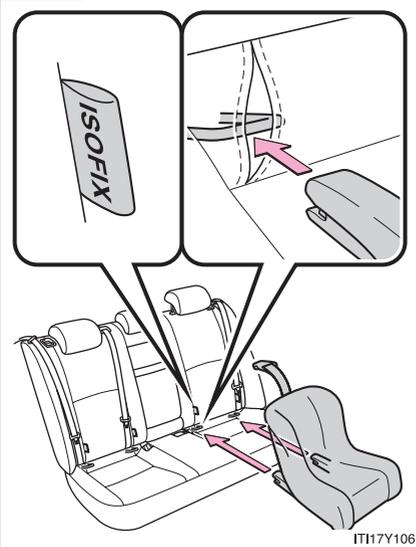
ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー&トップテザーアンカーで固定する

手順 1



ヘッドレストを上げる

手順 2



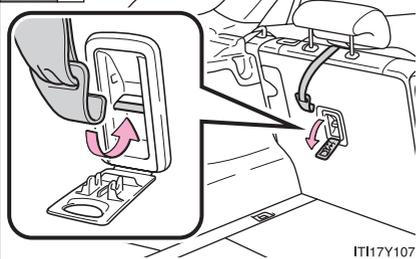
固定専用バーの位置を確認して、チャイルドシートをシートに取り付ける

固定専用バーは、シートクッションと背もたれのあいだにあります。

チャイルドシートの取り付け金具をチャイルドシート固定専用バーに取り付けます。

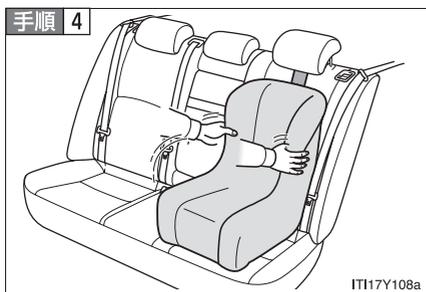
取り付け方法は、それぞれのチャイルドシート付属の取り扱い説明書に従ってください。

手順 3



フタを開けて、トップテザーアンカーにフックを固定し、テザーベルトを締める

テザーベルトをピンと張り、フックがしっかり固定されているか確認します。



取り付けしたチャイルドシートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認する

 警告

■チャイルドシートについて

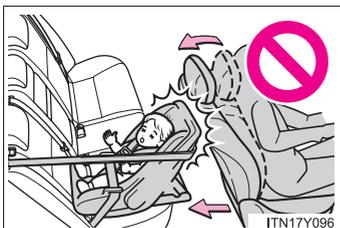
- 事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントウインドウガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用してリヤシートに取り付けてください。
- チャイルドシートに座らせている場合でも、ドア・シート・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール付近にお子さまの頭や体のどの部分ももたれかけさせないようにしてください。SRS エアバッグがふくらんだ場合、大変危険であり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取り扱い説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■チャイルドシートを取り付けるときは

- お子さまをシートベルトであそばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのプレートとバックルが固定されていて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- チャイルドシートを左右に動かして、しっかり固定されているか確認してください。
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。

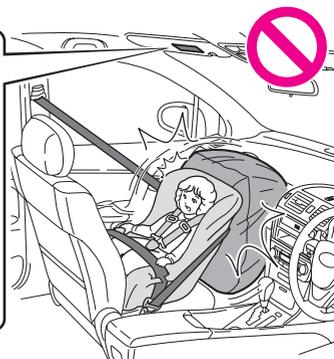
警告

■チャイルドシートを取り付けるときは



- 運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤ席に取り付けてください。
- 助手席とチャイルドシートが干渉しないように、助手席を調整してください。

	<p>警告 助手席SRSエアバッグ</p>
	<p>このシートに、ベビーシートを取り付けたり後向きのチャイルドシートを取り付けしないでください。また、絶対にお子さまを前席の前に立たせたり膝の上に抱いたりしないでください。</p> <p>エアバッグの衝撃により、死亡または重大な傷害に至るおそれがあります。</p>



- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けしないでください。うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。助手席側のサンバイザーに、同内容の警告文が表示されています。併せてご覧ください。



- やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席をいちばんうしろに下げて取り付けてください。助手席SRSエアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **警告****■チャイルドシートを取り付けるときは**

- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーを使用するときは、周辺に障害物が無いか、シートベルトが挟まっていないかなどを確認してください。

 **注意****■トップテザーアンカーについて**

使用しないときはフタを確実に閉めてください。開けたままにしておくと、フタが破損するおそれがあります。

運転するときに

2

2-1. 運転のしかた

運転にあたって	98
エンジン（イグニッション） スイッチ	108
トランスミッション.....	112
方向指示レバー	117
パーキングブレーキ.....	118
ホーン（警音器）.....	120

2-2. メーターの見方

計器類.....	121
表示灯／警告灯	124
マルチインフォメーション ディスプレイ.....	127

2-3. ライトのつけ方、ワイパーの 使い方

ライトスイッチ	135
リヤフォグライト スイッチ	139
ワイパー & ウォッシャー （フロント）.....	140
ワイパー & ウォッシャー （リヤ）.....	144

2-4. その他の走行装置の使い方

運転を補助する装置.....	146
----------------	-----

2-5. 様々な状況での運転

荷物を積むときの注意.....	151
寒冷時の運転.....	153

2-1. 運転のしかた

運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

■ エンジンをかける

→P. 108

■ 発進する

手順 1 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーを D にする
(→P. 112)

手順 2 パーキングブレーキを解除する (→P. 118)

手順 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

■ 停車する

手順 1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む

手順 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける (→P. 118)

長時間停車する場合は、シフトレバーを P または N にします。
(→P. 112)

■ 駐車する

手順 1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む

手順 2 パーキングブレーキをかける (→P. 118)

手順 3 シフトレバーを P にする (→P. 112)

坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め^{*}を使用してください。

^{*} 輪止めはトヨタ販売店で購入することができます。

手順 4 “エンジン スタート ストップ” スイッチを OFF にしてエンジンを停止する

手順 5 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する

上り坂の発進のしかた

- 手順 1 パーキングブレーキをしっかりかけ、シフトレバーをDにする
- 手順 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 手順 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

知識

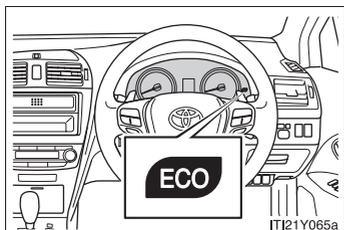
■雨の日の運転について

- 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったりするので、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

■運転標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを、樹脂バンパーやアルミボデー部に取り付けることはできません。

■環境に配慮した運転



エコドライブインジケータースタイルランプが点灯すると、環境に配慮したアクセル操作をしていることをお知らせします。必要以上にアクセルペダルを踏むと消灯します。

次の場合、エコドライブインジケータースタイルランプは点灯しません。

- シフトレバーがDの位置以外するとき
- 走行モードがスポーツモードのとき
- パドルシフトを操作したとき



警告

■ 発進するときは

エンジンがかかったまま停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象で車が動き出すのを防ぎます。

■ 運転するときは

● 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を把握しない状態で運転しないでください。

- ・ アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ・ 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
- ・ 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- ・ ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

● 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を止めたりしないでください。排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

● シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、Rに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。エンジンが停止し、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。

● 車内で排気ガス臭に気付いたら、ドアガラスを開け、バックドアが閉まっていることを確認してください。多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因になる他、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

 **警告**

- 車両が動いているあいだは、シフトレバーをPに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が前進しているあいだは、シフトレバーをRに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が後退しているあいだは、シフトレバーをDに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 走行中にシフトレバーをNにすると、トランスミッションとエンジンの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。
- 通常走行時は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなります。その場合はハンドルとブレーキの操作が困難になるため、安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。
なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 281を参照してください。
- 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキがオーバーヒートして正常に機能しなくなります。(→P. 114)
- 走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラーの調整をしないでください。
運転を誤り、思わぬ事故の原因になって重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **警告**

■ **すべりやすい路面を運転するときは**

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- シフトアップやシフトダウンによるエンジンブレーキなど、エンジン回転数の急な変化は、車が横すべりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 水たまり走行後はブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ **シフトレバーを操作するときは**

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。シフトレバーがPまたはN以外にあると、車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ **継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したときは**

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限界をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **警告****■ 停車するときは**

- 空ぶかしをしないでください。
シフトレバーがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 長時間エンジンをかけたままにしないでください。
どうしても必要な場合は、開かれた場所に車を止め、排気ガスが車内に入っていないことを確認してください。
- 車が動き出すことによる事故を防ぐため、エンジン回転中は常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながるのを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車中に空ぶかしをしないでください。
排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

■ 駐車するときは

- 炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶・炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
 - ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
 - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
 - ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたりしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。

警告

- ウインドウガラスなどには吸盤を取り付けしないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにしてエンジンを停止し、施錠してください。
エンジンがかかっているあいだは、車から離れないでください。
- エンジン回転中または停止直後は排気管にふれないでください。
やけどをするおそれがあります。
- 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。
まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して車内に入り、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■排気ガスについて

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、排気ガスを吸い込むと、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 換気が悪い場所では、エンジンを停止してください。
特に車庫内など囲まれた場所では排気ガスが充満し、重大な健康障害や死亡に至るおそれがあり危険です。
- 排気管はときどき点検してください。排気管の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気づいた場合は必ずトヨタ販売店で点検整備を受けてください。そのまま使用すると排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **警告****■ 仮眠するときは**

必ずエンジンを停止してください。

エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に止めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ブレーキをかけるときは

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- ブレーキ倍力装置が機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。
この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。
- 万一エンジンが停止したときは、ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。ペダルを踏むたびに、ブレーキのアシスト力の蓄えを使い切ってしまうます。
- ブレーキシステムは2つの独立したシステムで構成されており、一方の油圧システムが故障しても、もう一方は作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。一方のブレーキシステムしか作動していない状態で走行しないでください。ただちにブレーキの修理を受けてください。

 **注意**

■ **運転中は**

坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

■ **駐車するときは**

必ずシフトレバーを P にしてください。P にしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

■ **部品の損傷を防ぐために**

- パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

■ **走行中にタイヤがパンクしたら**

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかりと持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法は P. 256 を参照してください。

 **注意****■ 冠水路走行に関する注意**

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を受けるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン・トランスアクスル・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- 各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

エンジン（イグニッション）スイッチ

電子キーを携帯して次の操作を行うことで、エンジンの始動または“エンジン スタート ストップ”スイッチのモードを切りかえることができます。

■ エンジンのかけ方

手順 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する

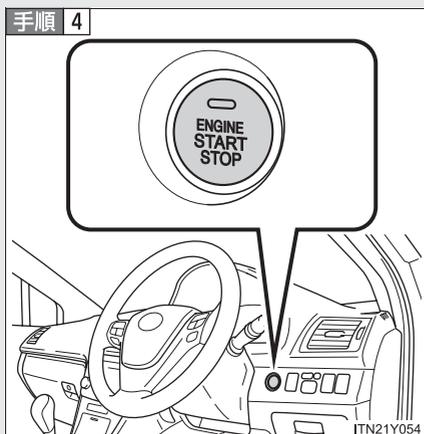
手順 2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する

手順 3 ブレーキペダルをしっかりと踏む

スイッチ上のインジケーターが緑色に点灯します。

緑色に点灯していないと、エンジンは始動しません。

手順 4



“エンジン スタート ストップ”
スイッチを押す

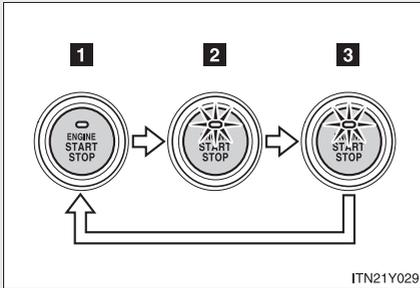
エンジンが始動するまで最大 30
秒間スターターが回転します。

完全にエンジンが始動するまで、
ブレーキペダルを踏み続けてくだ
さい。

“エンジン スタート ストップ”ス
イッチのどのモードからでもエン
ジンを始動できます。

■ “エンジン スタート ストップ” スイッチのモード切りかえ

ブレーキペダルを踏まずに“エンジン スタート ストップ”スイッチを押すと、モードを切りかえることができます。(スイッチを押すごとにモードが切りかわります)



1 OFF ※

非常点滅灯が使用できます。

2 アクセサリーモード

オーディオなどの電装品が使用できます。
スイッチ上のインジケーターが橙色に点灯します。

3 イグニッション ON モード

すべての電装品が使用できます。
スイッチ上のインジケーターが橙色に点灯します。

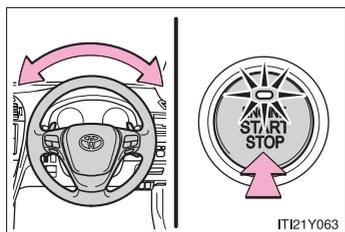
※シフトレバーが P 以外の場合は
アクセサリーモードになり、OFF
になりません。

知識

■ エンジンが始動しないときは

エンジンイモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。
(→P. 68)

■ステアリングロックが解除できないときは



“エンジン スタート ストップ” スイッチ上のインジケーターが緑色に点滅します。ハンドルを左右に動かしながら、再操作してください。

■“エンジン スタート ストップ” スイッチ上のインジケーターが橙色に点滅したときは

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■自動電源 OFF 機能

シフトレバーが P にあるとき、1 時間以上アクセサリモードにしたままにしておくと、“エンジン スタート ストップ” スイッチが自動で OFF になります。

■電子キーの電池の消耗について

→P. 28

■電子キーの電池が切れたときは

→P. 273

■スマートエントリー&スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況

→P. 27

■ご注意ください

→P. 29

 **警告****■ エンジンを始動するときは**

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 緊急時のエンジン停止方法

走行中にエンジンを緊急停止したい場合には、3 秒以上 “エンジン スタート ストップ” スイッチを押し続けてください。

ただし、緊急時以外は走行中に “エンジン スタート ストップ” スイッチにふれないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなります。その場合はハンドルとブレーキの操作が困難になるため、安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

 **注意****■ バッテリーあがりを防止するために**

エンジンがかかっていないときは、“エンジン スタート ストップ” スイッチをアクセサリモード、またはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

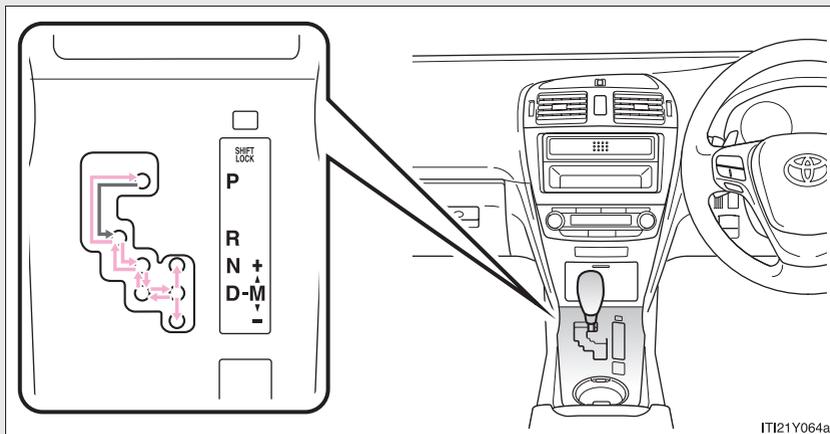
■ エンジンを始動するとき

- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただちにエンジンの点検を受けてください。

2-1. 運転のしかた トランスミッション

状況に応じてシフトポジションを選択してください。

■ シフトレバーの動かし方



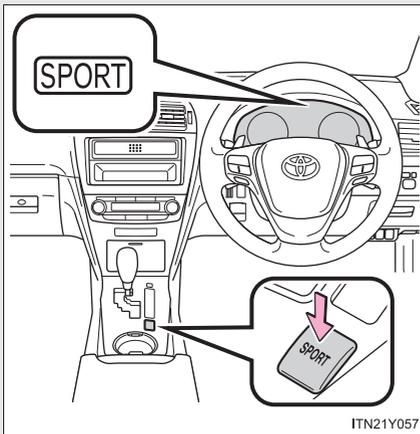
“エンジン スタート ストップ”スイッチがイグニッション ON
モードの状態、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。
P と D のあいだの操作は、車を完全に止めてから行ってください。

■ シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的
P	駐車またはエンジン始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行*
M	7速スポーツシーケンシャルシフトマチックモード走行 (→P. 114)

*燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

■ 走行モードの選択

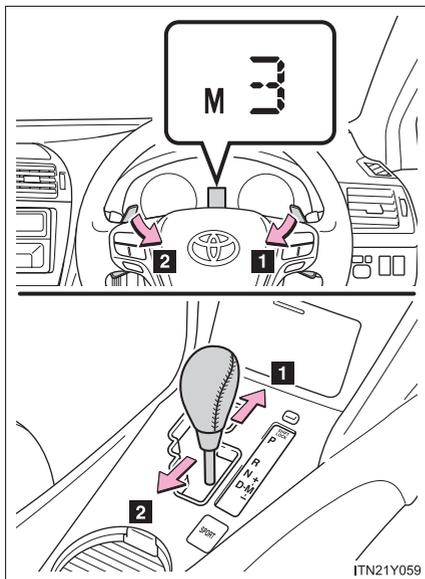


スイッチを押すとスポーツモードになります。

メーター内のスポーツモード表示灯が点灯します。パワフルな運転や山間地などの走行に適しています。もう一度スイッチを押すと通常走行モードにもどります。

7 速スポーツシーケンシャルシフトマチックモードでの変速段切りかえ

シフトレバーを M の位置にして、シフトレバーまたはパドルシフトを次のように操作できます。



1 シフトアップ

2 シフトダウン

知識

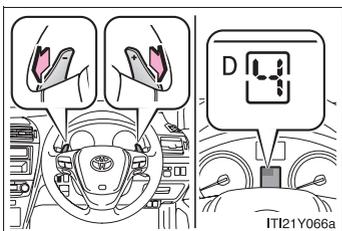
■ リバース警告ブザー

シフトレバーをRに入れるとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。

■ 7速スポーツシーケンシャルシフトマチックモード走行時の自動変速について

変速段を固定して走行しているときでも、エンジン回転数が上がりすぎそうなとき、または下がりすぎそうなときは、現在の変速段から自動的に1段シフトアップ、またはシフトダウンされます。

■ 一時的な7速スポーツシーケンシャルシフトマチックモードについて



シフトレバーをDの位置で走行中、パドルシフトを操作することにより任意の変速段を選択することができます。この場合、シフトポジション・シフトレンジ表示のDが点灯し、変速段が表示されます。

一時的な7速スポーツシーケンシャルシフトマチックモードは次の状態になると解除されます。

- パドルシフトのシフトアップ側を一定時間以上押し続けたとき
- 車両停止状態のとき
- 同一変速段で、アクセルペダルを一定時間以上踏み続けたとき

■ シフトダウン制限警告ブザー

安全や走行性能を確保するため、シフト操作には制限があり、操作してもシフトダウンできない場合があります。シフト操作によるシフトダウンが行われない場合は警告ブザーが鳴ります。

■ スポーツモードの自動解除について

“エンジン スタート ストップ” スイッチをOFFにすると、スポーツモードは解除されます。

■ シフトレバーをPからシフトできないときは

→P. 268

■シフトレバーを M にしても、シフトポジション・シフトレンジ表示の“M”が点灯しないときまたは点滅したときは

システム異常のおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■M ポジションで走行中に停車したときは

- 停車すると自動的に M1 にシフトダウンされます。
- 停車後、走行するときは M1 からの発進となります。

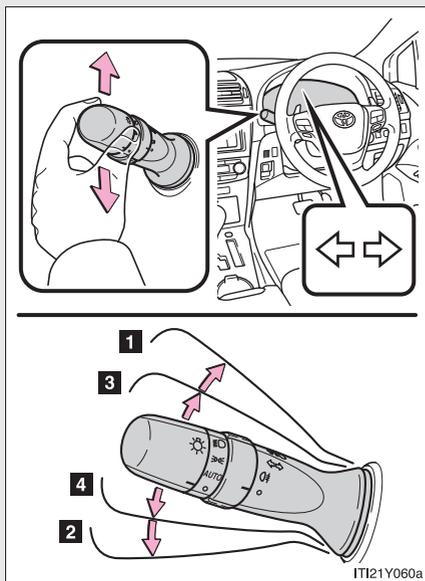
 **警告**

■すべりやすい路面では

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジンブレーキ力の急激な変化が、横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

2-1. 運転のしかた 方向指示レバー

レバー操作により、次のように運転者の意思を表示することができます。



1 右折

2 左折

3 右側へ車線変更
(レバーを途中で保持)

レバーを離すまで、右側方向指示
灯が点滅します。

4 左側へ車線変更
(レバーを途中で保持)

レバーを離すまで、左側方向指示
灯が点滅します。

知識

■ 作動条件

“エンジン スタート ストップ” スイッチがイグニッション ON モードのとき

■ 表示灯の点滅が異常に速くなったときは

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

2-1. 運転のしかた

パーキングブレーキ



1 パーキングブレーキをかけるにはスイッチを押す

緊急時、走行中にパーキングブレーキをかける必要があるときは、スイッチを押し続けてください。

2 パーキングブレーキを解除するにはスイッチを引く

知識

■ パーキングブレーキの解除について

“エンジン スタート ストップ”スイッチがイグニッション ON モード以外の場合は、パーキングブレーキスイッチによる解除はできません。

■ パーキングブレーキの作動音

パーキングブレーキが作動するとき、モーターの音（“ウィーン” という音）が聞こえることがありますが、異常ではありません。

■ システムの過熱について

短時間に操作を繰り返すと、システムの過熱防止のために作動制限することがあります。しばらく操作を控えると、もとの状態にもどります。

■ システムに異常があるときは

電子制御ブレーキ警告灯が点灯または点滅します。（→P. 251）

■ パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー

→P. 252

■ 冬季のパーキングブレーキの使用について

「寒冷時の運転」(→P. 153) の記載を参照してください。

 注意

■ 駐車するとき

車から離れるときは、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P にし、車が動かないことを確認してください。

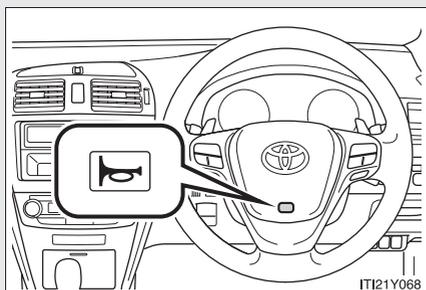
■ 故障などでかかったままになったとき

パーキングブレーキ解除ツールを使用して、パーキングブレーキを完全に解除してください。(→P. 269)

パーキングブレーキがかかったまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

2-1. 運転のしかた

ホーン（警音器）

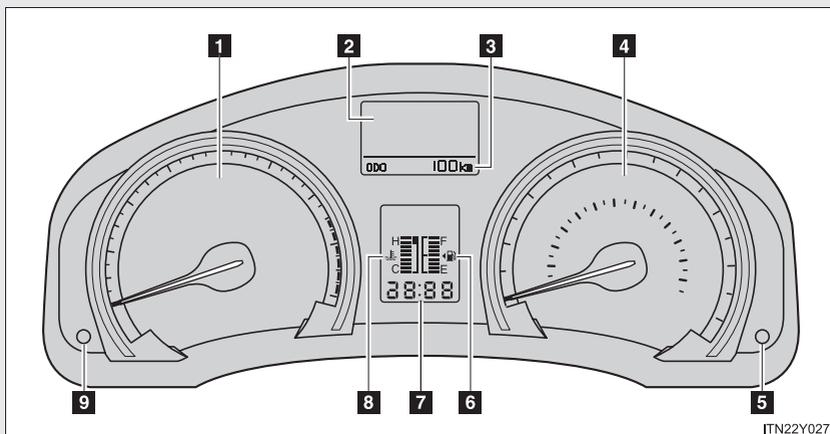


ハンドルの  周辺部を押すとホーンが鳴ります。

知識

■ ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとホーンが鳴らない場合があります。（→P. 57）



“エンジン スタート ストップ” スイッチをイグニッション ON モードにするとメーターが点灯します。

1 タコメーター

毎分のエンジン回転数を示します。

2 マルチインフォメーションディスプレイ

→P. 127

3 オドメーター／トリップメーター

オドメーター：走行した総距離を表示します。

トリップメーター：リセットしてからの走行距離を表示します。区間距離は、トリップ A・トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。

4 スピードメーター

車両の走行速度を示します。

5 DISP ボタン／メーター照度調整スイッチ

押す：マルチインフォメーションディスプレイの表示を切りかえます。

まわす：メーターの照度調整ができます。(→P. 123)

6 燃料計

燃料残量を示します。

7 時計

時刻を表示します。

8 水温計

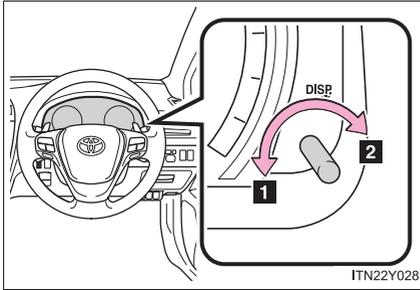
エンジン冷却水の温度を示します。

9 表示切りかえ／トリップメーターリセットボタン

オドメーター／トリップメーターの切りかえができます。また、トリップメーター表示中に押し続けると、走行距離を0にもどします。

メーター照度調整

車幅灯が点灯しているときは、メーター照明の明るさを調整できます。



- 1 暗くなる
- 2 明るくなる

知識

メーター照明の減光制御について

ライトスイッチを ON にすると、メーター照明が減光されます。メーター照度調整スイッチを右いっぱいまでまわすと、ライトスイッチを ON にしても明るさは切りかわりません。

注意

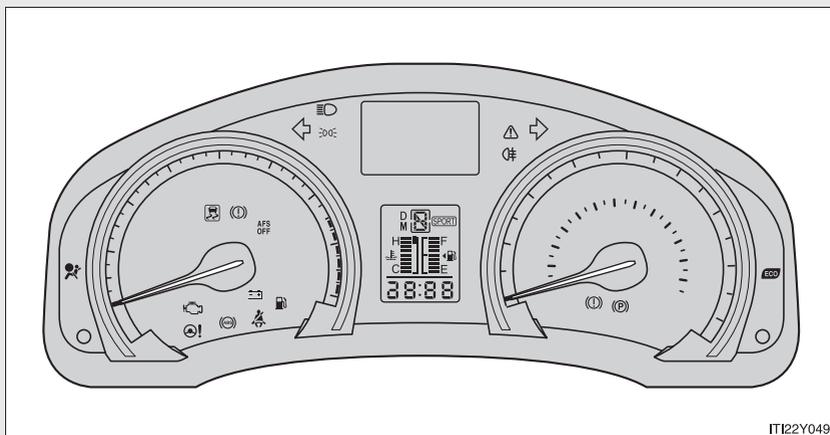
エンジンや構成部品への損傷を防ぐために

- タコメーターの針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数をこえている範囲）に入らないようにしてください。
- 水温計の表示が上端まで達したときは、オーバーヒートのおそれがあるので、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、エンジンを確認してください。（→P. 278）

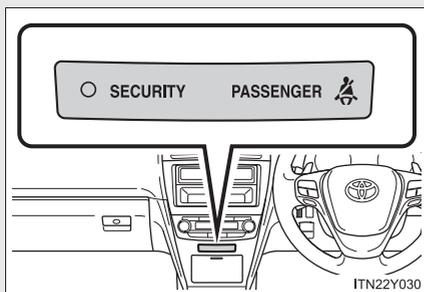
2-2. メーターの見方 表示灯／警告灯

メーター・センターパネル内の表示灯・警告灯でお車の状況をお知らせします。

▶ メーター



▶ センターパネル



■ 表示灯

システムの作動状況を表示します。



方向指示表示灯
(→P. 117)



スリップ表示灯
(→P. 147)



尾灯表示灯 (→P. 135)



エコドライブインジケーター
ランプ (→P. 99)



ヘッドライト
上向き表示灯 (→P. 136)



セキュリティインジケーター
(→P. 68)



リヤフォグライト表示灯
(→P. 139)



パーキングブレーキ表示灯
(→P. 118)



※ AFS OFF 表示灯
(→P. 136)



シフトポジション・シフトレンジ表示
(→P. 112)



スポーツモード表示灯
(→P. 113)

※ 作動確認のために“エンジン スタート ストップ”スイッチをイグニッション ON モードにすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 警告灯

万一のシステム異常などを警告します。(→P. 250)



- ※ 作動確認のために“エンジン スタート ストップ”スイッチをイグニッション ON モードにすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

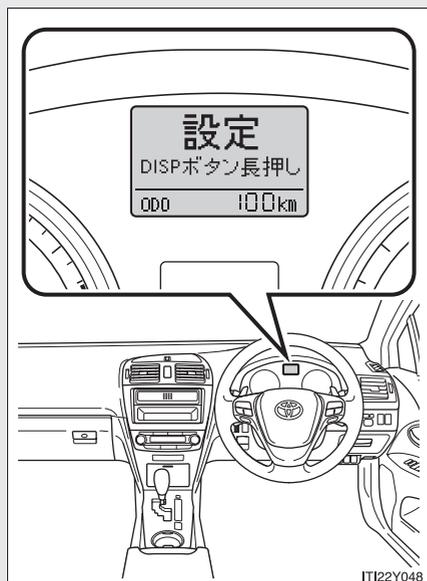
▲ 警告

■ 安全装置の警告灯が点灯しないときは

ABS や SRS エアバッグなどの安全装置の警告灯が、“エンジン スタート ストップ”スイッチをイグニッション ON モードにしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

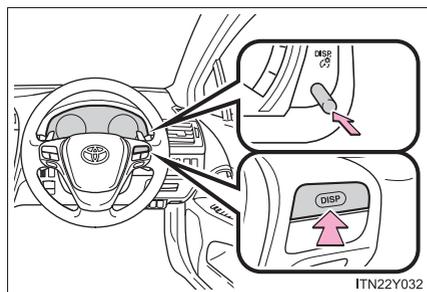
マルチインフォメーションディスプレイ

マルチインフォメーションディスプレイは、外気温・時刻や走行に関するさまざまな情報を表示します。



- トリップインフォメーション
航続可能距離や燃費など、走行に関する情報を表示します。
- 日付
日付が表示されます。
- 外気温度表示 (→P. 128)
- 警告メッセージ (→P. 254)
各システムに異常が発生すると自動で表示されます。
- 表示設定 (→P. 131)

表示切りかえ

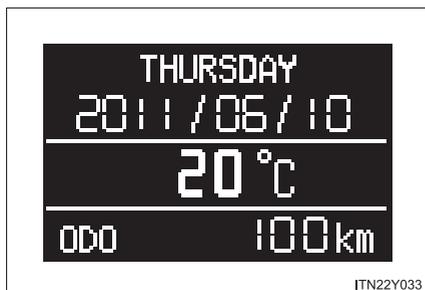


表示を切りかえるには、DISP ボタン (メーター部)、または DISP スイッチ (ハンドル部) を押します。

DISP スイッチは販売店オプションのナビゲーションシステムまたはオーディオを装着した場合に操作可能です。

表示項目

■ 日付／外気温度表示



日付と外気温度を表示します。

外気温度は -40°C から 50°C の範囲で表示します。

■ 瞬間燃費



現在の瞬間燃費を表示します。

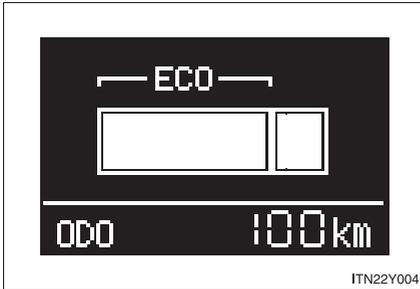
■ 平均燃費



リセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・ リセットするには、平均燃費表示中に DISP ボタンまたは DISP スイッチを 1 秒以上押し続けます。
- ・ 表示される平均燃費は、参考として利用してください。

■ エコドライブインジケータゾーン表示



環境に配慮したアクセル操作の範囲と、現状のアクセル開度を表示します。

■ 航続可能距離



現在の燃料残量で走行できるおよその距離を表示します。

- ・ 表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。
- ・ 燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。給油の際は“エンジン スタートストップ”スイッチを OFF にしてください。万一、“エンジン スタートストップ”スイッチを OFF にせず給油した場合、表示が更新されないことがあります。

■ 平均車速



リセットしてからの平均車速を表示します。

リセットするには、平均車速表示中に DISP ボタンまたは DISP スイッチを 1 秒以上押し続けます。

■ 走行時間



リセットしてからの走行時間を表示します。

リセットするには、走行時間表示中に DISP ボタンまたは DISP スイッチを 1 秒以上押し続けます。

表示設定のしかた

■ 設定する前に

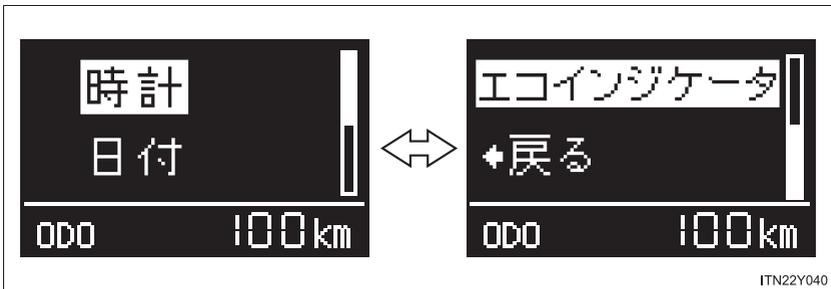
手順 1 車両を停止する

手順 2



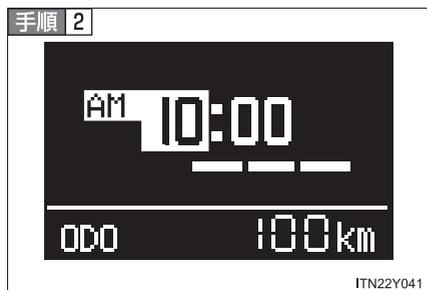
DISP ボタンまたは DISP スイッチを押して、設定画面を表示選択し、再度 DISP ボタンまたは DISP スイッチを押し続ける

手順 3 DISP ボタンまたは DISP スイッチを押して設定を変更したい項目を選択し、再度 DISP ボタンまたは DISP スイッチを押し続ける



■ 時刻の設定

手順 1 “時計” を選択し、DISP ボタンまたは DISP スイッチを押し続ける



DISP ボタンまたは DISP スイッチを押して“時”を調整する

バーが消えるまで約5秒間放置し、希望の“時”に設定されたか確認してください。

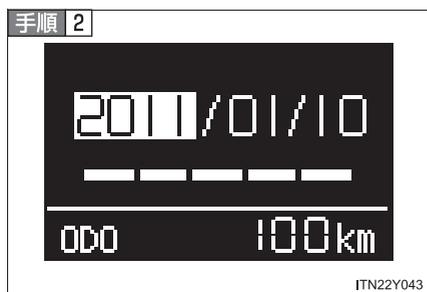


DISP ボタンまたは DISP スイッチを押して“分”を調整する

バーが消えるまで約5秒間放置し、希望の“分”に設定されたか確認してください。

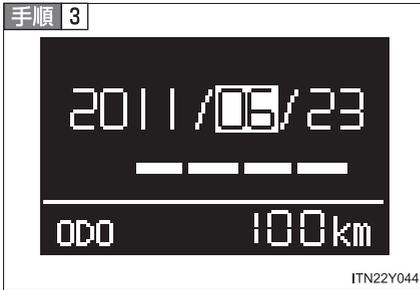
■ 日付の設定

手順 1 “日付” を選択し、DISP ボタンまたは DISP スイッチを押し続ける



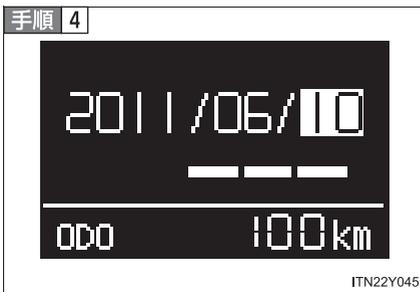
DISP ボタンまたは DISP スイッチを押して“年”を調整する

バーが消えるまで約5秒間放置し、希望の“年”に設定されたか確認してください。



DISP ボタンまたは DISP スイッチを押して“月”を調整する

バーが消えるまで約5秒間放置し、希望の“月”に設定されたか確認してください。



DISP ボタンまたは DISP スイッチを押して“日”を調整する

バーが消えるまで約5秒間放置し、希望の“日”に設定されたか確認してください。

■ エコドライブインジケータランプの表示設定

手順 1 “エコドライブインジケータ”を選択し、DISP ボタンまたは DISP スイッチを押し続ける



ON/OFF を選択し、DISP ボタンまたは DISP スイッチを押し続ける

この設定はエコドライブインジケータゾーン表示の ON/OFF ではありません。

■ 前の画面にもどるには

“戻る”を選択し、DISP ボタンまたは DISP スイッチを押し続けます。

知識

■エコドライブインジケータゾーン表示について

環境に配慮したアクセル操作（エコ運転）の範囲と、現状のアクセル開度を表示します。

アクセルの踏みすぎなど、エコ運転の範囲をこえた場合には、エコドライブインジケータゾーン表示の右側が点滅します。

また、次の場合は表示されません。

- シフトレバーが D の位置以外するとき
- 走行モードがスポーツモードのとき
- シフトレバーが D の位置で走行中、パドルシフトを操作したとき

■外気温度表示について

●次の場合は、正しい外気温度が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

- ・ 停車しているときや、低速走行（約 20 km/h 以下）のとき
- ・ 外気温度が急激に変化したとき（車庫、トンネルの出入り口付近など）

●“--” が表示されたときは

システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象で、異常ではありません。

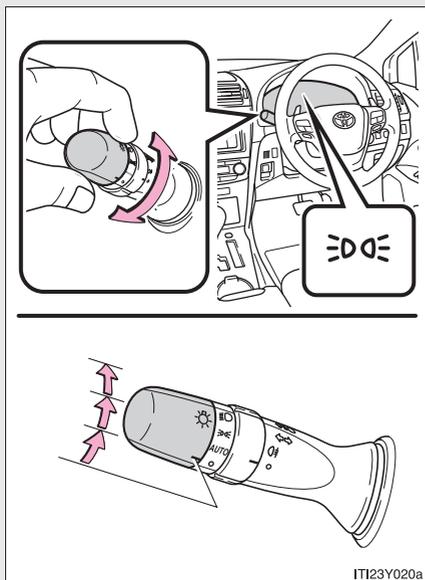
注意

■低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車内を暖めてください。

2-3. ライトのつけ方、ワイパーの使い方 ライトスイッチ

自動または手動でヘッドライトなどを点灯できます。

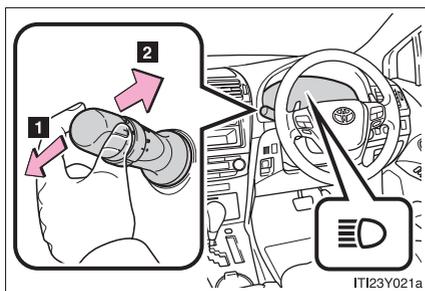


 車幅灯・尾灯・番号灯を点灯

 上記ライトとヘッドライトを点灯

AUTO ヘッドライト・車幅灯などを同時に自動点灯・消灯（“エンジンスタートストップ”スイッチがイグニッション ON モードのとき）

ハイビームにする



1 ライト点灯時、ハイビームに切り換え

レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。

2 レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯

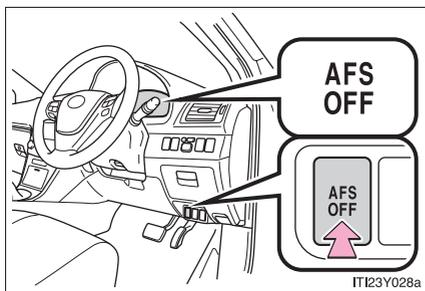
ライトが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。

AFS (アダプティブフロントライティングシステム)

AFS は交差点やカーブの視認性を向上させるため、ハンドル操作によって変化するタイヤの角度や車速に応じて、ヘッドライトの光軸を自動で調整します。

車速が 10km/h 以上のときに作動します。

■ AFS を OFF にするには

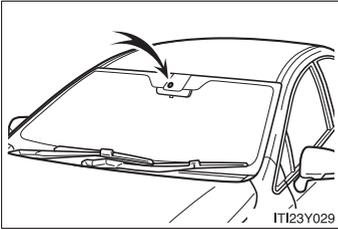


スイッチを押す

AFS OFF 表示灯が点灯します。

知識

■ ライトセンサー



センサーをふさぐようなものをウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。

■ ライト消し忘れ防止機能

- ライトスイッチが AUTO の位置にあるときは、“エンジン スタート ストップ”スイッチをアクセサリモード、または OFF にして運転席ドアを開けると、ヘッドライトと尾灯が消灯します。

再びライトを点灯する場合は、“エンジン スタート ストップ”スイッチをイグニッション ON モードにするか、一度ライトスイッチを OFF にもどし、

再度  または  の位置にします。

- ライトスイッチが  の位置にあるときは、“エンジン スタート ストップ”スイッチをアクセサリモード、または OFF にすると、ヘッドライトのみ消灯します。

再びヘッドライトを点灯する場合は、“エンジン スタート ストップ”スイッチをイグニッション ON モードにするか、一度ライトスイッチを OFF にもどし、再度  または  の位置にします。

■ ライト消し忘れ警告ブザー

“エンジン スタート ストップ” スイッチがアクセサリモードまたは OFF のとき、ヘッドライト・尾灯が点灯している状態で運転席ドアを開けると、ライト類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。

■ オートレベリングシステム

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドライトの光軸を自動で調整します。

■ AFS OFF 表示灯が点滅するときは

システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店に連絡してください。

■ 販売店で設定可能な機能

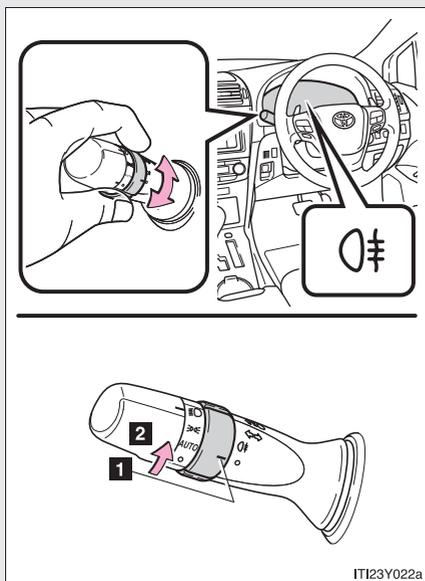
ライトセンサーの感度の設定などを変更できます。
(カスタマイズ一覧：→P. 289)

注意

■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でライトを長時間点灯しないでください。

2-3. ライトのつけ方、ワイパーの使い方 リヤフォグライトスイッチ



1 消灯する

2 点灯する

手を離すと、**○** の位置までもどります。

再度操作すると、消灯します。

知識

■点灯条件

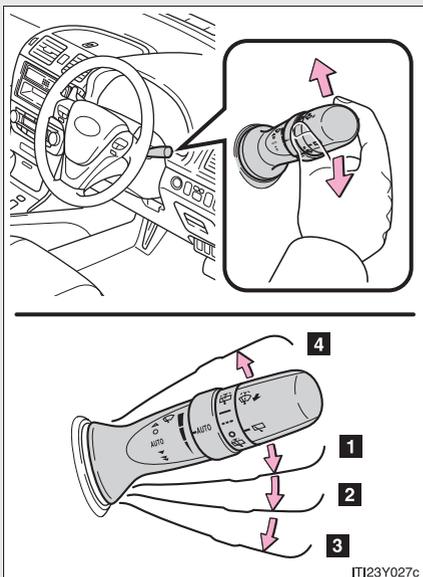
ヘッドライトまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

■リヤフォグライトについて

- リヤフォグライトが点灯しているときは、メーター内の表示灯が橙色に点灯します。
- 雨や霧などで視界が悪いときに後続車に自分の車の存在を知らせるために使用します。視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。必要なとき以外は使用しないでください。

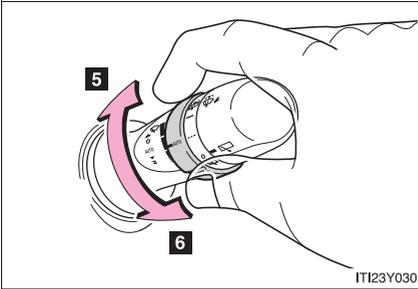
2-3. ライトのつけ方、ワイパーの使い方 ワイパー & ウォッシャー（フロント）

AUTO を選択しているとき、雨滴量と車速に応じてワイパーが作動します。



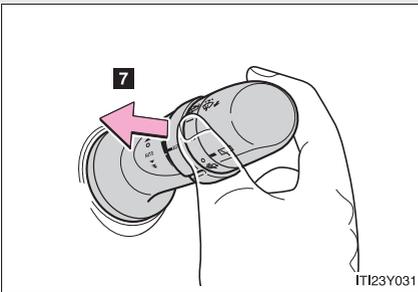
- 1 雨滴感知オート作動
- 2 低速作動
- 3 高速作動
- 4 一時作動

IT123Y027c



5 雨滴センサーの感度調整(高)

6 雨滴センサーの感度調整(低)



7 ウォッシャー液を出す

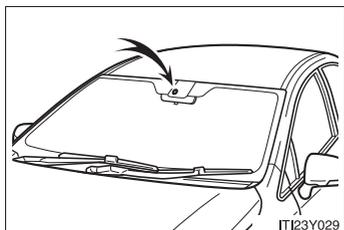
ワイパーが連動して作動します。

知識

■ 作動条件

“エンジン スタート ストップ” スイッチがイグニッション ON モードのとき

■ 雨滴感知センサー



雨滴感知センサーが雨滴量を判定します。

- “エンジン スタート ストップ” スイッチがイグニッション ON モードのときにワイパースイッチを **AUTO** にすると、作動確認のためワイパーが1回作動します。
- ワイパースイッチを **AUTO** にしているとき、雨滴感知センサーの感度調整を高側へ調整すると、作動確認のためワイパーが1回作動します。

■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

 **警告****■ AUTO モード時のワイパー作動に関する警告**

AUTO モードでは、センサーにふれたり、フロントウインドウガラスに振動があるなどの要因で不意にワイパーが動くおそれがあります。ワイパーで指などを挟まないように注意してください。

 **注意****■ フロントウインドウガラスが乾いているときは**

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

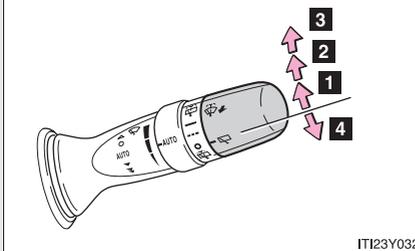
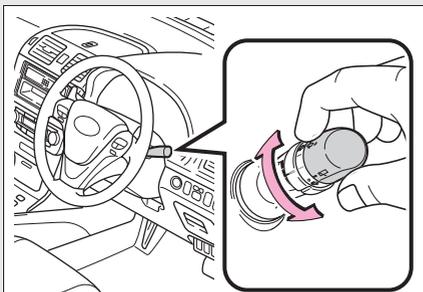
■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったときは

ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

2-3. ライトのつけ方、ワイパーの使い方 ワイパー & ウォッシャー (リヤ)



IT123Y032

- 1** 間欠作動
- 2** 通常作動
- 3** ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。
- 4** ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。

 知識

■ 作動条件

“エンジン スタート ストップ” スイッチがイグニッション ON モードのとき

■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

 注意

■ リヤウインドウガラスが乾いているときは

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

2-4. その他の走行装置の使い方

運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらの装置は補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

■ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防ぎ、スリップを抑制します。

■ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

■ VSC（ビークルスタビリティコントロール）

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

■ TRC（トラクションコントロール）

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力を確保します。

■ EPS（エレクトリックパワーステアリング）

電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

■ S-VSC（ステアリングアシステッドビークルスタビリティコントロール）

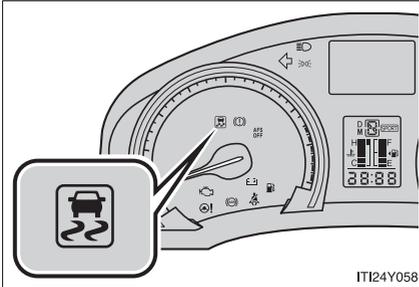
ABS、TRC、VSC と EPS を協調して制御します。

すべりやすい路面などの走行で急なハンドル操作をした際に、ハンドル操作力を制御することで、車両の方向安定性確保に貢献します。

■ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に制動灯を自動的に点滅させることにより、後続車に注意をうながし、追突される可能性を低減させます。

VSC・TRC が作動しているとき

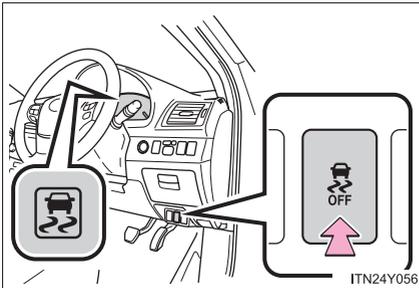


車両が横すべりしそうなとき、前輪が空転したときは、VSC・TRC の作動を表示するためにスリップ表示灯が点滅します。

TRC や VSC を停止するには

ぬかるみや新雪などから脱出するときに、TRC や VSC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。このようなときに VSC OFF スイッチを押すことにより、脱出しやすくなります。

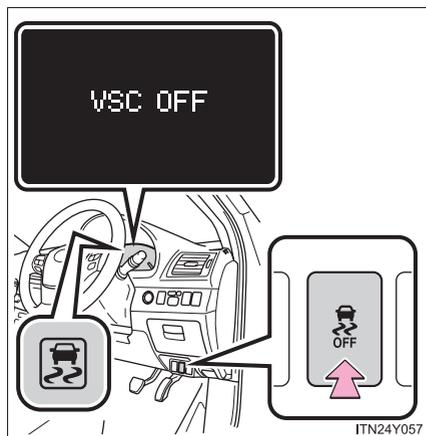
■ TRC を停止するには



TRC を停止するにはスイッチを押す

スリップ表示灯が点灯します。
もう一度スイッチを押すと、システム作動状態にもどります。

■ TRC と VSC を停止するには



TRC と VSC を停止するには停車時にスイッチを押し3秒以上保持する

マルチインフォメーションディスプレイ上にメッセージが表示され、スリップ表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと、システム作動状態にもどります。

知識

■ TRC や VSC の自動復帰について

TRC や VSC を作動停止にしたあと、“エンジン スタート ストップ”スイッチを OFF にすると、自動的に TRC と VSC は作動可能状態にもどります。

■ TRC OFF の作動制限

TRC のみ作動を停止している場合は、車速が高くなると TRC は作動を再開します。

ただし、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による作動再開はありません。

■ ABS ・ ブレーキアシスト ・ VSC ・ TRC の作動音と振動

● エンジン始動時や発進直後、ブレーキをくり返し踏んだときに、エンジンルームから作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

● 上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。

- ・ 車体やハンドルに振動を感じる
- ・ 車両停止後もモーター音が聞こえる
- ・ ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
- ・ ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

■ EPS モーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン” という音）が聞こえることがあります。異常ではありません。

■ EPS の効果が下がるとき

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPS システムのオーバーヒートを避けるため、EPS の効果が下がりハンドルが重く感じられるようになります。

その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、エンジンを停止してください。10分程度でもとの状態にもどります。



警告

■ ABS の効果を発揮できないとき

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき（雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど）
- 雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

■ ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- 凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき



警告

■ TRC の効果を発揮できないとき

すべりやすい路面では、TRC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

■ スリップ表示灯が点滅しているときは

VSC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

■ TRC や VSC を OFF にするときは

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要なとき以外は TRC・VSC を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

■ タイヤ、またはホイールを交換するときは

4 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・ブランド・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。

異なったタイヤを装着すると、ABS・VSC が正常に作動しません。

タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

■ タイヤとサスペンションの取り扱い

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

2-5. 様々な状況での運転

荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

- できるだけ荷物はラゲージルームに積む
- 荷物が安全な位置に置かれているか確認する
- 走行中のバランスを維持するために重さが偏らないように積む
- 燃費が悪化しないようにするために、不要な荷物は積まないようにする

警告

■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

 **警告**

■ **荷物を積むときは**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

● できるだけ荷物はラゲージルームに積んでください。

● 次の場所には荷物を積まないでください。

お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ・ 運転席足元
- ・ 助手席やリヤ席（荷物を積み重ねる場合）
- ・ トノカバー
- ・ インstrumentパネル
- ・ ダッシュボード

● 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。

安定していないと、急ブレーキや事故の際に投げ出され、乗員を傷付けるおそれがあります。

● ラゲージルームに人を乗せないでください。乗員用には設計されていません。乗員は、適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。

お守りいただかないと、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ **荷物の重量・荷重のかけ方について**

● 荷物を積み過ぎないでください。

● 荷重を不均等につけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

■ 冬の前の準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
 - ・ エンジンオイル
 - ・ 冷却水
 - ・ ウォッシャー液
- バッテリーの液量・比重を点検してください。
- 冬用タイヤ（4輪）やタイヤチェーン（前部タイヤ用）を用意してください。
タイヤは4輪とも指定サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを用意してください。
(タイヤについて：→P. 200)

■ 運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を溶かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 足まわりに氷が付いているときは、氷を取り除いてください。
- フェンダー部分やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。

■ 運転するときは

ゆっくりスタートし、速度を控えて走行してください。

■ 駐車するときは

パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。

パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーを P に入れて駐車し、輪止め[※]をしてください。

[※] 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

知識

■ 寒冷地用ワイパーブレードについて

- 降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなる場合があります。その場合には速度を落としてください。

■ タイヤチェーンについて

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- 安全に作業できる場所で行う
- 前2輪に取り付ける
- タイヤチェーンに付属の取り扱い説明書に従う

 **警告****■ 冬用タイヤ装着時の警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤを装着する際は、必ず 4 輪とも装着する

■ タイヤチェーン装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは 30 km/h のどちらか低い方をこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急ハンドル・急ブレーキを避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して車のコントロールを失うのを防ぐ

■ 駐車時の警告

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。輪止めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意**

■ **タイヤチェーンの使用について**

トヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。

トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると、車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

■ **フロントウィンドウガラスに付いた氷を除去するときは**

たたいて割らないでください。

ウィンドウガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

室内装備の使い方

3

3-1. エアコン・デフォグガーの 使い方

オートエアコン	158
リヤウインドウデフォグガー (曇り取り)	166

3-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧	167
・メインスイッチ	168
・パーソナルライト/ インテリアライト	168

3-3. 収納装備の使い方

収納装備一覧	170
・グローブボックス	171
・コンソールボックス	172
・小物入れ	173
・カップホルダー	174
・ボトルホルダー	175

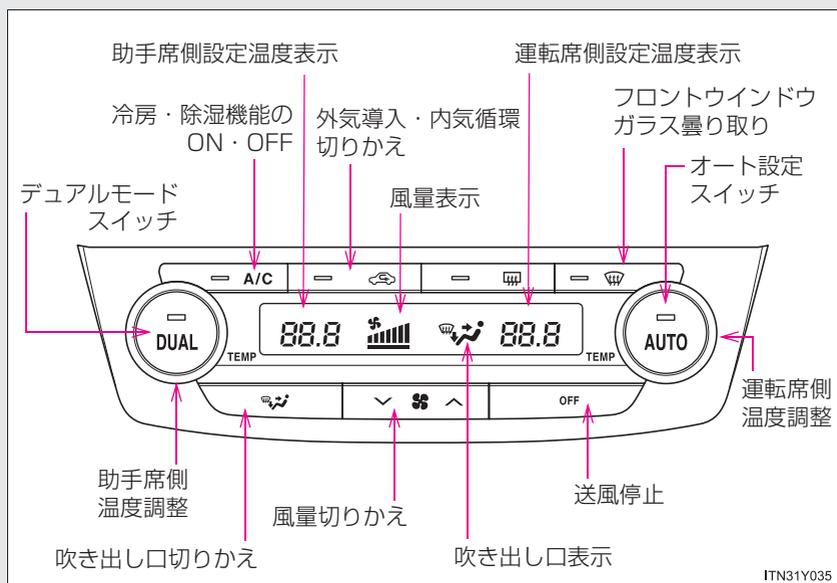
3-4. その他の室内装備の使い方

サンバイザー	177
バニティミラー	178
灰皿	179
シガレットライター	180
アクセサリースOCKET	181
リヤセンター アームレスト	182
ラゲージスルー	183
フロアマット	184
ラゲージルーム内装備	186
ステアリングスイッチ	190

3-1. エアコン・デフォグガーの使い方

オートエアコン

設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。



オートエアコンを使うには

手順 1  を押す

吹き出し口と風量が自動で調整されます。

手順 2 設定温度を上げるときは  を右にまわし、下げるときは左にまわす

運転席側と助手席側でそれぞれ独立した温度調整ができます。

お好みの設定で使うとき

■ 設定温度調整

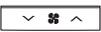
運転席側の設定温度を上げるときは  を右にまわし、下げるときは左にまわします。

助手席側の設定温度を上げるときは  を右にまわし、下げるときは左にまわします。

デュアルモード ( の表示灯が点灯) :  をまわすか、
 を押すと、運転席側と助手席側でそれぞれ独立した温度調整ができます。

連動モード : ( の表示灯が消灯) :  をまわすと運転席側と助手席側の温度が連動して調整できます。

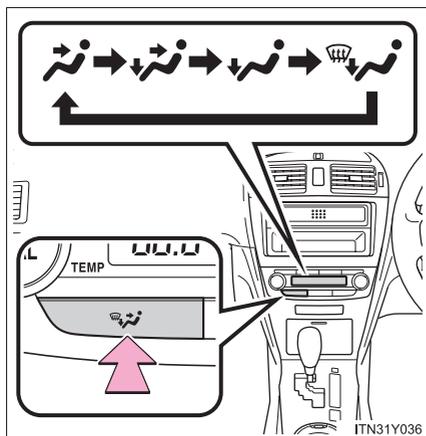
■ 風量の調整

風量をかえるには、 の“^” (増)か“v” (減)を押します。

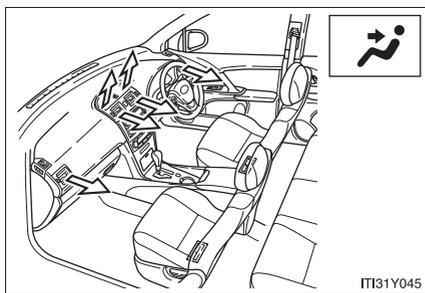
風量は7段階で表示されます。

 を押すと停止します。

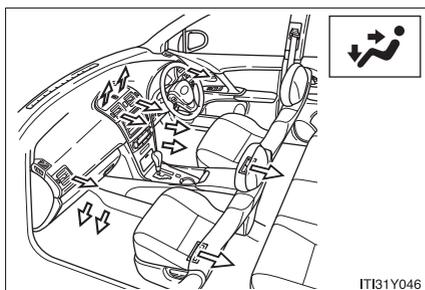
■ 吹き出し口の切りかえ



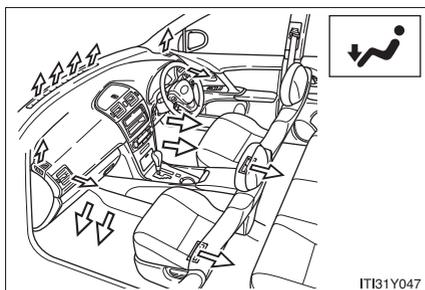
 を押すごとに吹き出し口が切りかわります。



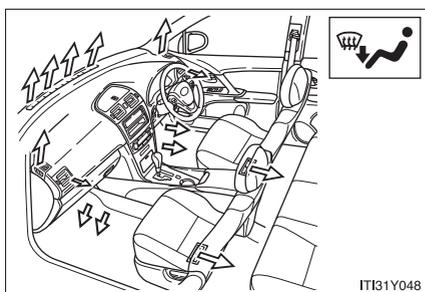
上半身に送風



上半身と足元に送風



足元に送風



足元に送風・ガラスの曇りを取る

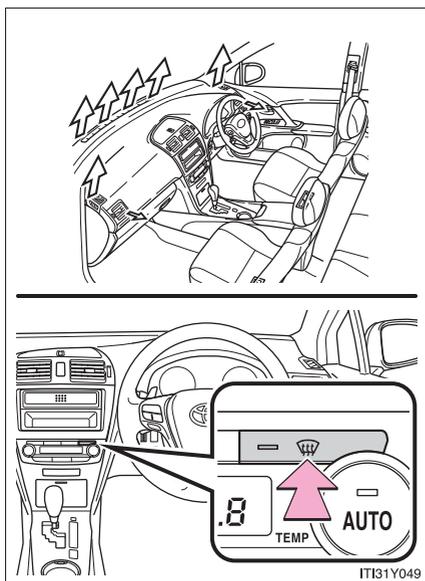
■ 外気導入・内気循環を切りかえるには

 を押す

ボタンを押すたびに外気導入・内気循環が切りかわります。

内気循環を選択しているときは、 の表示灯が点灯します。

フロントウィンドウガラスの曇りを取るには

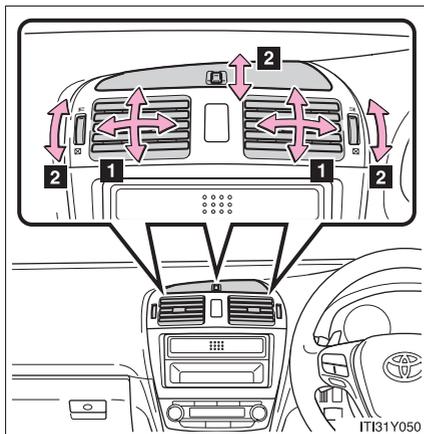


 を押す

エアコンが作動します。

風向きの調整・吹き出し口の開閉

▶ 中央吹き出し口



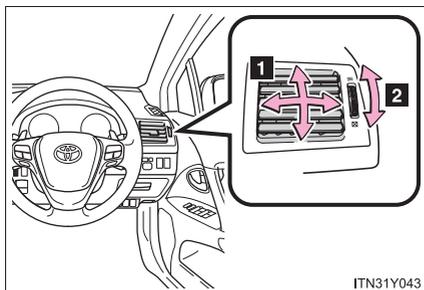
1 風向きの調整

フィンを動かして調整します。

2 吹き出し口の開閉

ダイヤルを操作して調整します。

▶ 左右吹き出し口



1 風向きの調整

フィンを動かして調整します。

2 吹き出し口の開閉

ダイヤルを操作して調整します。

知識

■ オート設定の作動について

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されます。次のような制御をする場合があります。

-  を押した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する
- 暖房時、冷風を上半身に向けて送る

■ 内気循環について

内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■ 内外気切りかえについて

設定温度や室内温度などにより、自動的に内気循環または外気導入へ切りかわる場合があります。

■ フロントウインドウガラスの曇りを取るとき

内外気の温度によって、自動的に外気導入に切りかわる場合があります。

■ 外気温度が0°C以下のとき

 を押しても冷房・除湿機能が働かない場合があります。

■ 吹き出し口を にしたとき

頭寒足熱を目的とした吹き出し口のため、設定温度によっては、足元に送られる風が上半身に送られる風より暖められて送風されます。

■ エアコンの臭いについて

- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

警告

■ フロントウィンドウガラスの曇りを防止するために

湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、 を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。

注意

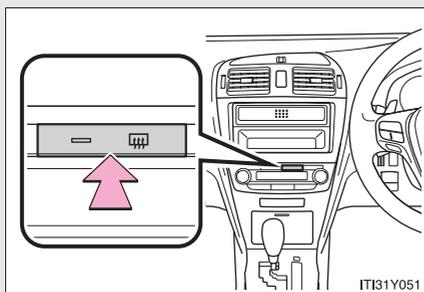
■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

3-1. エアコン・デフォグラーの使い方

リヤウインドウデフォグラー（曇り取り）

リヤウインドウの曇りを取るにお使いください。



ON / OFF を切りかえる
約 15 分で自動的に OFF になります。

知識

■ 作動条件

“エンジン スタート ストップ” スイッチがイグニッション ON モードのとき

■ ミラーヒーターについて

リヤウインドウデフォグラーを ON にすると、ミラーヒーターも同時に作動します。ドアミラーから雨滴や霜を取るときに使用してください。

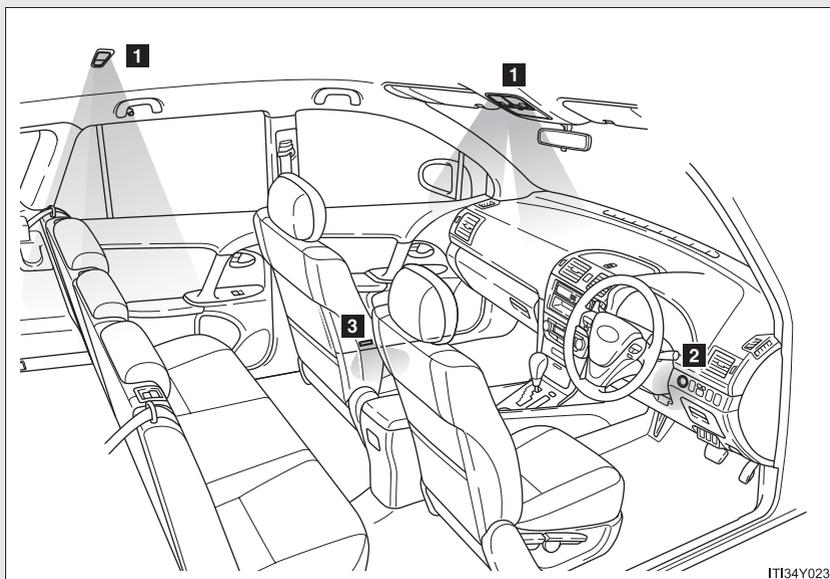
警告

■ ミラーヒーター作動中の警告

ドアミラーの表面が熱くなります。やけどをするおそれがありますのでふれないでください。

3-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧



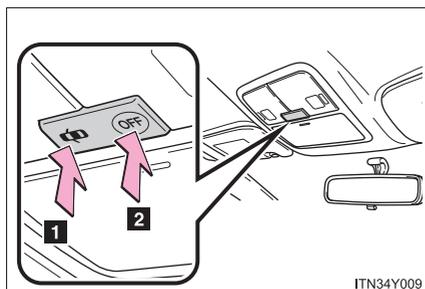
ITI134Y023

- 1 パーソナルライト／インテリアライト (→P. 168)
- 2 “エンジン スタート ストップ” スイッチ照明
- 3 フロントドアカーテシライト

3

室内装備の使い方

メインスイッチ



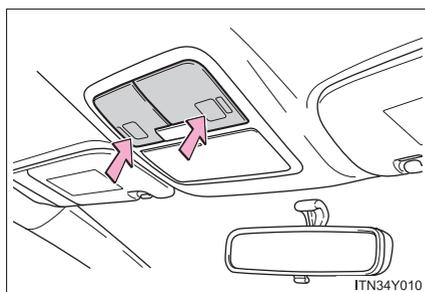
1 ドアポジション

ドアの開閉作動に連動してライトの点灯・消灯を切りかえる

2 OFF

パーソナルライト／インテリアライト

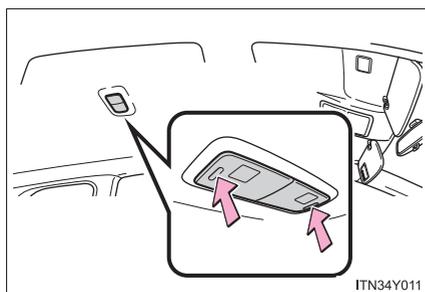
▶ フロント



ライトを点灯・消灯する

メインスイッチがドアポジションのときは、ドアの開閉によっても点灯・消灯します。

▶ リヤ



ライトを点灯・消灯する

フロントライトのメインスイッチがドアポジションのときは、ドアの開閉によっても点灯・消灯します。

 知識

■ 自動消灯機能

半ドア状態で、メインスイッチがドアポジションのときに、各部照明が点灯したままの場合、約 20 分後に自動消灯します。

■ イルミネーテッドエントリーシステム

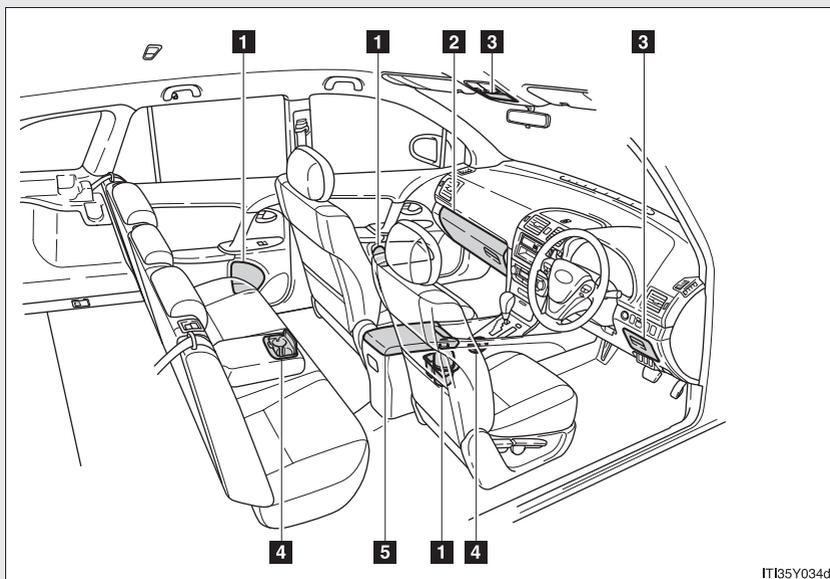
電子キーの検知・ドアの施錠／解錠・ドアの開閉・“エンジン スタート ストップ”スイッチの状態により、各部の照明が自動的に点灯・消灯します。

■ 販売店で設定可能な機能

室内灯の消灯までの時間などの設定を変更できます。
(カスタマイズ一覧：→P. 290)

3-3. 収納装備の使い方

収納装備一覧



IT135Y034d

1 ボトルホルダー

2 グローブボックス

3 小物入れ

4 カップホルダー

5 コンソールボックス

警告

■ 収納装備に放置してはいけないもの

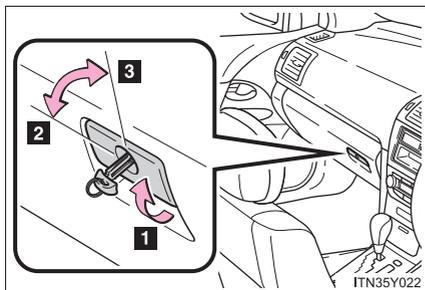
メガネ、ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

- 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
- 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる

グローブボックス

グローブボックス

グローブボックスはレバーを引いて開けます。メカニカルキーを使用して施錠・解錠できます。



1 開ける

2 施錠

3 解錠

知識

■グローブボックスライト

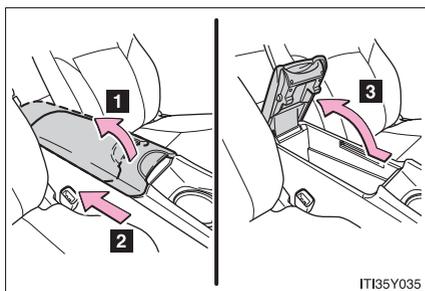
車幅灯点灯時は、グローブボックス内のライトが点灯します。

警告

■走行中の警告

グローブボックスを必ず閉じてください。

急ブレーキや急旋回時などに、開いたグローブボックスに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

コンソールボックス

- 1 レバーを引いてロックを解除する
- 2 アームレストをスライドする
- 3 レバーを引いて、アームレストを持ち上げる

警告**■ 走行中の警告**

コンソールボックスを必ず閉じてください。

急ブレーキや急旋回時などに、開いたコンソールボックスに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

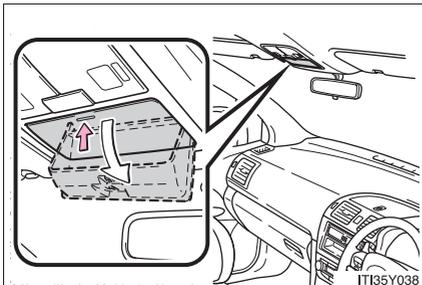
■ コンソールボックスのフタをうしろにスライドさせたときは

フタの後端部分に手をついたりしないでください。不意にフタが開き、けがをするおそれがあります。

小物入れ

小物入れ

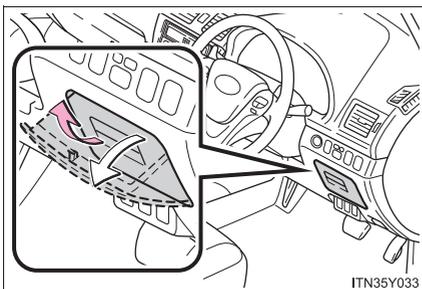
▶ オーバーヘッド部



フタを押して開ける

サングラスなどの小物を一時的に収納するのに便利です。

▶ 運転席側インストルメントパネル部



レバーを引いて開ける

 **警告**

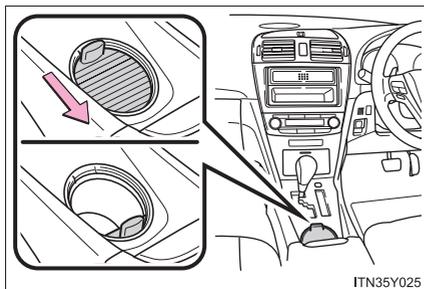
■ 走行中の警告

小物入れを必ず閉じてください。

急ブレーキや急旋回時などに、開いた小物入れに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

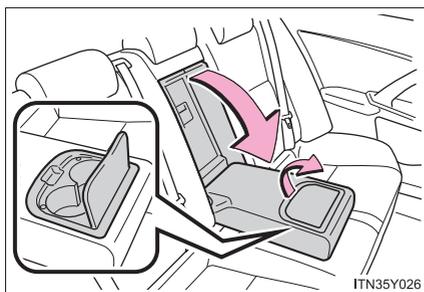
カップホルダー

▶ フロント



フタをスライドして開ける

▶ リヤ



リヤセンターアームレストを引き出し、フタを開ける

警告**■ 収納してはいけないもの**

カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。
急ブレーキや事故により落ちてけがをすることがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。

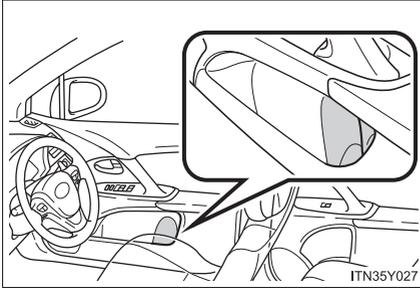
■ 使わないときは

フタを必ず閉じてください。
急ブレーキや急旋回時などに開いたフタが体にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

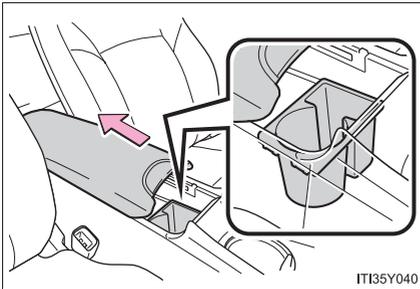
ボトルホルダー

ボトルホルダー

▶ フロントドア

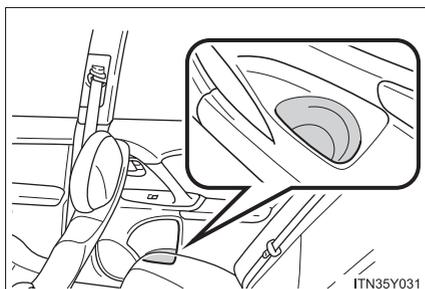


▶ コンソール内



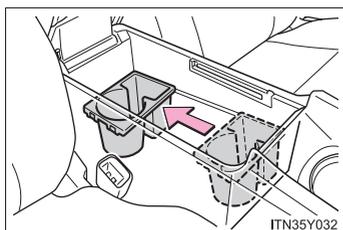
アームレストをスライドする

▶ リヤドア



□ 知識

■ コンソール内ボトルホルダーについて



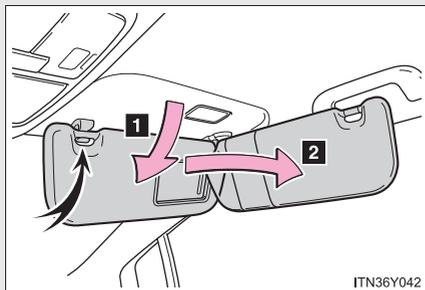
ボトルホルダーをスライドさせて位置を調整できます。

⚠ 注意

■ 収納してはいけないもの

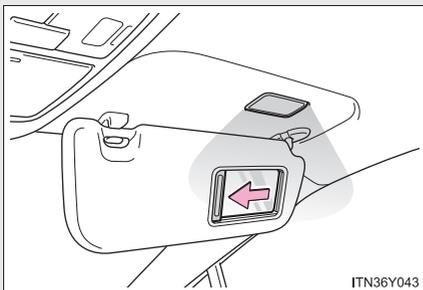
ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップやガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

サンバイザー



- 1 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす
- 2 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす

バニティミラー



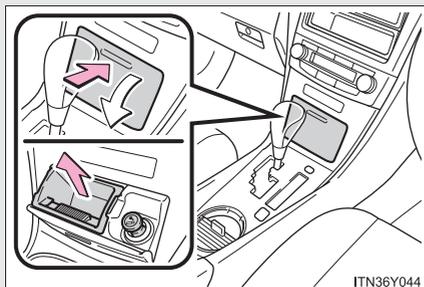
カバーを開けて使用します。

カバーを開けるとライトが点灯します。

3-4. その他の室内装備の使い方

灰皿

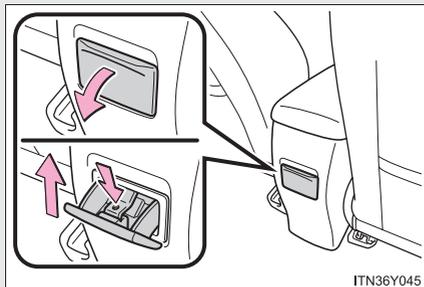
▶ フロント



フタの前部を押して開ける

取りはずすときは、本体左右を持って引き上げます。

▶ リヤ



フタを引いて開ける

取りはずすときは、金具を押して引き上げます。

⚠ 警告

■ 使用しないときは

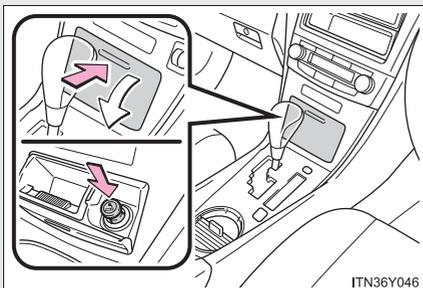
フタを必ず閉じてください。
急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタに体があたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ 出火を防ぐために

- マッチ・タバコなどの火は必ず消してから灰皿の中に入れ、確実に閉めてください。
- 灰皿の中に紙くすなどの燃えやすいものを入れないでください。

3-4. その他の室内装備の使い方

シガレットライター



フタを押して開き、シガレットライターを押し込む

もとの位置にもどったら使用できます。

知識

■使用条件

“エンジン スタート ストップ” スイッチがアクセサリモード、またはイグニッション ON モードのとき

警告

■使用しないときは

フタを必ず閉じてください。
急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタに体があたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

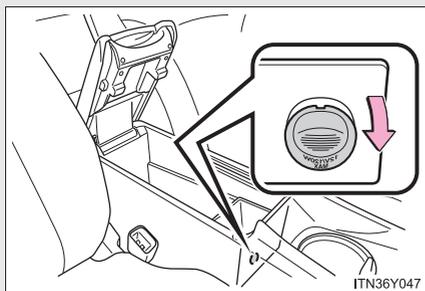
■やけどを防ぐために

- シガレットライターの金属部にふれないでください。
- シガレットライターを押し込んだままにしないでください。
- 備え付けのシガレットライター以外のものを差し込まないでください。
ソケットが変形し、その後シガレットライターを使用したときにシガレットライターが飛び出したり、押し込まれたまま出てこないおそれがあります。

3-4. その他の室内装備の使い方

アクセサリースOCKET

12V 10A 未満の電気製品を使うときの電源としてお使いください。



知識

■ 使用条件

“エンジン スタート ストップ” スイッチがアクセサリーモード、またはイグニッション ON モードのとき

⚠ 注意

■ ショートや故障を防ぐために

アクセサリースOCKETに異物が入ったり、飲料水などがかかたりしないように、使用しないときは、フタを閉めておいてください。

■ ヒューズが切れるのを防ぐために

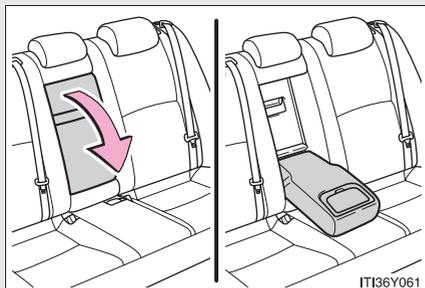
12V 10A をこえないようにしてください。

■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態で、アクセサリースOCKETを長時間使用しないでください。

3-4. その他の室内装備の使い方

リヤセンターアームレスト



引き出して使用します。

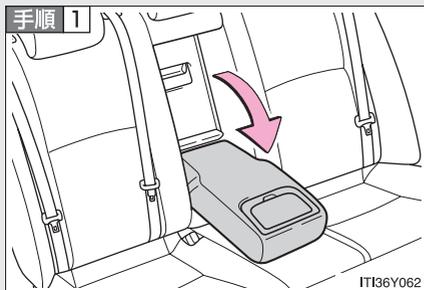
注意

- リヤセンターアームレストの破損を防ぐために
過度の負荷をかけないでください。

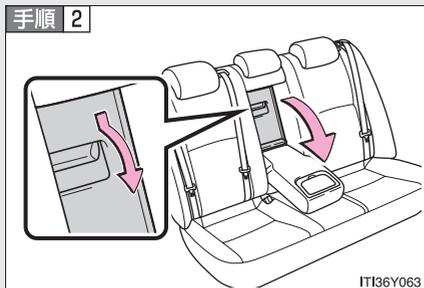
3-4. その他の室内装備の使い方

ラゲージスルー

ラゲージルームからリヤ席にかけて長い荷物を収納することができます。



リヤアームレストを引き出す



ノブを引いて開ける

⚠ 警告

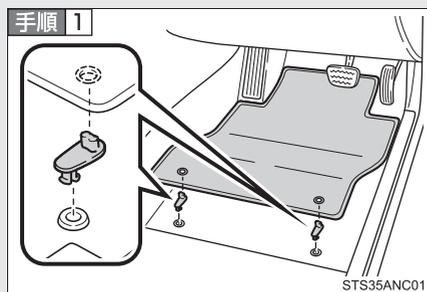
■ 使用しないときは

ラゲージスルーを必ず閉じてください。
急ブレーキや急旋回時などにラゲージルーム内のものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

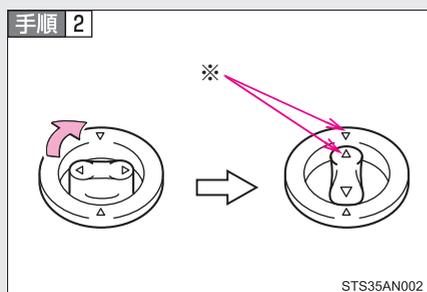
フロアマット

お車（年式）専用のものを、フロアカーペットの上にとしっかりと固定してお使いください。

フロアマット付属の固定フック（クリップ）を使用して固定してください。



固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



固定フック（クリップ）上部レバーをまわして固定する

※ △マークを必ず合わせてください。

固定フック（クリップ）の形状およびフロアマットの固定方法はイラストと異なる場合があります。

詳しい固定方法はフロアマット付属の取扱書をご確認ください。

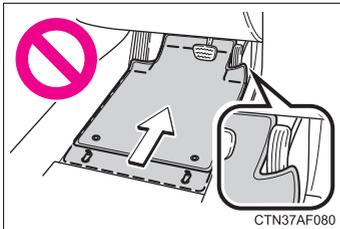
警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、重大な事故につながるおそれがあります。

■運転席にフロアマットを敷くときは

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 付属のフック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

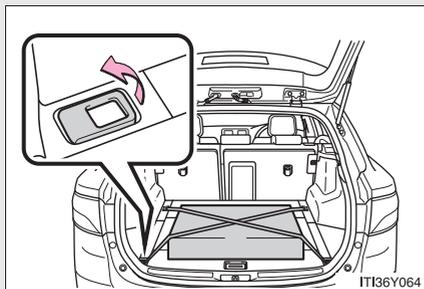
■運転する前に

- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的を確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- エンジン停止およびシフトレバーが P の状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する

3-4. その他の室内装備の使い方

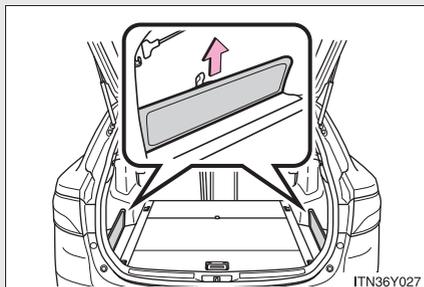
ラゲージルーム内装備

■ デッキフック



フックを使って、荷物を固定することができます。

■ デッキサイドボード

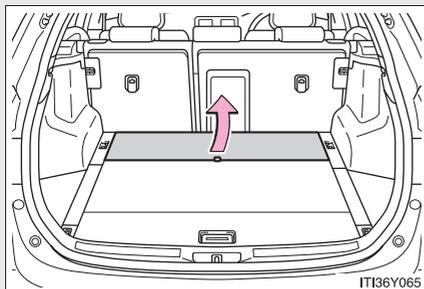


ラゲージルーム内の仕切りとして使用できます。

取りはずすときは、垂直に持ち上げ、取り付けるときは、溝に合わせて挿し込みます。

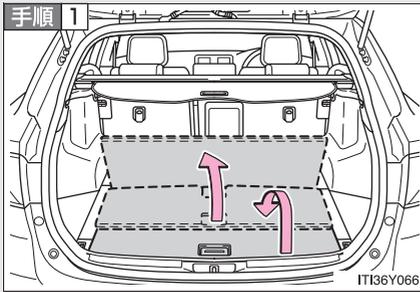
■ デッキアンダートレイ

▶ 前部

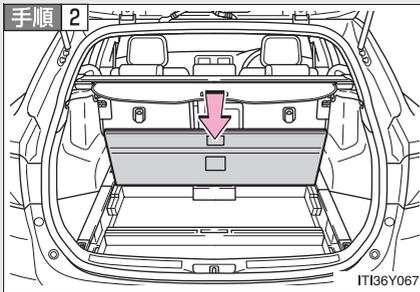


前部デッキボードを持ち上げて開ける

▶ 後部

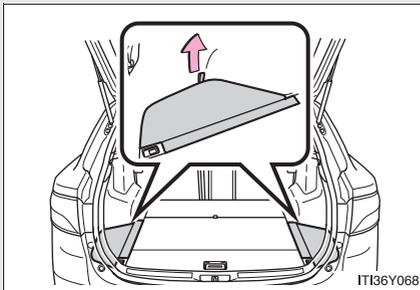


レバーを引き上げて、後部デッキボードを持ち上げる



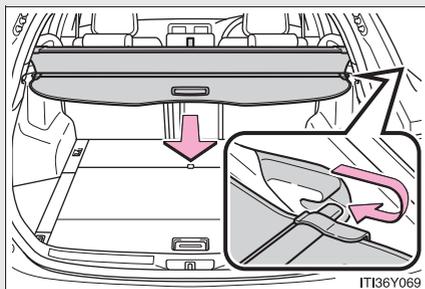
後部デッキボードを押し込んで固定する

▶ 左右部



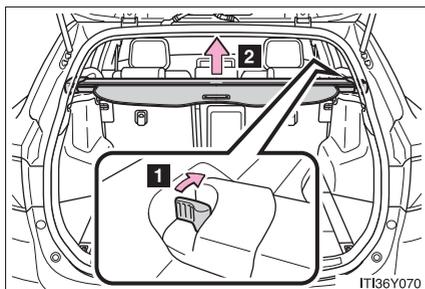
左右デッキボードをはずして開ける

■ トノカバー



カバー部を手前に引き、左右のホルダーに取り付ける

トノカバーを取りはずすには

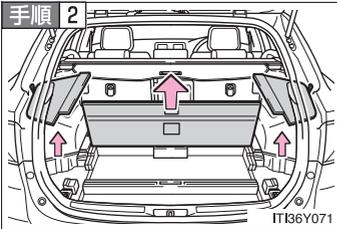


- 1 解除レバーを押してロックを解除する
- 2 持ち上げる

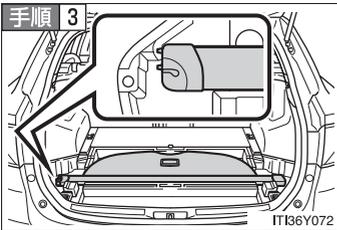
知識

■ トノカバーを収納するには

手順 1 デッキサイドボードを取りはずす (→P. 186)



左右デッキボードを取りはずし、後部デッキボードを開ける



解除レバー側を左に向けて、デッキアンダートレイに収納する

警告

■ トノカバーについて

トノカバーの上には何も置かないでください。

急ブレーキや急旋回時などに、飛ばされたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ デッキフックを使用しないときは

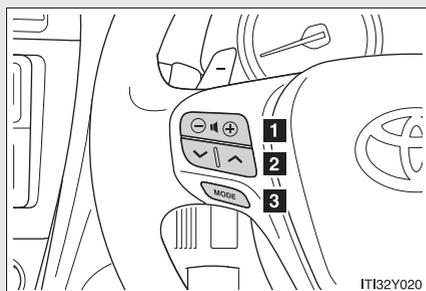
けがをしないように、必ずもとの位置にもどしておいてください。

3-4. その他の室内装備の使い方

ステアリングスイッチ

トヨタ販売店で装着したナビゲーションシステムや、オーディオを操作することができます。

モードの切りかえや CD、ラジオなどの操作については、装着されたオーディオにより異なる場合や、操作できない場合があります。販売店オプションのナビゲーションシステムや、オーディオの操作方は、各取り扱い説明書を参照してください。



- 1 音量を調節する
- 2 CD、ラジオなどの操作
- 3 電源を入れる、モードを切りかえる

電源を入れる・OFF にする

 を押す

スイッチを押し続けるとオーディオの電源が OFF になります。
装着されたオーディオにより“ピッ”と音が鳴ることがあります。

モードを切りかえる

電源が ON のとき  を押す

押すごとにモード（CD、ラジオなど）が切り替わります。

音量を調節するには

 の + または - を押す

スイッチを押し続けると、音量を連続して調節できます。運転のさまたげにならない適度な音量でお聞きください。

4-1. お手入れのしかた

外装の手入れ.....	192
内装の手入れ.....	197
タイヤについて.....	200

4-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット.....	203
ガレージジャッキ.....	206
エンジンルームカバー.....	208
電球（バルブ）の交換.....	210
ヒューズの点検・交換.....	220
キーの電池交換.....	229
ウォッシャー液の補給.....	232
エアコンフィルターの 清掃・交換.....	233
ワイパーゴムの交換.....	235

4-1. お手入れのしかた

外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

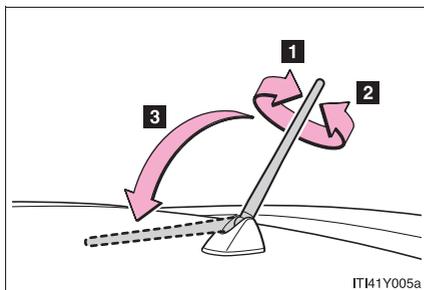
- 水を十分かけながら車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のような柔らかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける（およそ体温以下を目安としてください）

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

アンテナの取り扱いについて

洗車時には、アンテナを脱着することができます。



- 1 取りはずす
- 2 取り付ける
- 3 格納する

ラジオ*受信時は、節度感のあるところまで立てて使用してください。

*：車両型式などで異なる装備やオプション装備

 知識**■自動洗車機を使うときは**

- ドアミラーを格納し、アンテナを取りはずした状態にして、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずアンテナをもとどおりに取り付けて、ドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。
- ワイパースイッチをAUTOモードにしているときは、洗車する前にOFFにしてください。

■高圧洗車機を使うときは

- 車内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアガラスやドア枠付近に近付けすぎないでください。
- 洗車の前に給油口が確実に閉まっていることを確認してください。

■アルミホイール

- 中性洗剤を使用し、早めによごれを落としてください。研磨剤の入った洗剤や硬いブラシは塗装を傷めますので使用しないでください。
- 夏場の長距離走行後などでホイールが熱いときは、洗剤は使用しないでください。
- 洗剤を使用したあとは早めに十分洗い流してください。

■バンパー

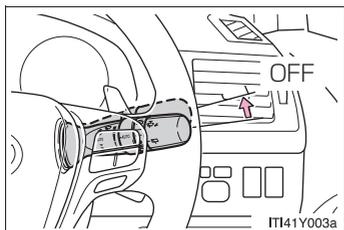
研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

警告

■ **洗車をするときは**

エンジンルーム内に水をかけないでください。
電気部品などに水がかかると車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ **フロントウインドウガラスを清掃するときは**



ワイパースイッチを OFF にしてください。
AUTO モードになっていると、次のようなときにワイパーが不意に作動し、指などを挟み重大な傷害を受けたり、ワイパーブレードなどを損傷するおそれがあります。

- 雨滴センサー上部のフロントウインドウガラスに手でふれたとき
- 水分を含んだ布などを雨滴センサーに近付けたとき
- フロントウインドウガラスに衝撃を与えたとき
- 車内から雨滴センサー本体にふれるなどして衝撃を与えたとき

■ **排気管について**

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

 **注意****■ 塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために**

- 次のような場合はただちに洗車してください。
 - ・ 海岸地帯を走行したあと
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ・ コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
 - ・ ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
 - ・ ほこり・泥などで激しく汚れたとき
 - ・ 塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- 塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

 **注意**

■ **ライトの清掃**

- 注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。ライトを損傷させるおそれがあります。
- ライトにワックスがけを行わないでください。レンズを損傷するおそれがあります。

■ **アンテナの損傷を防ぐために**

次のようなときはアンテナを取りはずしてください。

- 車庫の天井などにアンテナがあたるとき
- カーカバーをかけるとき

■ **アンテナの取りはずしについて**

- 通常走行時には、必ずアンテナを取り付けてください。
- 自動洗車機などアンテナを取りはずしたときは、アンテナを紛失しないように注意してください。また、走行前には必ずもとどおりに取り付けてください。

■ **ワイパーアームの損傷を防ぐために**

ワイパーアームを立てるときは、必ず運転席側を先に立ててから助手席側を立ててください。また、もとにもどすときは、必ず助手席側から先にもどしてください。

■ **自動洗車機を使用するときは**

ワイパースイッチを OFF にしてください。
AUTO モードになっていると、不意にワイパーが作動してワイパーブレードなどを損傷するおそれがあります。

内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施してください。

■ 車内の手入れ

掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る

■ 本革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- うすめた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る
ウール用の中性洗剤を約 5% の水溶液までうすめたものを使用してください。
- 真水をひたした布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

■ 合成皮革部分の手入れ

- 掃除機などで、大まかな汚れを取る
- スポンジややわらかい布を使用して合成皮革部分に刺激の少ない洗剤を付ける
- 数分間洗剤につけておいてから汚れを落とし、固く絞ったきれいな布で洗剤をふき取る

知識

■ 本革部分のお手入れの目安

品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

■ カーペットの洗浄

カーペットは常に、乾いた状態を保つことをおすすめします。

洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■ シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布かスポンジを使って洗ってください。

シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

警告

■ 車両への水の浸入

- 車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。
電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあります。
- SRS エアバッグの構成部品や配線などをぬらさないでください。(→P. 71)
電気の不具合により、エアバッグが展開したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 清掃するとき使用する溶剤について**

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
 - ・ シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
 - ・ シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール・その他のアルカリ性や酸性の溶剤
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

■ 革の傷みを避けるために

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために次のことをお守りください。

- 革に付着したほこりや砂はすぐに取り除く
- 直射日光に長時間さらさないようにする
特に夏場は日陰で車を保管する
- ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

■ 床に水がかかると

水で洗わないでください。

オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因になったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

■ リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは

- 熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- 熱線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

4-1. お手入れのしかた

タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション（タイヤ位置交換）を5,000 km ごとに行ってください。

■ タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。

点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧

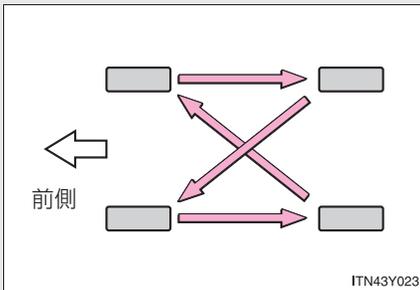
空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

- タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの溝の深さ

- タイヤの異常摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど）の有無

■ タイヤローテーションのしかた

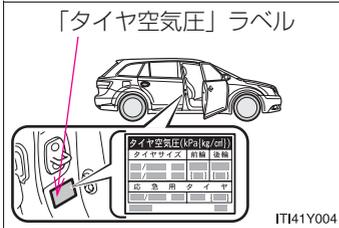


図で示すようにタイヤのローテーションを行う

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。

知識

■ タイヤ空気圧の数値



タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。

標準タイヤ：

タイヤサイズ	空気圧*	
	前輪	後輪
205/60R16 92V	240 (2.4)	220 (2.2)

応急用タイヤ：420 kPa (4.2 kg/cm²)*

*タイヤが冷えているときの空気圧

■ タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

警告

■ 点検・交換時の警告

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤは全て同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

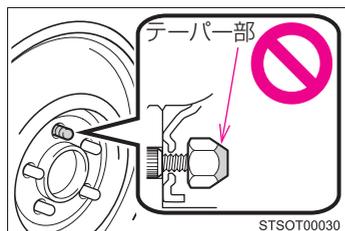
⚠ 警告

■ 異常があるタイヤの使用禁止

異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、異常な振動を感じることがあります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の方向安定性・制動距離など）が発揮されない

■ タイヤ交換時の注意



- 必ずナットのテーパ部を内側にして取り付けてください。
テーパ部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはずれてしまい、重大な傷害におよぶが、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ねじ部にオイルやグリースをぬらないでください。
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。
また、ナットがゆるみホイールが落下して、重大な事故につながるおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。

⚠ 注意

■ 走行中に空気もれが起こったら

走行を続けしないでください。
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

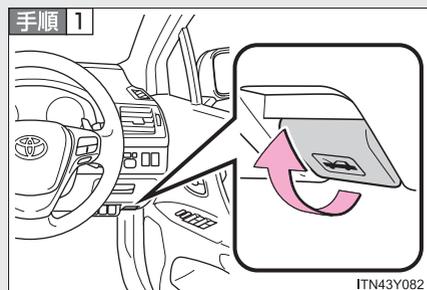
■ 悪路走行に対する注意

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

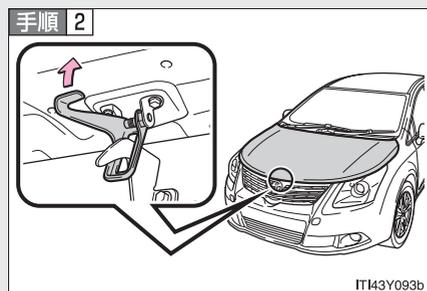
ボンネット

車内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

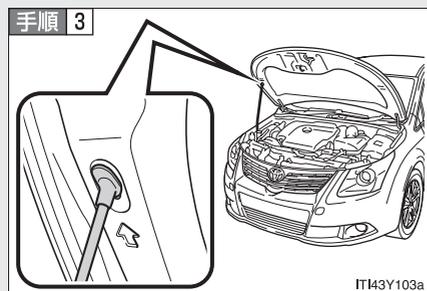
■ ボンネットを開けるには



ボンネット解除レバーを引く
ボンネットが少し浮き上がります。



レバーを引き上げて、ボンネットを開ける



ボンネットステーをステー穴に挿し込む

■ ボンネットを閉めるには

手順 1 ボンネットステーをはずし固定する

手順 2 ボンネットを静かに下ろす

手順 3 ボンネットを閉める

ボンネットの前端を両手で押さえ付けロックします。

手順 4 ロックされていることを確認する

ボンネットの前端を上下にゆすり、確実にロックされていることを確認します。

知識

■ バッテリーを交換するときは

この車は欧州車用バッテリーを搭載しています。

欧州車用以外のバッテリーを使用すると、バッテリークランプが正しく取り付けられず、使用できません。バッテリー交換を行うときは、純正品と同等の欧州車用バッテリーを使用してください。

警告

■ 走行前の確認

ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。

ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ボンネットステーを使用するときは

ボンネットステーが確実にステー穴に挿し込まれているか確認してください。

確実に挿し込まれていないと、ボンネットが落下し重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 警告

■ エンジンルームを点検したあとは

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れてしまうと、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ ボンネットを閉めるときは



ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ ボンネットステーの損傷を防ぐために

ボンネットを閉めるときは、ボンネットステーが確実にもとの位置に固定されているか確認してください。固定されずにボンネットを閉めると、ステーが曲がるおそれがあります。

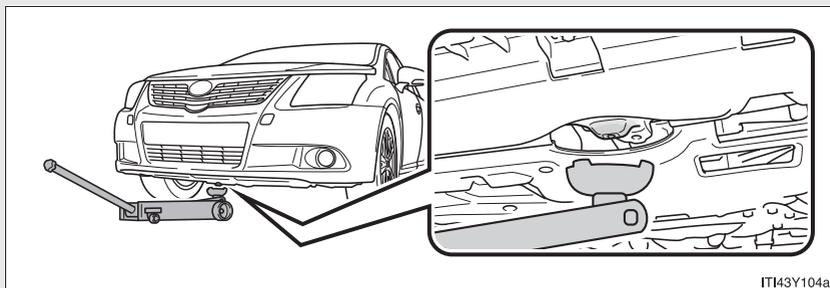
■ ボンネットへの損傷を防ぐために

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。

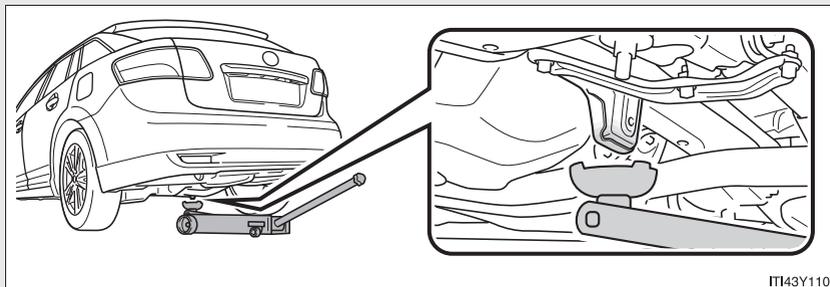
ガレージジャッキ

ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをするおそれがあります。

■ フロント側



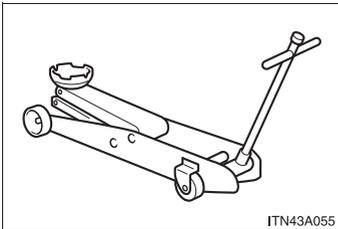
■ リヤ側



⚠ 警告

■ 車両を持ち上げるときは

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



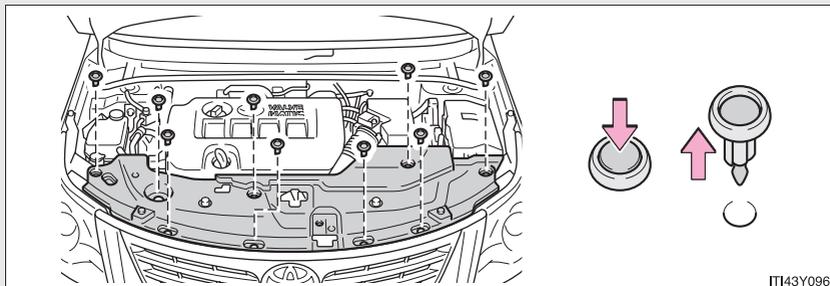
- 図のようなガレージジャッキを使用して車両を持ち上げる

- ガレージジャッキを使用するときは、必ずガレージジャッキ付属の取り扱い説明書を十分に確認の上、使用する
- 車に搭載されているジャッキを使用しない
車両が落下するおそれがあります。
- ガレージジャッキのみで支えられた車両の下に体の一部を入れたり、もぐり込んだりしない
- ガレージジャッキおよび、自動車用ジャッキスタンドをしっかりとした傾きのない平坦な床面で使用する
- 車両がジャッキアップされた状態でエンジンを始動しない
- 平らで硬い地面に停車させ、しっかりとパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにする
- ガレージジャッキは、必ずジャッキポイントに正しくセットする
ガレージジャッキを正しくセットせずに車両を持ち上げると、車両が損傷します。また、車両がガレージジャッキから落下するおそれがあります。
- 車内に乗員がいるときは車両を持ち上げない
- 車両を持ち上げるときは、ガレージジャッキの上下にものを置かない

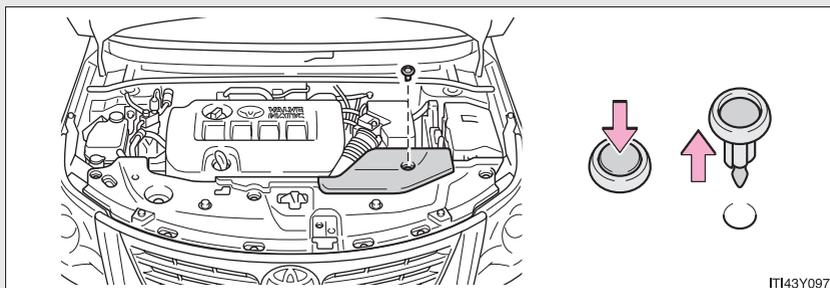
4-2. 簡単な点検・部品交換 エンジンルームカバー

電球（バルブ）の点検・交換などを行うときに取りはずします。

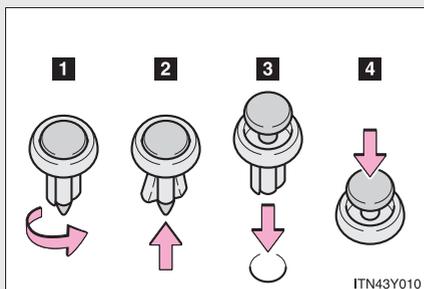
■ エンジンルームカバーの取りはずし方



■ バッテリーカバーの取りはずし方



■ クリップの取り付け方



- 1 中央部をまわす
- 2 中央部を押し上げる
- 3 クリップを挿し込む
- 4 中央部を押し下す

 **警告****■ けがを防ぐために**

エンジンルームカバーやバッテリーカバーを取りはずす前に、“エンジン スタート ストップ” スイッチを OFF にしてください。作動中の部品に巻き込まれて重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、“エンジン スタート ストップ” スイッチを OFF にしたあとしばらくのあいだは、部品などが熱くなっているため、やけどしないように注意してください。

4-2. 簡単な点検・部品交換

電球（バルブ）の交換

次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

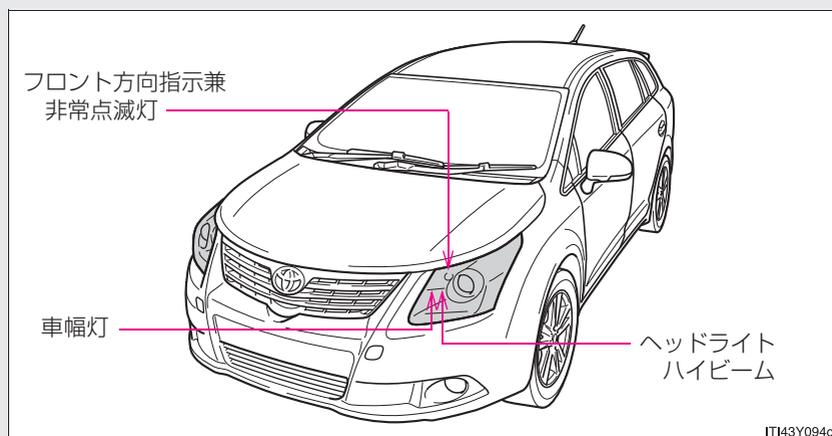
■ 電球の用意

切れた電球の W（ワット）数を確認してください。（→P. 288）

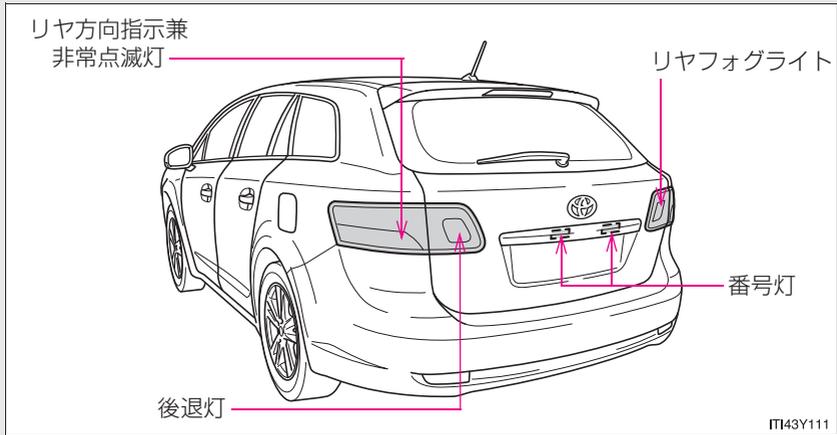
■ エンジンルームカバーの取りはずし

→P. 208

■ フロントのバルブ位置



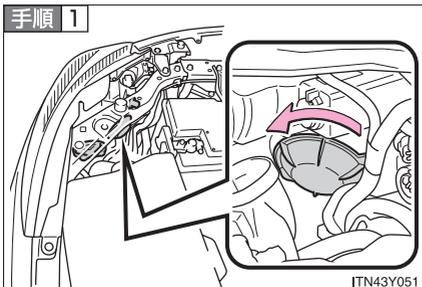
■ リヤのバルブ位置



電球交換のしかた

■ ヘッドライト ハイビーム

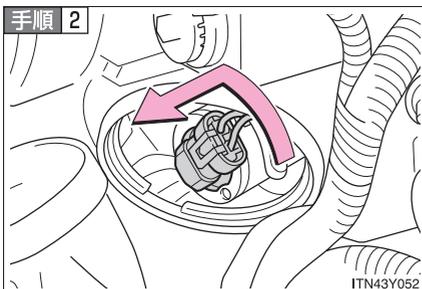
手順 1



カバーを取りはずす

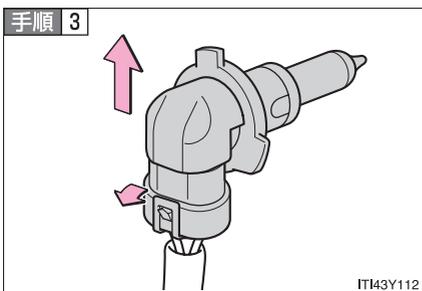
助手席側の交換についてはP. 218を参照してください。

手順 2



ソケットを取りはずす

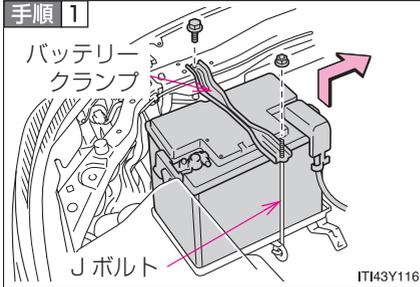
手順 3



ツメを少し起こしてロックを解除し、電球を取りはずす

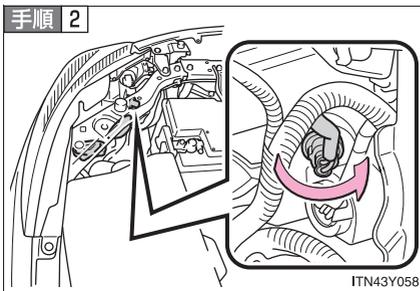
手順 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ 車幅灯

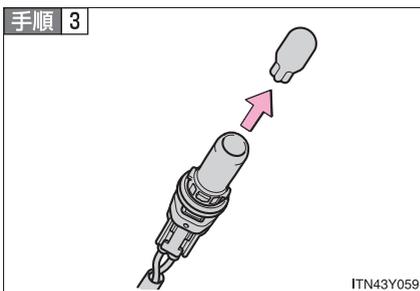


助手席側のみ：バッテリークランプ・J ボルトを取りはずし、バッテリーを持ち上げて車両中央側へずらす

エアクリーナーダクトをずらすには：
(→P. 218)

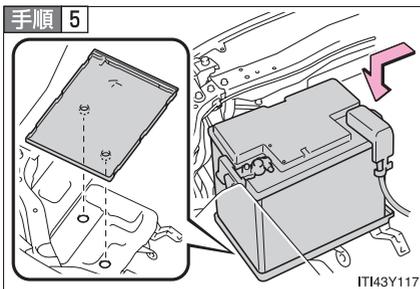


ソケットを取りはずす



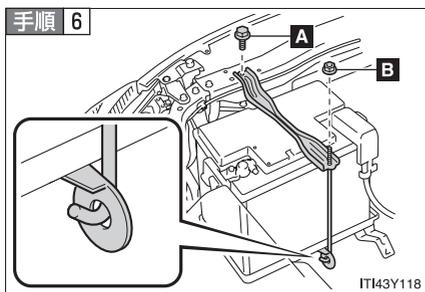
電球を取りはずす

手順 4 電球・ソケットを取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける



助手席側のみ：バッテリーを車両外側へずらしてトレイにしっかりとめ込む

トレイがずれてしまった場合は、トレイの突起と車両側の穴を合わせてください。



助手席側のみ：J ボルト・バッテリーリークランプを図のように取り付ける

締め付けトルク：

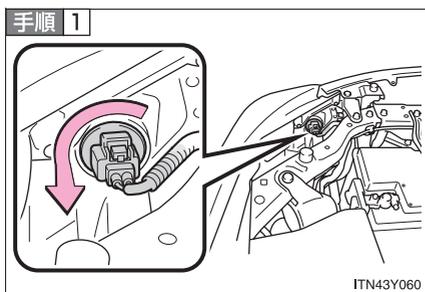
A: 16.5N・m (165kgf・cm)

B: 3.5N・m (35kgf・cm)

Jボルト・トレイがボデーにしっかりと固定されていることを確認してください。

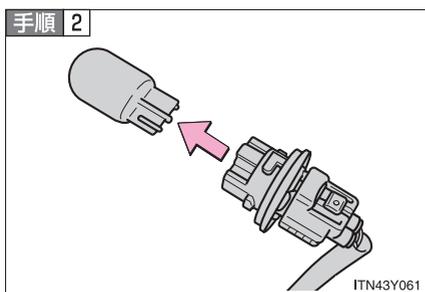
また、取り付けたあとは、バッテリーががたつかないことを確認してください。

■ フロント方向指示兼非常点滅灯



ソケットを取りはずす

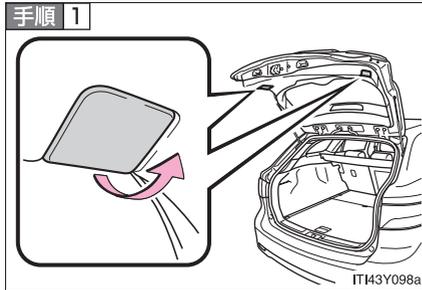
助手席側の交換についてはP. 218を参照してください。



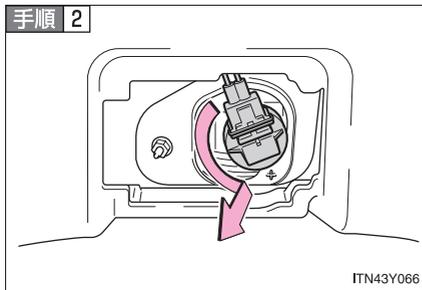
電球を取りはずす

手順 3 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

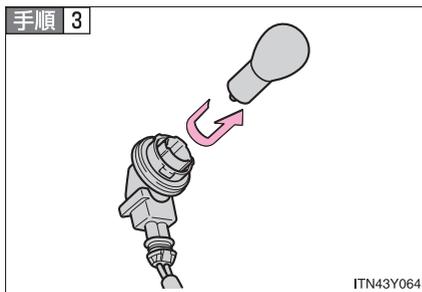
■ 後退灯／リヤフォグライト



バックドアを開けて、カバーを取りはずす



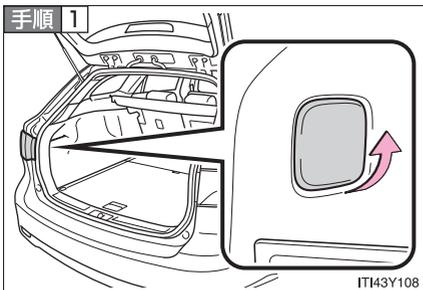
ソケットを取りはずす



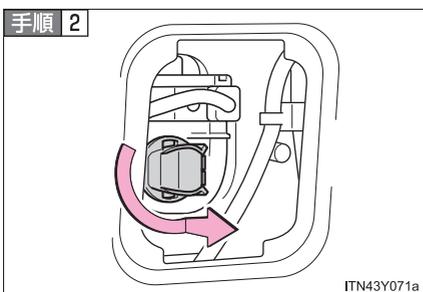
電球を取りはずす

手順 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

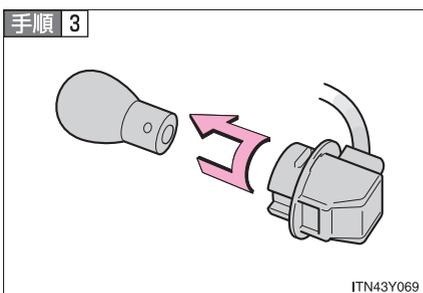
■ リヤ方向指示兼非常点滅灯



バックドアを開けて、カバーを取り
はずす



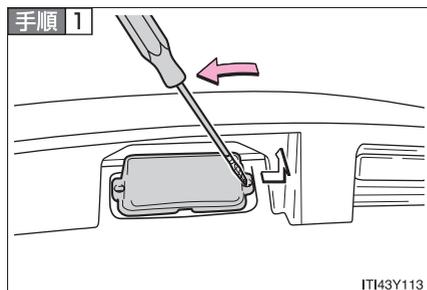
ソケットを取りはずす



電球を取りはずす

手順 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

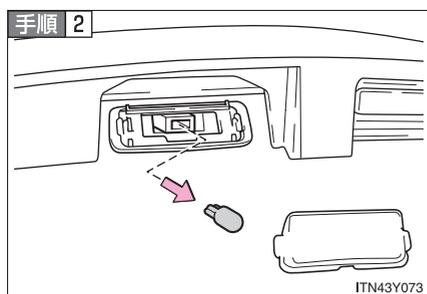
■ 番号灯



カバーを取りはずす

カバーの穴に小さいドライバーなどを挿し込み図のように動かすと、カバーの片側がういてカバーが外れます。

傷付きを防ぐため、ドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。



電球を取りはずす

手順 3] 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ 次の電球を交換するには

次の電球が切れたときは、トヨタ販売店で交換してください。

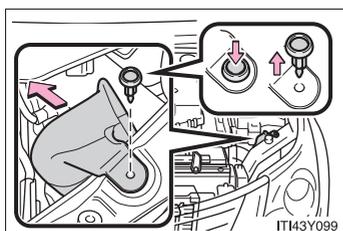
- ヘッドライト ロー／ハイビーム（外側）
- サイド方向指示兼非常点滅灯
- ハイマウントストップライト
- 制動灯
- 尾灯

知識

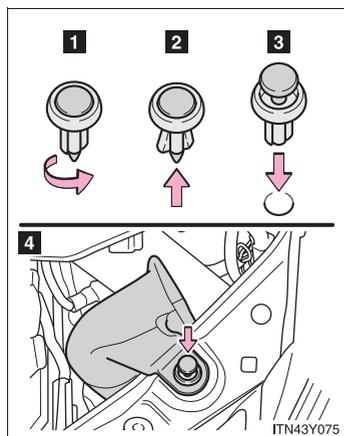
■ 助手席側のヘッドライトハイビーム・車幅灯・フロント方向指示兼非常点滅灯を交換するときは

エアクリナーダクト上部のクリップを取りはずし、エアクリナーダクトをずらすと、バルブ交換作業がしやすくなります。バルブ交換後は必ず、エアクリナーダクトとクリップをもとどおり取り付けてください。

- エアクリナーダクトをずらすには



- クリップの取り付け



- 1 中央部をまわす
- 2 中央部を押し上げる
- 3 クリップを挿し込む
- 4 中央部を押す

■ レンズ内の水滴と曇り

次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。ただし、レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。

- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ライト内に水がたまっている

■ ディスチャージヘッドライトの作動

作動電圧範囲をはずれると、ライトが消灯したり、点灯しなくなります。電圧が正常にもどると再点灯します。

■ LED ライトについて

サイド方向指示兼非常点滅灯・ハイマウントストップライト・制動灯・尾灯は数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。



警告

■ 電球を交換するときは

- ライトは消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでください。やけどすることがあります。
- 電球のガラス部を素手でふれないでください。プラスチック部または金属ケース部を持ってください。また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れしたり破裂することがあります。
- 電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドライト内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。
- 電球・ソケット・電気回路・および構成部品を、修理または分解しないでください。感電により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ディスチャージヘッドライトについて

- 交換するとき（電球交換含む）は、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 点灯中は、高電圧ソケットにふれないでください。瞬間的に2万ボルトの電圧が発生するため、感電により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ お車の故障や火災を防ぐために

電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

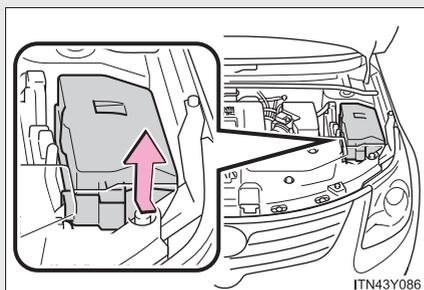
ヒューズの点検・交換

ライトがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

手順 1 “エンジン スタート ストップ” スイッチを OFF にする

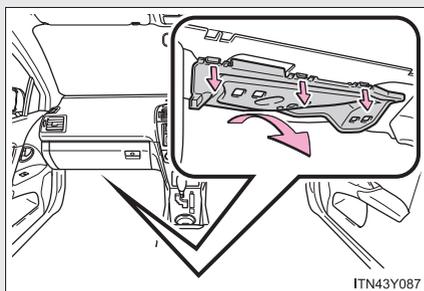
手順 2 ヒューズボックスを開ける

▶ エンジンルーム

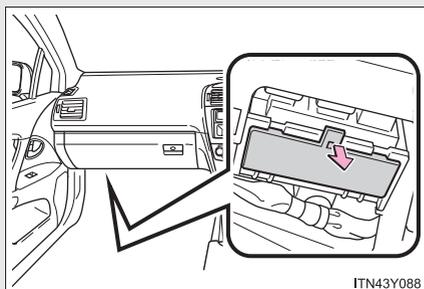


ツメを押しながら、カバーを持ち上げる

▶ 助手席足元

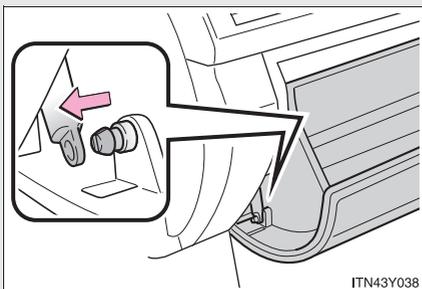


グローブボックス下カバーを取りはずす

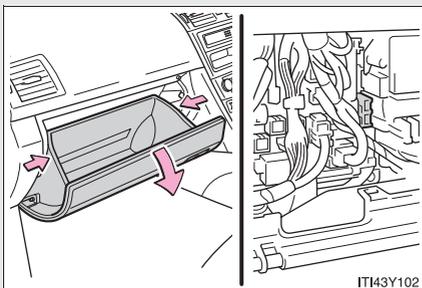


ヒューズボックスカバーを取りはずす

▶ グローブボックス後方

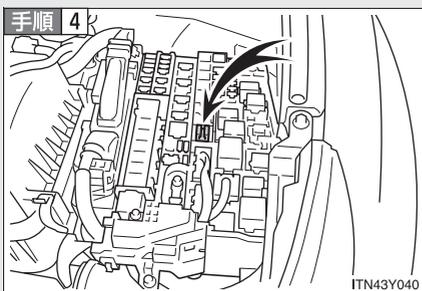


グローブボックスを開け、ダンパーをはずす



グローブボックスを左右から押して、ツメをはずし、取りはずす

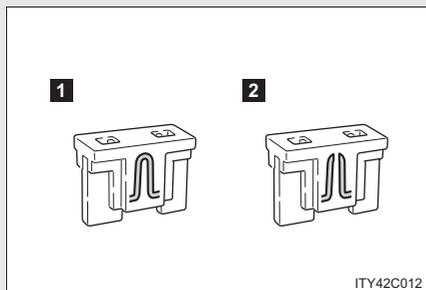
手順 3 故障の状況から、点検すべきヒューズを「ヒューズの配置と負荷」(→P. 223)で確認する



手順 4

ヒューズははずしを取りはずす

手順 5 ヒューズはずしを使用して、ヒューズを引き抜き、ヒューズが切れていないか点検する



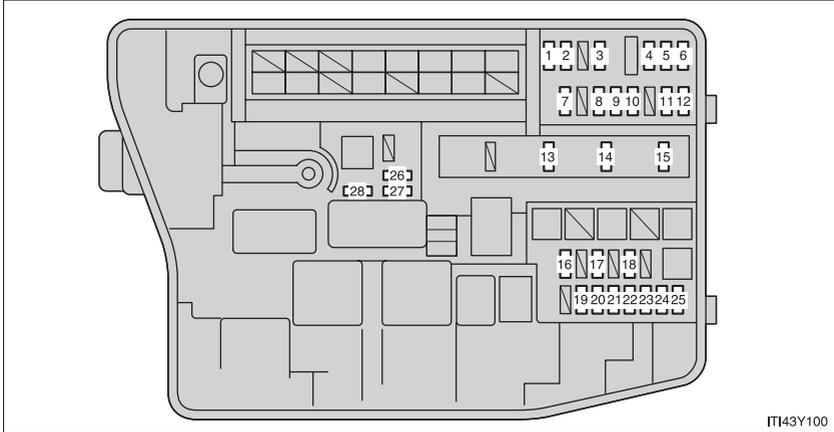
1 正常

2 ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。

ヒューズの配置と負荷

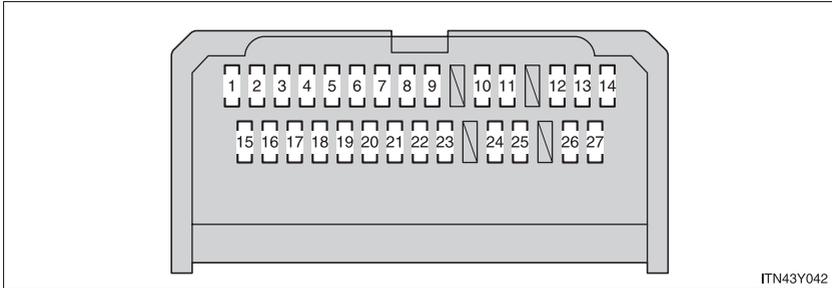
■ エンジンルーム



	ヒューズ名称	アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
1	AMP	30 A	オーディオ
2	DOOR NO.2	25 A	パワードアロックシステム
3	ECU-B2	10 A	スマートエントリー&スタートシステム、エアコン、パワーウィンドウ
4	ECU-B	10 A	メーター、メインボデー ECU、ステアリングセンサー、ワイヤレスリモートコントロール、スマートエントリー&スタートシステム
5	RAD NO.1	15 A	オーディオシステム
6	DOME	10 A	ラゲージライト、バニティライト、エンジンスイッチ照明、フロントドアカーテシライト、パーソナル/インテリアライト、パーソナルライト
7	AM2 NO.2	7.5 A	始動システム
8	TURN-HAZ	10 A	方向指示兼非常点滅灯
9	ETCS	10 A	電子制御スロットル

	ヒューズ名称	アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
10	AM2	30 A	始動システム
11	STRG LOCK	20 A	ステアリングロックシステム
12	IGT / INJ	15 A	EFI、始動システム
13	EFI MAIN	20 A	EFI
14	HORN	15 A	ホーン
15	IG2	15 A	始動システム、メーター
16	PWR OUTLET	15 A	アクセサリソケット
17	FUEL OPN	10 A	給油口オープナー
18	ABS NO.2	30 A	ABS、VSC
19	IG2 NO.2	7.5 A	始動システム
20	EFI NO.2	10 A	吸気システム、エアフローメーター、 排気システム
21	EFI NO.1	10 A	EFI、エアフローメーター
22	H-LP RH HI	10 A	右側ヘッドライト（ハイビーム）
23	H-LP LH HI	10 A	左側ヘッドライト（ハイビーム）
24	H-LP RH LO	15 A	右側ヘッドライト（ロービーム）
25	H-LP LH LO	15 A	左側ヘッドライト（ロービーム）
26	SPARE	10 A	予備ヒューズ
27	SPARE	20 A	予備ヒューズ
28	SPARE	30 A	予備ヒューズ

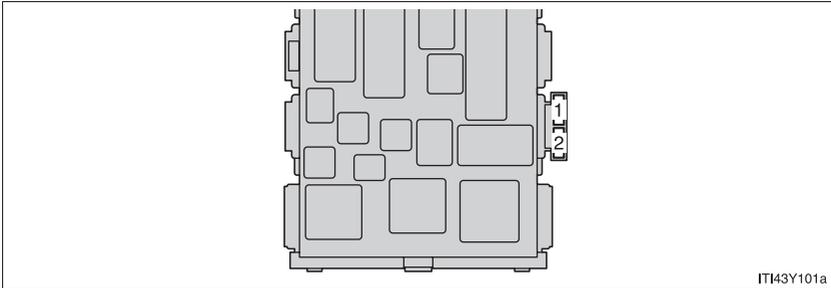
■ 助手席足元



ヒューズ名称	アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
1 TAIL	10 A	車幅灯、尾灯、番号灯、リヤフォグライト
2 PANEL	7.5 A	スイッチ照明、グローブボックスライト、非常点滅灯、シガレットライター
3 ECU-IG NO.3	10 A	AFS、パーキングブレーキ、パドルシフトスイッチ、パワーステアリング
4 P FR DOOR	20 A	パワーウインドウ
5 RL DOOR	20 A	パワーウインドウ
6 RR DOOR	20 A	パワーウインドウ
7 SHADE	20 A	—
8 CIG	15 A	シガレットライター
9 ACC	7.5 A	電動ミラー、オーディオ、シフトロックシステム、メインボデー ECU、アクセサリソケット
10 MIR HTR	10 A	ミラーヒーター
11 TI&TE	30 A	—
12 RR FOG	7.5 A	リヤフォグライト
13 IGN	7.5 A	ステアリングロックシステム、SRS エアバッグシステム、EFI、スマートエントリー&スタートシステム
14 METER	7.5 A	メーター
15 SEAT HTR	15 A	—

	ヒューズ名称	アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
16	HTR-IG	10 A	エアコン
17	WIPER	30 A	フロントワイパー
18	RR WIPER	15 A	リヤワイパー
19	WASHER	15 A	ウォッシャー
20	ECU-IG NO.1	10 A	メインボデー ECU、スマートエントリー&スタートシステム、電動クーリングファン、シフトロックシステム、ABS、ステアリングセンサー、ヨーレート& G センサー、VSC システム
21	ECU-IG NO.2	10 A	後退灯、充電システム、非常点滅灯、リヤウインドウデフォグガー、助手席シートベルト非着用警告灯、エアコン、AFS
22	OBD	7.5 A	ダイアグノーシスコネクター
23	STOP	10 A	制動灯、ハイマウントストップライト、ABS、VSC、EFI、シフトロックシステム、ステアリングシステム
24	DOOR	25 A	パワードアロックシステム
25	ACC-B	25 A	CIG、ACC
26	FR FOG	15 A	—
27	AM1	7.5 A	始動システム、ACC、CIG、ECU-IG NO.2、HTR-IG、WIPER、RR WIPER、WASHER、ECU-IG NO.1、ECU-IG NO.3

■ グローブボックス後方



	ヒューズ名称	アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
1	N/ST SW	5 A	ナビゲーションシステム
2	WIPER NO.2	7.5 A	充電システム

□ 知識

■ ヒューズを交換したあと

- 交換してもライト類が点灯しないときは、電球を交換してください。
(→P. 210)
- 交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

 **警告**

■ **車の故障や、車両火災を防ぐために**

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

 **注意**

■ **ヒューズを交換する前に**

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

キーの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

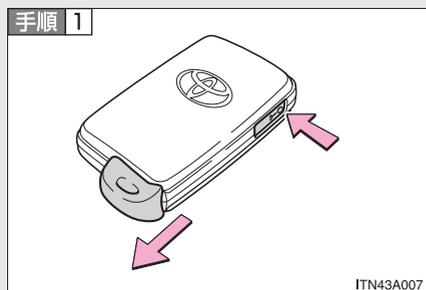
■ 用意するもの

- マイナスドライバー

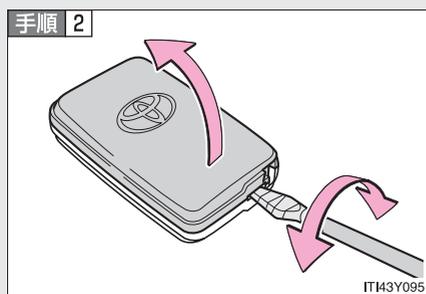
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。

- 小さいプラスドライバーなど
- リチウム電池 CR 1632

■ 電池交換のしかた

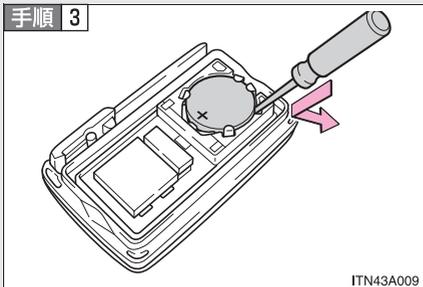


メカニカルキーを抜く



カバーをはずす

手順 3



消耗した電池を取り出す

新しい電池は + 極を上にして取り
付けます。

知識

■ 電池が消耗していると

次のような状態になります。

- スマートエントリー&スタートシステムが作動しない
- 作動距離が短くなる

■ リチウム電池 CR 1632 の入手

電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

警告

■ 取りはずした電池と部品について

お子さまにさわらせないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶ
か、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

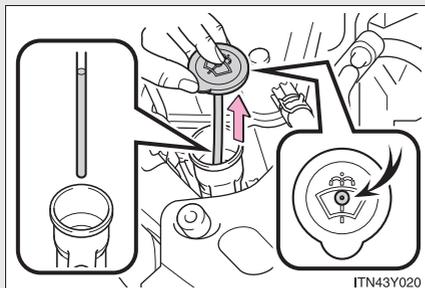
 **注意****■交換後、正常に機能させるために**

次のことを必ずお守りください。

- ぬれた手で電池を交換しない
錆の原因になります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- 電極を曲げない

4-2. 簡単な点検・部品交換

ウォッシャー液の補給



液面が低下したら、ウォッシャー液を補給する

キャップの中央部を指で押さえ、まっすぐに引き上げて、チューブの液面を確認します。

⚠ 警告

■ ウォッシャー液を補給するときは

エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときは、ウォッシャー液を補給しないでください。ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、エンジンなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ ウォッシャー液について

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。
塗装にしみが付くおそれがあります。

■ ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水で薄めてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

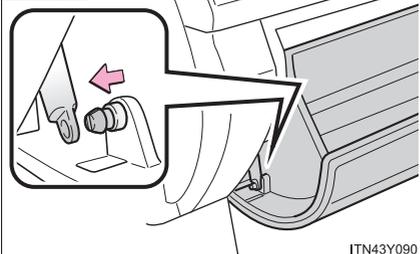
エアコンフィルターの清掃・交換

エアコンを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に清掃、または交換してください。

■ 交換のしかた

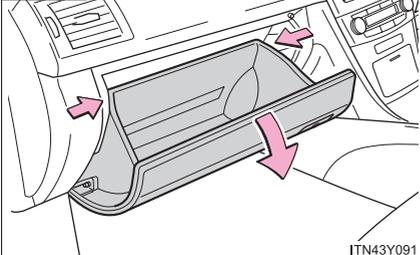
手順 1 “エンジン スタート ストップ” スイッチを OFF にする

手順 2



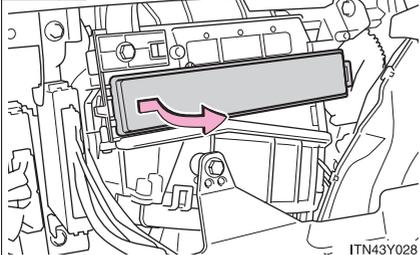
グローブボックスを開け、ダンパーをはずす

手順 3

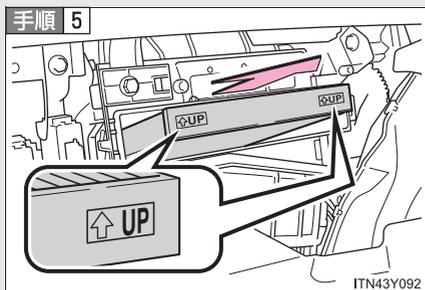


グローブボックスを左右から押してツメをはずし、取りはずす

手順 4



フィルターカバーを取りはずす



フィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する

「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。

知識

■ エアコンフィルターの清掃・交換について

エアコンフィルターは下記の時期を目安に清掃、または交換してください。

清掃：15,000km [7,500km^{*}]ごと

交換：30,000km [15,000km^{*}]ごと

^{*}大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

■ エアコンの風量が減少したときは

フィルターの目づまりが考えられますので、フィルターを清掃、または交換してください。

なお、フィルターの清掃については、トヨタ販売店にご相談ください。

注意

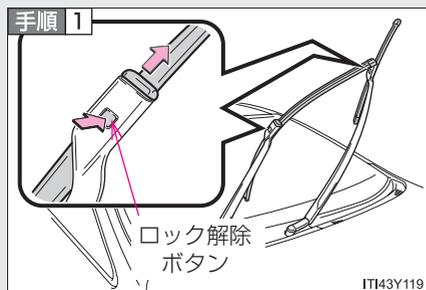
■ エアコンを使用するときの注意

フィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因となることがあります。必ずフィルターを装着してください。

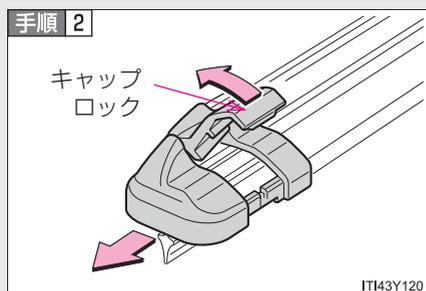
4-2. 簡単な点検・部品交換 ワイパーゴムの交換

以下の手順に従ってワイパーゴムを交換してください。

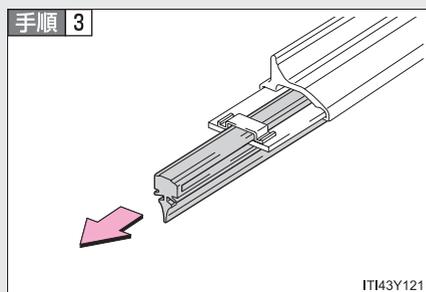
▶ フロントワイパー



ワイパーを立てた状態で、ワイパーブレードのロック解除ボタンを押し、ワイパーブレードを取りはずす



ワイパーブレード先端のキャップロックを解除し、キャップを取りはずす

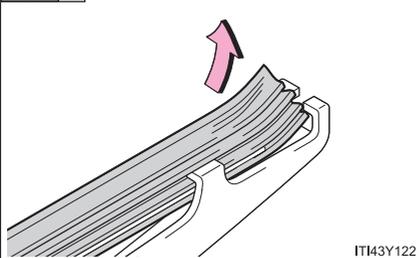


ワイパーゴムを抜き取り、新品のゴムと交換する

手順 4 取り付けるときは、取りはずすときと逆の手順で取り付ける

▶ リヤワイパー

手順 1



ワイパーを立てた状態で、ワイパーゴムを抜き取り、新品のゴムと交換する

手順 2] 取り付けるときは、取りはずすときと逆の手順で取り付ける

トラブルが起きたら

5

5-1. まず初めに

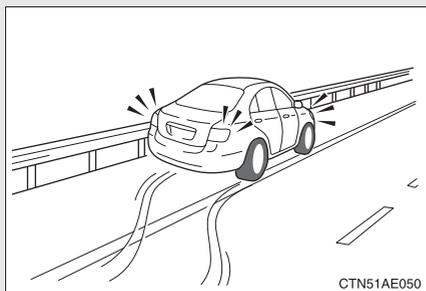
故障したときは	238
非常点滅灯	239
発炎筒	240
けん引について	242
フューエルポンプ シャットオフシステム	247
イベントデータ レコーダー	248

5-2. 緊急時の対処法

警告灯がついたときは	250
警告メッセージが表示された ときは	254
パンクしたときは	256
エンジンがかからない ときは	266
シフトレバーがシフト できないときは	268
パーキングブレーキが解除 できないときは	269
キーをなくしたときは	272
電子キーが正常に働かない ときは	273
バッテリーがあがった ときは	275
オーバーヒートしたときは ..	278
スタックしたときは	280
車両を緊急停止するには	281

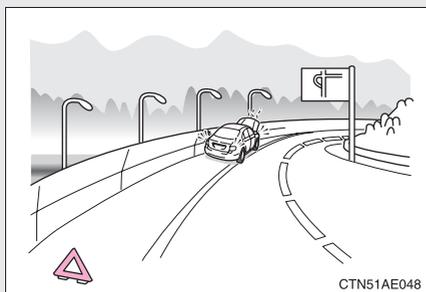
5-1. まず初めに 故障したときは

故障のときはすみやかに下記の指示に従ってください。

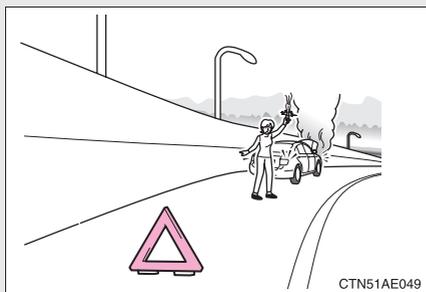


非常点滅灯を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車します。(→P. 239)

非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



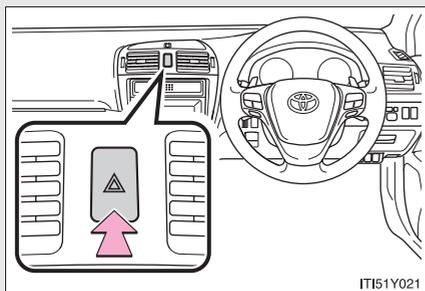
高速道路や自動車専用道路では、車両後方に停止表示板または停止表示灯を置いてください。(法的にも義務付けられています)



緊急を要するときは発炎筒で合図します。(→P. 240)

5-1. まず初めに 非常点滅灯

事故や故障のときなどにお使いください。



スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し、もう一度押すと消灯します。

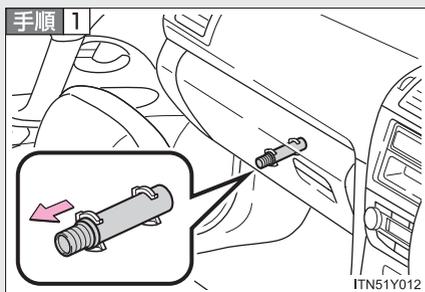
注意

■ バッテリーあがりを防ぐために

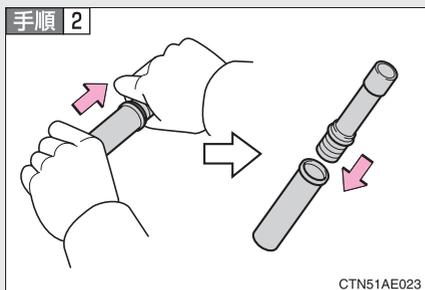
エンジン停止中に非常点滅灯を長時間使用しないでください。

5-1. まず初めに 発炎筒

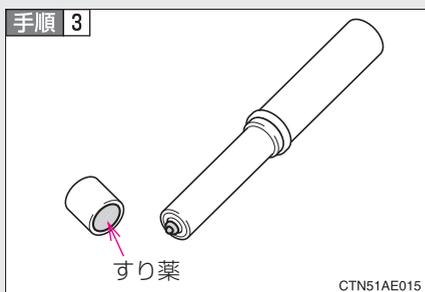
事故や故障のときなど、緊急時に使用してください。
発炎時間は約5分です。非常点滅灯と併用してください。



助手席足元の発炎筒を取り出す



本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



先端のフタを取り、すり薬と発炎筒の先端をこすり、着火させる

知識

■ 発炎筒の有効期限

表示してある有効期限が切れる前に、新しいものに交換してください。

 **警告****■ 発炎筒が使用できない場所**

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

■ 発炎筒の取り扱いについて

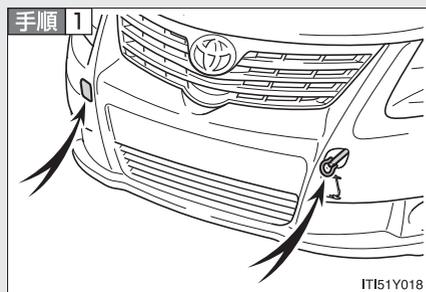
次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさわらせない

5-1. まず初めに けん引について

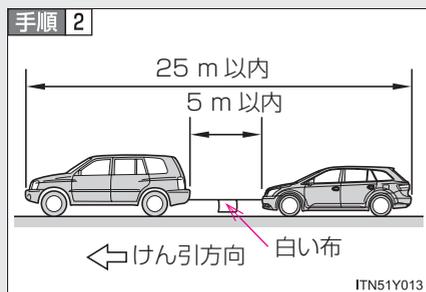
けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。

■ けん引されるときは



車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける

前進方向でけん引してください。



ロープの中央に白い布を付ける

布の大きさ：

0.3 m² (30 cm × 30 cm) 以上

手順 3 けん引される車両のエンジンをかける

エンジンがかからないときは、“エンジン スタート ストップ” スイッチをアクセサリモード、またはイグニッション ON モードにしてください。

手順 4 けん引される車両のシフトレバーを N にしてから、パーキングブレーキを解除する

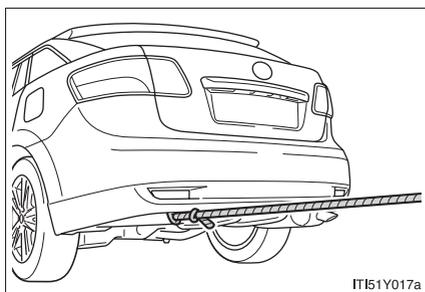
けん引中は、前の車の制動灯に注意し、ロープをたるませないようにしてください。

けん引する前に

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店へご連絡ください。

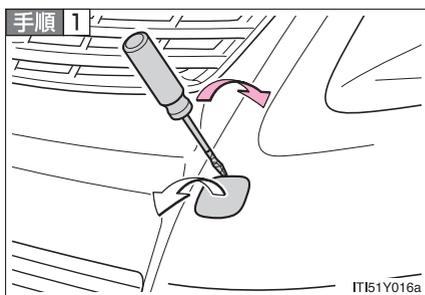
- エンジンがかかるが車が動かない
- 異常な音がする

緊急時のけん引



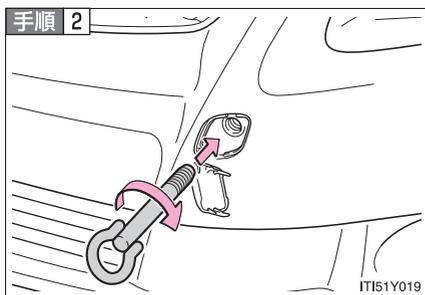
リヤの固縛用フックを緊急用フックとしても使用できます。雪の吹きだまりなどでスタックして走行できなくなったときに緊急的に他車に引っ張り出してもらうときに使用するものです。他車をけん引することはできません。

けん引フックの取り付け方

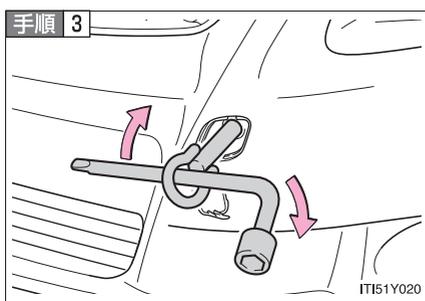


マイナスドライバーを使ってフタをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。



けん引フックを穴に挿し込み軽く
締める



ホイールナットレンチを使い確実に
取り付ける

知識

■けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引されるときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

■けん引フックの収納位置

→P. 256

**警告****■けん引中の運転について**

- けん引を行うときは、細心の注意を払ってください。
けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進や、間違った車両操作は避けてください。
けん引フックやロープが破損するおそれがあります。万一の場合、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあり危険です。
- “エンジン スタートストップ” スイッチを OFF にしないでください。
ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- けん引される車は、慎重に運転してください。
エンジンが停止しているとブレーキの効が悪くなったり、ハンドルが通常より重くなります。

■けん引フックを車両に取り付けるときは

指定の位置にけん引フックをしっかりと取り付けてください。
指定の位置にしっかりと取り付けないとけん引時にはずれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意**

■ **車両の損傷を防ぐために**

けん引するときは次のことを必ずお守りください。

- ワイヤロープは使用しない
- 速度 30 km/h 以下、距離 80 km 以内でけん引する
- 前進方向でけん引する
- サスペンション部などにロープをかけない

■ **長い下り坂でけん引するときは**

レッカー車でけん引してください。

レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

フューエルポンプシャットオフシステム

エンジン停止時および SRS エアバッグ作動時は、フューエルポンプシャットオフシステムが作動し、燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。

システムが作動したあと、エンジンを始動するには、次の手順に従ってください。

手順 1 “エンジン スタート ストップ” スイッチをアクセサリモードまたは OFF にする

手順 2 エンジンを再始動する

 **注意**

■ **エンジンを始動する前に**

車両下をよく確認してください。

地面に燃料もれを見つけた場合は、燃料システムに損傷があり、修理する必要があります。その場合はエンジンを再始動しないでください。

イベントデータレコーダー

お車には、最適な車両性能を維持するためのコンピューターを搭載しています。このコンピューターは、システムが正常に作動していることを診断すると共に、衝突のときや衝突に近い状態のときのデータを記録するイベントデータレコーダー（EDR）を装備しています。

記録するデータ

エアバッグコンピューターに搭載しているイベントデータレコーダーが、衝突のときや衝突に近い状態のときに次のデータを記録します。

- エンジンの回転数
- 車速
- ブレーキペダルの操作状況
- アクセルペダルの操作状況
- トランスミッションのシフトポジション
- 助手席乗員の有無
- 運転者および助手席乗員のシートベルト装着の有無
- エアバッグ作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報

イベントデータレコーダーは、会話などの音声や映像は記録しません。

データの開示について

トヨタおよびトヨタが委託した第三者は、イベントデータレコーダーに記録されたデータを、車の研究開発を目的に取得・流用することがあります。なお、トヨタおよびトヨタが委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなどの、使用者や車が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

ただちに停車してください。走行を続けると危険です。

次の警告はブレーキの故障のおそれがあることを意味します。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。

警告灯	警告灯名・警告内容
 (赤色)	ブレーキ警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキ液の不足 ・電子制御ブレーキシステムの異常

ただちに停車してください。

次の警告は、お車へのダメージや思わぬ危険を招くおそれがあることを意味します。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。

警告灯	警告灯名・警告内容
	充電警告灯 充電システムの異常

ただちに点検を受けてください。

次の警告は、放置するとシステムが正しく働かず、思わぬ危険や故障を招くおそれがあることを意味します。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

警告灯	警告灯名・警告内容
	エンジン警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン電子制御システムの異常 ・電子制御スロットルの異常 ・トランスミッション電子制御システムの異常
	SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・SRS エアバッグシステムの異常 ・プリテンショナー付シートベルトシステムの異常
	ABS & ブレーキアシスト警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ABS の異常 ・ブレーキアシストの異常
 (黄色)	電子制御ブレーキ警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・電子制御ブレーキシステムの異常 ・電動パーキングブレーキシステムの異常
	パワーステアリング警告灯 EPS (エレクトリックパワーステアリング) の異常
 (点滅)	AFS OFF 表示灯 AFS (アダプティブフロントライティングシステム) の異常
 (点滅)	スリップ表示灯 VSC システム、TRC システムの異常

ただちに処置してください。

次の警告はそれぞれの対処方法に従って処置し、警告灯が消灯するのを確認してください。

警告灯	警告灯名・警告内容	対処方法
	燃料残量警告灯 燃料の残量が約 9 L 以下になった	燃料を補給する
	運転席シートベルト非着用警告灯（警告ブザー）※¹ 運転席シートベルトの非着用	シートベルトを着用する
	助手席シートベルト非着用警告灯（警告ブザー）※¹ 助手席シートベルトの非着用	シートベルトを着用する
	パーキングブレーキ表示灯（警告ブザー）※² パーキングブレーキの未解除	パーキングブレーキを解除する
	マスターウォーニングライト システム異常時に点灯・点滅し、マルチインフォメーションディスプレイ上にメッセージを表示（ブザーが鳴る場合もあります）	マルチインフォメーションディスプレイに表示されたメッセージに従って適切に対処する

※¹ **運転席・助手席シートベルト非着用警告ブザー：**

運転席・助手席シートベルト非着用のまま車速が約 20 km/h 以上になると、警告ブザーが 1 回鳴ります。その後も運転席・助手席シートベルト非着用のまま 30 秒を経過すると、30 秒間断続的に鳴り、さらにブザーの音が変わり 90 秒間鳴ります。

※² **パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー**

パーキングブレーキをかけたまま、車速が 5km/h をこえたとき、警告ブザーが鳴ります。

 知識

■ パワーステアリング警告灯について

電圧が低い、または低下した場合に点灯することがあります。

■ 助手席シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

- 乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。
- 座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

 警告

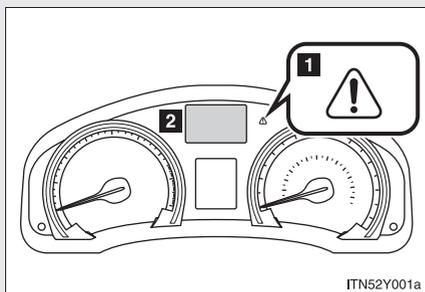
■ パワーステアリング警告灯が点灯したときは

ハンドルが非常に重くなることがあります。

ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

警告メッセージが表示されたときは

マルチインフォメーションディスプレイには、システムの故障や誤った操作をしたときの警告、メンテナンスが必要であることをお知らせするメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従ってご対処ください。



- 1** マスターウォーニングライト
マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されているとき、点灯・点滅します。
- 2** マルチインフォメーションディスプレイ

対処後に再度メッセージが表示されたときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

メッセージと警告作動

メッセージの内容によって警告灯や警告ブザーの作動が次のように切りかわります。販売店で点検をするように表示されたときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

	専用警告灯	警告ブザー※	警告内容
点灯	—	あり	走行に関わるシステムの故障や、そのまま放置すると思わぬ危険をまねくおそれがあるなどの重要なメッセージを意味します。
—	点灯または点滅	あり	表示されたシステムに故障のおそれがあるなどのメッセージを意味します。
点灯	—	なし	電装品の故障や状態、メンテナンスのお知らせなどのメッセージを意味します。
点滅	—	なし	お車を正しく操作していない場合や、操作方法のアドバイスなどを意味します。
点滅	—	あり	お車への損傷や思わぬ危険をまねくおそれがあることを意味します。
点滅	点灯または点滅	あり	お車への損傷や思わぬ危険をまねくおそれがある場合や、お車を正しく操作していない場合、または操作方法のアドバイスなどを意味します。

※ メッセージを最初に表示したときに作動します。

注意

■ エンジンオイルの油量低下が表示されたときは

エンジンオイルが少ない状態で、走行またはアイドリングを続けると、エンジンを損傷するおそれがあります。

5-2. 緊急時の対処法

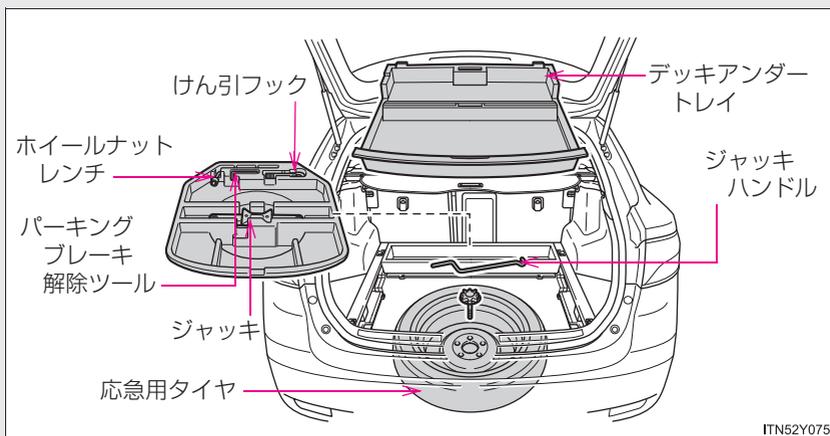
パンクしたときは

パンクしたタイヤを、備え付けの応急用タイヤと交換してください。
(タイヤについての詳しい説明は、P. 200 を参照してください)

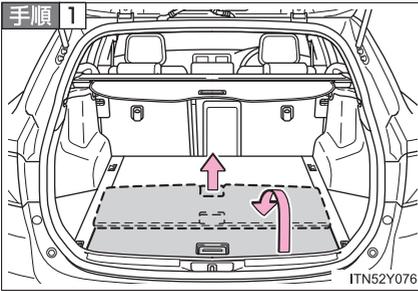
■ ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーをPに入れる
- エンジンを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

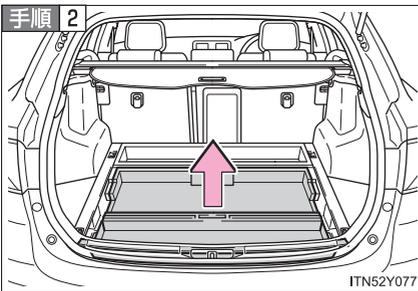
■ 工具とジャッキ位置



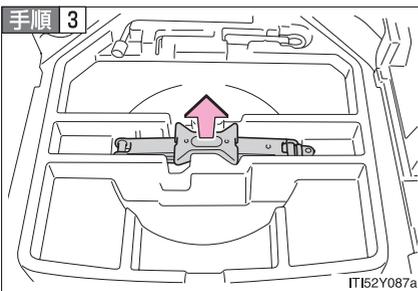
ジャッキの取り出し方



デッキボードを取りはずす

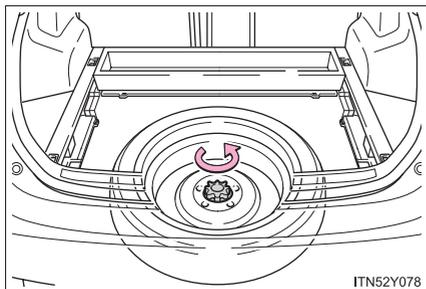


デッキアンダートレイを取りはずす



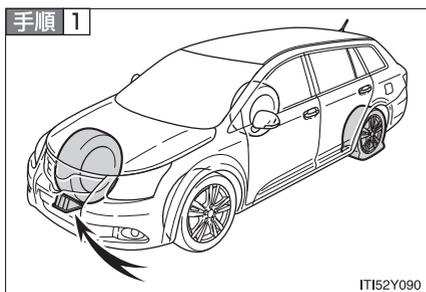
ジャッキを取り出す

応急用タイヤの取り出し方



留め具を取りはずし、タイヤを取り出す

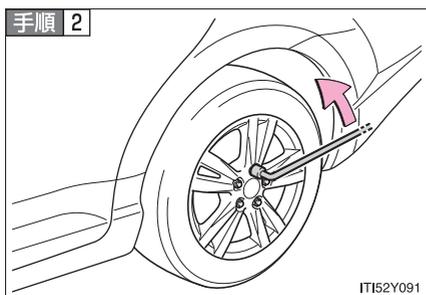
パンクしたタイヤの交換



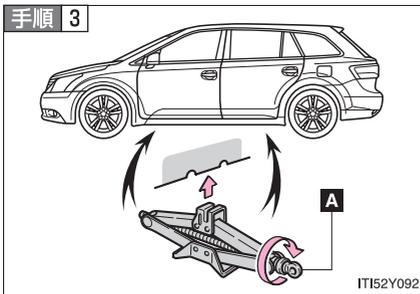
輪止め^{*}をする

パンクしたタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪うしろ
	右側	左側後輪うしろ
後輪	左側	右側前輪前
	右側	左側前輪前

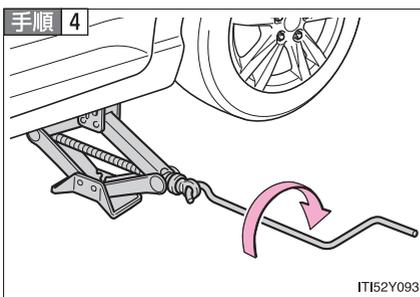
^{*} 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。



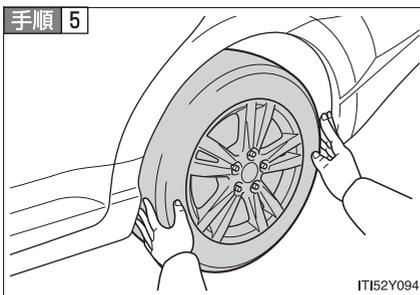
ナットを少し(約 1 回転)ゆるめる



ジャッキの A 部を手でまわして、ジャッキ溝をジャッキセット位置にしっかりかける



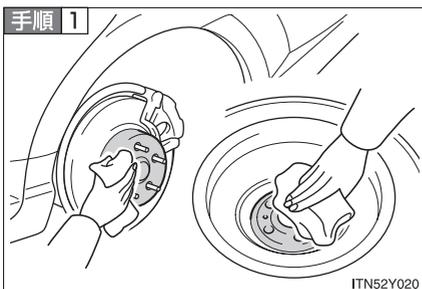
タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる



ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの意匠面に傷が付かないよう意匠面を上にします。

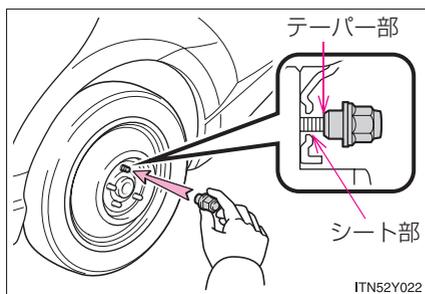
タイヤの取り付け



ホイール接触面の汚れをふき取る
ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。

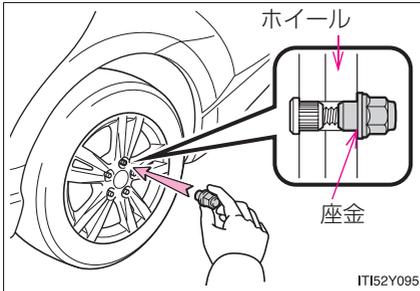
手順 2 タイヤを取り付け、タイヤががたつかない程度まで手でナットを仮締めする

▶ 応急用タイヤにかえるとき

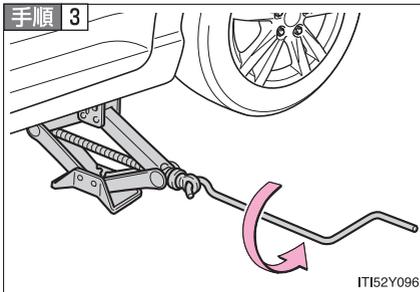


ナットのテーパ部がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす

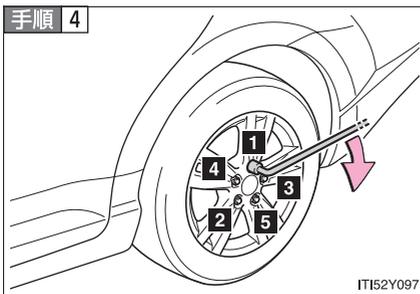
▶ アルミホイールにかえるとき



ナットの座金がホイールにあたるまで仮締めする



車体を下げる



図の番号順でナットを2、3度しっかり締め付ける

締め付けトルク：

103 N · m (1050 kgf · cm)

手順 5 すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを収納する

 知識

■ 応急用タイヤについて

- タイヤの側面に TEMPORARY USE ONLY と書かれています。
応急用にのみ使用してください。
- 空気圧を必ず点検してください。(→P. 287)

■ 雪道・凍結路で前輪がパンクしたときは

- 手順 1** 後輪を応急用タイヤと交換する
- 手順 2** パンクした前輪をはずした後輪と交換する
- 手順 3** タイヤチェーンを前輪に装着する

 **警告****■ 応急用タイヤを使用するときは**

- お客様のお車専用になっているため、他の車には使用しないでください。
- 同時に2つ以上の応急用タイヤを使用しないでください。
- できるだけ早く通常のタイヤと交換してください。
- 急加速・急ブレーキ・急減速・急旋回は避けてください。

■ 応急用タイヤ装着中は

正確な車両速度が検出できない場合があり、次のシステムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

- ABS
- ブレーキアシスト
- VSC
- TRC
- AFS

■ 応急用タイヤ使用時の速度制限

応急用タイヤを装着しているときは、100 km/h 以上の速度で走行しないでください。

応急用タイヤは、高速走行に適していないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

■ ジャッキの使用について

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

次のことをお守りください。

- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ジャッキセット位置に正しくジャッキがかかっていることを確かめる
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- ジャッキで支えられている状態で、エンジンをかけたり走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを載せない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
車両を下げる際は特に、ご自身や周囲の人がけがをしないよう注意してください。

 **警告****■ タイヤ交換について**

けがを負う危険を減らすため、次のことを必ずお守りください。

- 走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれない
走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているため、
タイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- ホイールの交換後は、すぐに 103 N・m (1050 kgf・cm) の力でナットを
締める
- タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
- ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常が
ある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける
- ナットを取り付けるときは、必ずテーパー部を内側にして取り付ける
(→P. 202)

上記のことをお守りいただかないと、ナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、
重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■パンクしたままの走行について**

タイヤがパンクした状態で走行を続けしないでください。

短い距離の運転でも、タイヤとホイールが修理できないほどの損傷になります。

■ 応急用タイヤ装着中は段差に注意

応急用タイヤ装着中は、標準タイヤ装着時にくらべ車高が低くなっています。
段差を乗り越えるときは注意してください。

■ 応急用タイヤ使用時のタイヤチェーン装着

応急用タイヤには、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンが車体側にあたり、走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。

エンジンがかからないときは

正しいエンジンのかけ方 (→P. 108) や、ステアリングロックの解除 (→P. 110) に従っても、エンジンがかからないときは、次のことを確認してください。

■ スターターは正常にまわっているのにエンジンがかからない場合

次の原因が考えられます。

- 燃料が入っていない可能性があります。
給油してください。
- 燃料を吸い込みすぎている可能性があります。
再度、正しい手順 (→P. 108) に従って、エンジンをかけてください。
- エンジンイモビライザーシステムに異常がある可能性があります。(→P. 68)

■ スターターがゆっくりまわる／室内灯・ヘッドライトが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーあがりの可能性があります。(→P. 275)
- バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

■ スターターがまわらない

電装品の断線やヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性がります。異常の種類によっては、エンジンを一時的な処置でかけることができます。(→P. 267)

■ スターターがまわらない／室内灯・ヘッドライトが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
- バッテリーあがりの可能性があります。(→P. 275)
- ステアリングロックシステムに異常がある可能性があります。

処置のしかたがわからないとき、あるいは処置をしてもエンジンがかからないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

緊急始動機能

通常のエンジン始動操作でエンジンが始動しないときは、次の手順でエンジンが始動する場合があります。緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

手順 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する

手順 2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する

手順 3 “エンジン スタート ストップ” スイッチをアクセサリモードにする

手順 4 ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、“エンジン スタート ストップ” スイッチを約 15 秒以上押し続ける

上記の方法でエンジンが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

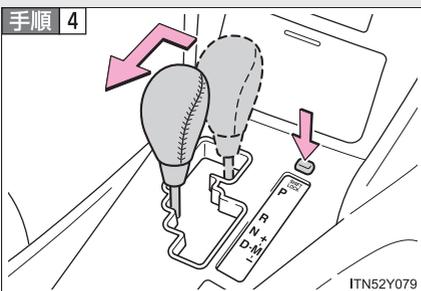
シフトレバーがシフトできないときは

ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステム（シフトレバーの誤操作を防ぐ装置）などの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。ただし一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

手順 1 パーキングブレーキをかける

手順 2 “エンジン スタート ストップ” スイッチをアクセサリモードにする

手順 3 ブレーキペダルを踏む



シフトロック解除ボタンを押す
ボタンを押しているあいだはレ
バーをシフトできます。

パーキングブレーキが解除できないときは

バッテリーがあがったときやパーキングブレーキスイッチを操作しても解除されないときは、次の手順で手動解除することができます。緊急時などでパーキングブレーキを解除する必要があるときのみ行ってください。

バッテリーが正常なときにスイッチ操作で解除できない場合は、パーキングブレーキシステムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

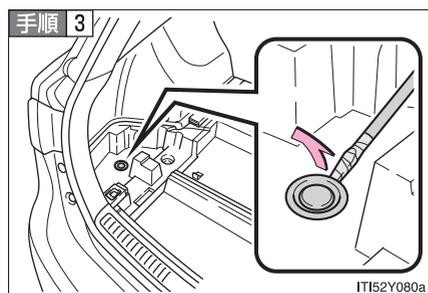
■ 手動解除する前に

- シフトレバーを P に入れる
- “エンジン スタート ストップ” スイッチを OFF にする
- パーキングブレーキ表示灯が消灯していることを確認する
- 輪止めがある場合は輪止めをする

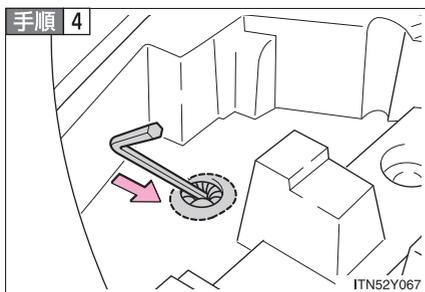
手動解除の方法

手順 1 パーキングブレーキ解除ツールをラゲージルームから取り出す
(→P. 256)

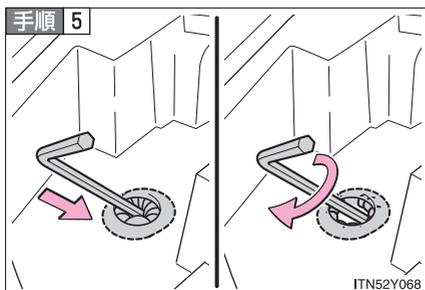
手順 2 左側のデッキサイドボードとデッキボードを取りはずす
(→P. 186)



キャップを取りはずす



保護シーンを取りはずすか、パーキングブレーキ解除ツールを挿し込んで破る



パーキングブレーキ解除ツールを押しあて、手を放してもはずれないよう挿し込む
カチカチと音がすることを確認しながら時計まわりにまわす
(約 600 回、20 分程度)

反時計まわりへまわすと、空まわりしますので、手を持ち変えずにまわせます。

パーキングブレーキを解除したあとは、パーキングブレーキ解除ツールをはずし、もとの場所に格納してください。

知識

■保護シールについて

保護シールが損傷したとき、または保護シールを紛失した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

万一、パーキングブレーキシステムに水が入ると、システムの交換が必要になる場合があります。

■手動解除について

パーキングブレーキを手動で解除することはできますが、手動でかけることはできません。

 **警告****■ 手動解除するときの警告**

- パーキングブレーキを手動で解除するときは、必ずシフトレバーを P に入れて、輪止めがある場合は輪止めをしてください。
お守りいただかないと、車両が動いて思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- パーキングブレーキを手動で解除するときは、必ず “ エンジン スタート ストップ ” スイッチを OFF にして、パーキングブレーキ表示灯が消灯していることを確認してください。“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがイグニッション ON モードのときに手動解除を行うと、システムが作動して挿し込んだツールが回転し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ パーキングブレーキの手動解除について**

- 手動で解除を行うときは、完全に解除されるまでパーキングブレーキ解除ツールをまわしてください。
途中で作業をやめると、パーキングブレーキシステムの故障につながります。
- 解除を行うときは、パーキングブレーキ解除ツール以外を使用しないでください。他のツールを使用すると、解除用の穴部を破損したり、挿し込んだツールが抜けなくなるおそれがあります。

キーをなくしたときは

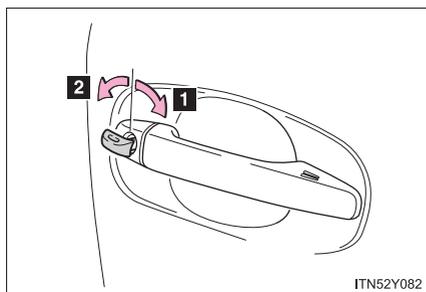
キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのキーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーを作ることができます。

(→P. 21)

電子キーが正常に働かないときは

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり (→P. 27)、電子キーの電池が切れたときは、スマートエントリー&スタートシステムとワイヤレスリモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアを開けたり、エンジンを始動したりすることができます。

ドアの施錠・解錠

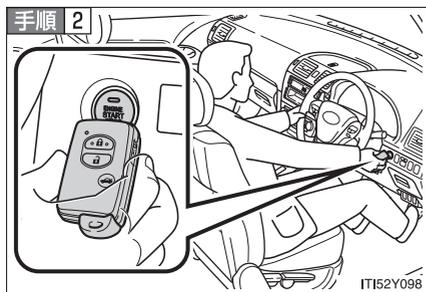


メカニカルキー (→P. 20) を使って、次の操作ができます。

- 1 全ドア施錠
- 2 全ドア解錠

モードの切りかえ・エンジン始動の方法

手順 1] シフトレバーが P の状態でブレーキペダルを踏む



電子キーのトヨタエンブレム面で“エンジン スタート ストップ”スイッチにふれる

この操作中にいずれかのドアが開閉されると、スマートエントリー&スタートシステムが“エンジン スタート ストップ”スイッチにふれた電子キーを正しく検知できず、警告音が鳴ります。

手順 3 モードの切りかえ：

ブザーが鳴ってから 10 秒以内に、ブレーキペダルから足をはなして“エンジン スタート ストップ”スイッチを押します。スイッチを押すごとにモードが切りかわります。

(→P. 109)

エンジン始動：

ブザーが鳴ってから 10 秒以内に、ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで“エンジン スタート ストップ”スイッチを押します。

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店に連絡してください。

 **知識**

■ **エンジン停止のしかた**

通常のエンジン停止のしかたと同様に、シフトレバーをPにして“エンジン スタート ストップ”スイッチを押します。

■ **電池交換について**

ここで説明しているエンジンの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(→P. 229)

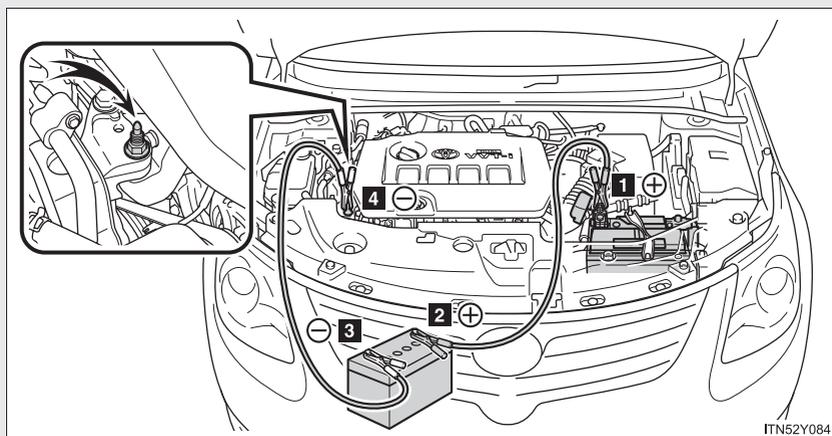
バッテリーがあがったときは

バッテリーがあがった場合、次の手順でエンジンを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、エンジンを始動させることができます。

手順 1 バッテリーカバーをはずす (→P. 208)

手順 2 バッテリーの+端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順につなぐ



- 1** 赤色のブースターケーブルを自車のバッテリーの+端子につなぐ
- 2** 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの+端子につなぐ
- 3** 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの-端子につなぐ
- 4** 黒色のブースターケーブルのもう一方の端をバッテリーから離れた、未塗装の金属部(図に示すような固定された部分)につなぐ

手順 3 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車のバッテリーを充電する

手順 4 “エンジン スタート ストップ” スイッチが OFF の状態でいずれかのドアを開閉する

手順 5 救援車のエンジン回転を維持したまま、“エンジン スタート ストップ” スイッチをいったんイグニッション ON モードにしてから自車のエンジンをかける

手順 6 自車のエンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順ではせず

エンジンがかかっても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

■ バッテリーあがり時の始動について

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■ バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンがかかっていないときは、ライトなどの電源を切ってください。
- 渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

■ バッテリーの充電について

バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、バッテリーがあがってエンジンを始動できなくなるおそれがあります。(バッテリーは走行中に自動で充電されます)

 **警告****■ バッテリーの引火または爆発を防ぐために**

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子または接続箇所以外に接触させない
- ブースターケーブルは+側と-側の端子を絶対に接触させない
- バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

■ バッテリーの取り扱いについて

バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- 必要以上に、顔や頭などをバッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったたりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまをバッテリーに近付けない

 **注意****■ ブースターケーブルの取り扱いについて**

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

オーバーヒートしたときは

オーバーヒートしたときは：

手順 1 車を安全な場所に止め、エアコンを止める

手順 2 エンジンルームから蒸気が出ているか確認する

蒸気が出ている場合：

エンジンを停止する。蒸気が出なくなったら注意してボンネットを開け、エンジンを再始動する

蒸気が出ていない場合：

エンジンをかけたまま注意してボンネットを開ける

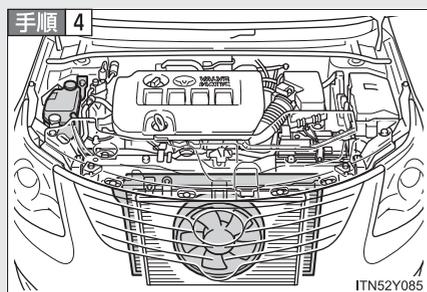
手順 3 ラジエーター冷却用のファンが作動しているか確認する

ファンが作動している場合：

水温計の表示が下がってきからエンジンを停止する

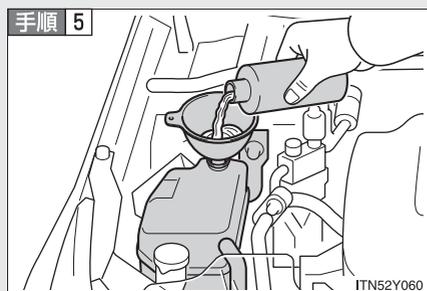
ファンが作動していない場合：

すぐにエンジンを停止して、トヨタ販売店に連絡する



エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量やラジエーターコア部（放熱部）の冷却水漏れを点検する

エンジンルームカバーを取りはずすには（→P. 208）



冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水が無い場合は、応急措置として水を補給してください。

早めに最寄りのトヨタ販売店で点検を受けてください。

 知識

■ オーバーヒートとは

次の状態がオーバーヒートです。

- メーター内の水温計の表示が上端まで達したり、エンジン出力が低下する
- エンジンルームから蒸気が出る

 警告

■ エンジンルーム点検中の事故やけがを防ぐために

- エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- エンジンがかかっているときは、手や着衣をファンやベルトからはなしてください。
- エンジンおよびラジエーターが熱いうちはラジエーターキャップを開けないでください。
高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

 注意

■ 冷却水を入れるときの注意

エンジンが十分に冷えてから入れてください。

冷却水はゆっくり入れてください。

エンジンが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。

スタックしたときは

ぬかるみや砂地、雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなくなったときは次の方法で脱出してください。

手順 1 パーキングブレーキをかけシフトレバーを P にして、エンジンを停止する

手順 2 タイヤ前後の土や雪を取り除く

手順 3 タイヤの下に木や石などをあてがう

手順 4 エンジンを再始動する

手順 5 シフトレバーを D または R に確実に入れ、注意しながらアクセルペダルを踏む

TRC・VSC の作動で脱出しにくいときは、TRC または VSC を停止してください。(→P. 147)

警告

■ 脱出するときは

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何も無いことを確認してください。

スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

■ シフトレバーを操作するときは

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

注意

■ トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために

- タイヤが空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

手順 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける

ブレーキペダルを繰り返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。

手順 2 シフトレバーを N に入れる

▶ シフトレバーが N に入った場合

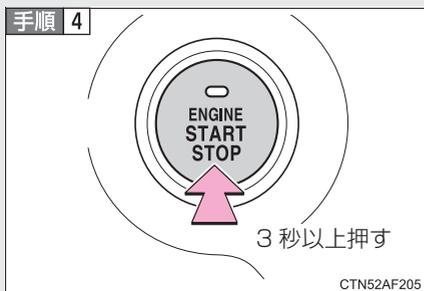
手順 3 減速後、車を安全な道路脇に停める

手順 4 エンジンを停止する

▶ シフトレバーが N に入らない場合

手順 3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる

手順 4



“エンジン スタートストップ”
スイッチを3秒以上押し続けて
エンジンを停止する

手順 5 車を安全な道路脇に停める

⚠ 警告

■ 走行中にやむを得ずエンジンを切るときは

ブレーキの効きが悪くなりハンドルが重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。エンジンを切る前に、十分に減速するようにしてください。

車両仕様

6

6-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など).....	284
-------------------------------------	-----

6-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ 機能一覧.....	289
-------------------------	-----

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルの品質により、お車の寿命は著しく左右されます。トヨタ車には最も適したトヨタ純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

燃料

指定燃料	容量 [L]（参考値）
無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク）	60

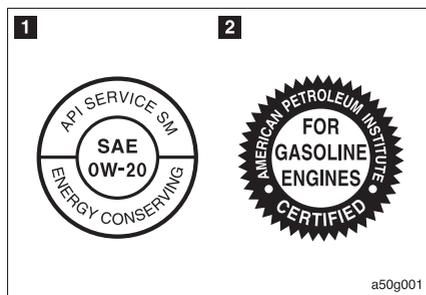
エンジンオイル

指定銘柄	容量 [L]（参考値）	
	オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換
トヨタ純正モーターオイル SM 0W-20 ※ —API SM, EC/ILSAC GF-4, SAE 0W-20	3.9	4.2
トヨタ純正モーターオイル SM 5W-30 —API SM, EC/ILSAC GF-4, SAE 5W-30		
トヨタ純正モーターオイル SM 10W-30 —API SM, EC/ILSAC GF-4, SAE 10W-30		
トヨタ純正モーターオイル SL 5W-20 —API SL, EC SAE 5W-20		
トヨタ純正モーターオイル SL 10W-30 —API SL, EC SAE 10W-30		

※ 0W-20 は新車時に充填されている、最も省燃費性に優れるオイルです。

■ 指定エンジンオイル

API 規格 SM/EC、SL/EC か、ILSAC 規格合格油をおすすめします。
 なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION (イルサックサーティフィケーション) マークがついています。

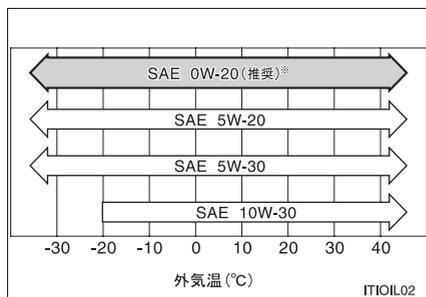


1 API マーク

2 ILSAC CERTIFICATION マーク

■ エンジンオイル推奨粘度

下記表に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



* 0W-20 は新車時に充填されている、最も省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について (例として 0W-20 で説明します) :

- 0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- 0W-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。粘度の高い (数値が大きい) オイルは、高速または重負荷走行に適しています。

ラジエーター

指定銘柄	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正スーパーロングライフクーラント 凍結保証温度 濃度 30% - 12℃ 濃度 50% - 35℃	6.2

トランスミッション

指定銘柄	容量 [L] (参考値 ^{*1})
トヨタ純正 CVT フルード TC	9.1

*¹ 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください。

ブレーキ**■ ブレーキペダル**

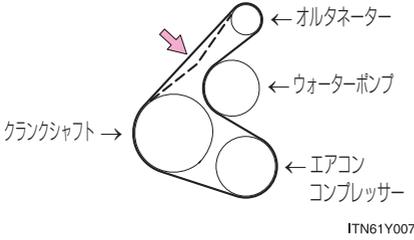
項目	基準値 [mm]
遊び	1 ~ 6
踏み込んだときの床板とのすき間 ^{*2}	58

*² エンジン回転時に 490 N (50 kgf) の踏力をかけたときの床板とのすき間の最小値

■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H

V リブドベルト

項目	基準値 [mm]
たわみ量  押力 98 N(10 kgf) (冷間時)	7.6 ~ 10

ウォッシャー

容量 [L] (参考値)
2.5

タイヤ・ホイール

タイヤサイズ		ホイールサイズ	タイヤが冷えているときの空気圧 kPa (kg/cm ²)	
			前輪	後輪
標準タイヤ	205/60R16 92V	16x6 1/2J	240(2.4)	220(2.2)
応急用タイヤ	T145/70D17 106M	17x4T	420 (4.2)	

電球 (バルブ)

電球		W (ワット) 数
車外	ヘッドライト ハイビーム (バルブタイプ : HB3)	60
	ロー/ハイビーム (バルブタイプ : D4S)	35
	車幅灯	5
	フロント方向指示兼非常点滅灯	21
	サイド方向指示兼非常点滅灯	LED *
	リヤ方向指示兼非常点滅灯	21
	制動灯/尾灯	LED *
	後退灯	21
	リヤフォグライト	21
	ハイマウントストップライト	LED *
	番号灯	5
	車内	パーソナル/インテリアライト
バニティライト		8
ドアカーテシライト		5
ラゲージルームライト		5

* LED は、Light Emitting Diodes(発光ダイオード)の略で、半導体発光電子素子です。

車両仕様

型式	エンジン	駆動方式
ZRT272W	3ZR-FAE (2L ガソリン)	2WD (前輪駆動)

ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車には、設定を変更することが可能な数多くの装備が付いています。
トヨタ販売店で作動などをご希望の設定に変更することができます。

機能によっては、他の機能と連動して設定が変わるものもあります。詳しくは
トヨタ販売店へお問い合わせください。

項目	機能の内容	初期設定	変更後
スマートエントリー&スタートシステム (→P. 22)	スマートエントリー&スタートシステム	あり	なし
ワイヤレスドアロック (→P. 34)	ワイヤレス機能	あり	なし
	作動の合図（非常点滅灯）	あり	なし
	半ドア警告ブザー	あり	なし
	解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠までの時間	30 秒	60 秒 120 秒
ドアロック (→P. 38)	車速感応オートロック	あり	なし
	運転席 ドア連動オートアンロック	なし	あり
	シフト連動オートアンロック	あり	なし
	シフト連動オートロック	なし	あり
ライト自動点灯・消灯システム (→P. 135)	ライトセンサーの感度調整	レベル 3	レベル 1～5

項目	機能の内容	初期設定	変更後
イルミネーション (→P. 169)	消灯までの時間	15 秒	7.5 秒
			30 秒
	“エンジンスタートストップ” スイッチ OFF 後の作動	あり	なし
	解錠時の作動	あり	なし
	電子キーを携帯して、車両に接近したときの点灯（インテリア ライトメインスイッチがドア ポジションのとき）	あり	なし

さくいん

略語一覧.....	292
五十音順さくいん.....	293
症状別さくいん.....	304

アルファベット略語一覧

アルファベット略語	カタカナ表記
ABS	アンチロックブレーキシステム
AFS	アダプティブフロントライティングシステム
DISP	ディスプレイ
ECO	エコノミー／エコロジー
ECU	電気制御ユニット
EDR	イベントデータレコーダー
EPS	電気パワーステアリング
LED	ライトエミティングダイオード
SRS	サブリメンタルレストレイントシステム
S-VSC	ステアリングアシステッドビークルスタビリティコントロール
TRC	トラクションコントロール
VSC	ビークルスタビリティコントロール

あ	アームレスト	182
	アウターミラー	59
	アクセサリースOCKET	181
	アクティブヘッドレスト	46
	アダプティブフロントライティング システム (AFS)	136
	アンチロックブレーキ システム (ABS)	146
	アンテナ	192

い	イグニッションスイッチ	108
	イベントデータレコーダー (EDR)	248
	イルミネーション 作動について	169
	点灯する部位	167
	ユーザーカスタマイズ機能	290
	イルミネーテッド エントリーシステム	169
	インジケーター	124
	インナーミラー	58

う	ウインカー (方向指示灯) W 数	288
	電球の交換	214, 216
	方向指示レバー	117
	ウインドウ ウォッシュャー	140, 144
	パワーウインドウ	61
	リヤウインドウ デフォッガー	166
	ウインドウロックスイッチ	61
	ウォーニングライト (警告灯)	250
	ウォッシュャー 液の補給	232
	スイッチ	140, 144
	タンク容量	287
	冬の前の準備・点検	153
	運転 環境に配慮した運転	99
	寒冷時の運転	153
	正しい姿勢	69
	手順	98
	運転席シートベルト 非着用警告灯	252

え	AFS	136
	エアコン	
	オートエアコン	158
	フィルターの清掃・交換	233
	エアバッグ	
	一般的な警告	76
	SRS エアバッグ	71
	お子さまのための注意	76
	カーテンシールドエアバッグに 関する警告	76
	カーテンシールドエアバッグの 作動条件	73
	改造・廃棄	79
	警告灯	251
	サイドエアバッグに 関する警告	76
	サイドエアバッグの 作動条件	73
	正しい姿勢	69
	配置	71
	フロント SRS エアバッグの 作動条件	72
	エコドライブ	
	インジケーターゾーン表示	129
	エコドライブ	
	インジケーターランプ	99
	エレクトリックパワー	
	ステアリング (EPS)	146

エンジン	
イグニッション スイッチ	108
エンジン回転計 (タコメーター)	121
エンジンがかからない	266
エンジン警告灯	251
エンジン スイッチ	108
オーバーヒート	278
かけ方	108
ボンネット	203
エンジンイモビライザー	
システム	68
エンジンオイル	
冬の前の準備・点検	153
容量	284
“エンジン スタート ストップ” スイッチ 操作方法	108
エンジンルームカバー	208
お	
オイル	
油脂類の容量と銘柄	284
応急用タイヤ	
空気圧	287
取り出し方	258
オートエアコン	158
オートドアロック・ アンロック機能	38

オートマチックトランスミッション	
シフトレバーが	
シフトできない	268
トランスミッション	112
7速スポーツシーケンシャル	
シフトマチックモード	114
オートレベリングシステム	138
オーバーヒート（エンジン）	278
オープナー	
給油口	64
バックドア	41
ボンネット	203
お子さまの安全のために	
ウインドウロックスイッチ	61
エアバッグに関する警告	76
お子さまのシートベルト	
着用	54
お子さまを乗せるときの	
警告	40, 49
キーの電池に関する警告	230
子供専用シート	80
シートベルトに関する警告	55
チャイルドシートの取り付け	89
チャイルドプロテクター	37
発炎筒の取り扱いに	
関する警告	241
バッテリーに関する警告	277
パワーウィンドウに	
関する警告	63
オドメーター（積算距離計）	121

か	カーテンシールドエアバッグ	71
	外気温度表示	128
	カスタマイズ機能	289
	ガソリンスタンドでの情報	308
	カップホルダー	174
	ガレージジャッキ	206

き	キー	
	イグニッション	
	スイッチ	108
	エンジンスイッチ	108
	キーナンバープレート	21
	キーの構成	20
	キーレスエントリー	34
	キーをなくした	272
	作動範囲	26
	正常に働かない	273
	電子キー	20
	電子キーの電池が切れた	273
	電池交換	229
	メカニカルキー	20
	ワイヤレスリモコン	34
	給油口	64
	緊急時の対処	
	エンジンがかからない	266
	オーバーヒートした	278
	キーの電池が切れた	273
	キーをなくした	272
	緊急用フック	243
	警告灯がついた	250
	警告メッセージが	
	表示された	254
	けん引	242
	故障したときは	238

シフトレバーが	
シフトできない	268
車両を緊急停止する	281
スタックした	280
電子キーが正常に働かない	273
パーキングブレーキが	
解除できない	269
発炎筒	240
バッテリーがあがった	275
パンクした	256
緊急ブレーキシグナル	146
く 空気圧 (タイヤ)	287
空調 (エアコン)	
オートエアコン	158
フィルターの清掃・交換	233
区間距離計 (トリップメーター)	121
曇り取り	
フロントウインドウガラス	162
ミラーヒーター	166
リヤウインドウ	
デフォグガー	166
グローブボックス	171
け 警告器 (ホーン)	120
計器 (メーター)	
DISP ボタン	127
メーター	121
警告灯	
ABS & ブレーキアシスト	251
AFS OFF 表示灯	251
SRS エアバッグ／	
プリテンショナー	251
エンジン	251
シートベルト非着用	252
充電	250

スリップ表示灯	251
電子制御ブレーキ	251
燃料残量	252
パーキングブレーキ表示灯	252
パワーステアリング	251
ブレーキ	250
マスターウォーニング	
ライト	252
警告ブザー	
シートベルト非着用	252
シフトダウン制限	115
スマートエントリー&	
スタートシステム	31
パーキングブレーキ	
未解除走行時	252
半ドア	35
ライト消し忘れ	138
警告メッセージ	254
化粧用 (バニティ) ミラー	178
けん引	242

こ

交換	
キーの電池	229
タイヤ	258
電球	210
ヒューズ	220
ワイパーゴム	235
工具 (ツール)	256
航続可能距離	129
後退灯 (バックアップライト)	
W 数	288
電球の交換	215
子供専用シート	80
コンソールボックス	172

さ	サイドエアバッグ.....	71
	サイド方向指示灯	
	W数.....	288
	電球の交換.....	217
	レバー.....	117
	サンバイザー.....	177

し	シート	
	正しい姿勢.....	69
	チャイルドシートの固定.....	89
	手入れ.....	197
	フロントシートの調整.....	46
	フロントシートの調整に 関する警告.....	47
	ヘッドレスト.....	50
	リヤシートの操作.....	48
	リヤシートの操作に関する 警告.....	49
	シートベルト	
	お子さまの着用.....	54
	緊急時シートベルト 固定機構.....	53
	シートベルト非着用 警告灯.....	252
	シートベルト	
	プリテンショナー.....	53
	清掃・手入れ.....	198
	高さ調節.....	52
	正しい着用.....	52
	チャイルドシートの固定.....	89
	妊娠中の方の着用.....	54

シガレットライター.....	180
室内灯	
W数.....	288
インテリアライト.....	168
パーソナルライト.....	168
シフトレバー	
シフトレバーが シフトできない.....	268
トランスミッション.....	112
シフトロックシステム.....	268
車速	
スピードメーター.....	121
平均車速.....	130
ジャッキ	
ガレージジャッキ.....	206
車載ジャッキ.....	257
ジャッキハンドル.....	256
車幅灯	
W数.....	288
スイッチ.....	135
電球の交換.....	213
車両型式.....	288
車両仕様（スベック）.....	288
収納装備.....	170
瞬間燃費.....	128
助手席シートベルト	
非着用警告灯.....	252

す	水温計	121
	スイッチ	
	AFS OFF	136
	DISP	122
	VSC OFF	147
	イグニッション	108
	ウインドロック	61
	エンジン	108
	“エンジン スタート ストップ”	108
	給油口オープナー	64
	室内灯	168
	ステアリング	127, 190
	スポーツモード	113
	ドアミラー調整	59
	ドアロック	36
	パーキングブレーキ	118
	ハザードライト	239
	パドルシフト	114
	パワーウインドウ	61
	非常点滅灯	239
	メーター照度調整	122
	ライト	135
	リヤウインドウ	
	デフォグガー	166
	ワイパー&	
	ウォッシャー	140, 144
	スターター	
	エンジンの始動	108
	スターターがまわらない	266
	スタック	
	スタックした	280
	ステアリングアシステッドビークル	
	スタビリティコントロール	
	(VSC)	146

ステアリングスイッチ	
オーディオの操作	190
マルチインフォメーション	
ディスプレイの表示	
切りかえ	127
ステアリングホイール (ハンドル)	
ステアリングロックを	
解除する	110
調整	57
スピードメーター	121
スペアタイヤ (応急用タイヤ)	
空気圧	287
収納場所	256
スペック (車両仕様)	288
スポーツシーケンシャル	
シフトモード	
7速スポーツシーケンシャル	
シフトマチックモード	114
スポーツモードスイッチ	113
スマートエントリー&	
スタートシステム	
エンジンの始動	108
カスタマイズ機能	289
作動範囲	26
正常に働かない	273
節電機能	28
ドアの解錠・施錠	23

せ	清掃	
	外装	192
	シートベルト	198
	内装	197
	制動灯 (ストップライト)	
	W 数	288
	電球の交換	217

積算距離計 (オドメーター)	121	つ	ツール (工具)	256
節電機能	28			
洗車	192	て	DISP	
前照灯 (ヘッドライト)			スイッチ	127
W 数	288		ボタン	127
スイッチ	135		手入れ	
ディスチャージヘッドライトに			外装	192
関する警告	219		シートベルト	198
電球の交換	212, 217		内装	197
そ 走行時間	130		テールライト (尾灯)	
速度計 (スピードメーター)	121		W 数	288
			スイッチ	135
			電球の交換	217
た ターンシグナルライト (方向指示灯)			デッキアンダートレイ	186
W 数	288		デッキサイドボード	186
電球の交換	214, 216, 217		デッキフック	186
方向指示レバー	117		デッキボード	186
タイヤ			デフォッガー	
応急用タイヤ	256		フロントウインドウ	
空気圧	287		ガラス	162
交換	258		リヤウインドウ	
チェーン	153		デフォッガー	166
点検	200		電球 (バルブ)	
パンクした	256		W 数	288
冬用タイヤ	153		交換	210
ローテーション	200		電子キー	
タコメーター			作動範囲	26
(エンジン回転計)	121		正常に働かないとき	273
			節電機能	28
			電池が切れた	229, 273
ち チェーン (タイヤチェーン)	153			
チャイルドシート				
ISOFIX バーでの固定	91			
子供専用シート	80			
シートベルトでの固定	90			
チャイルドプロテクター	37			
駐車ブレーキ				
(パーキングブレーキ)	118			

と	ドア	
	ドアガラス.....	61
	ドアミラー.....	59
	ドアロック.....	36
	ドアガラス.....	61
	ドアミラー.....	59
	盗難防止システム	
	エンジンイモビライザー	
	システム.....	68
	時計.....	132
	トップテザーアンカー.....	89
	トノカバー.....	188
	トラクションコントロール	
	(TRC).....	146
	トランスミッション	
	トランスミッション.....	112
	シフトレバーが	
	シフトできない.....	268
	7速スポーツシーケンシャル	
	シフトマチックモード.....	114
	トリップインフォメーション.....	127
	トリップメーター	
	(区間距離計).....	121

に	荷物	
	積むときの注意.....	151
	ラゲージルーム内装備.....	186

ね	燃費	
	瞬間燃費.....	128
	平均燃費.....	128
	燃料	
	ガソリンスタンドでの情報.....	308
	給油.....	64
	種類.....	284
	燃料計.....	122
	容量.....	284

は	パーキングブレーキ	
	(駐車ブレーキ).....	118
	パーソナルライト	
	W数.....	288
	スイッチ.....	168
	灰皿.....	179
	ハイマウントストップライト	
	W数.....	288
	電球の交換.....	217
	ハザードライト	
	W数.....	288
	スイッチ.....	239
	電球の交換.....	214, 216, 217
	挟み込み防止機能.....	63
	発炎筒.....	240
	バックアップライト(後退灯)	
	W数.....	288
	電球の交換.....	215
	バックドア	41
	バッテリー	
	バッテリーがあがった.....	275
	バッテリーカバーの	
	取りはずし.....	208
	バッテリーの交換.....	204
	冬の前の準備・点検.....	153

バニティ（化粧用）ミラー	178
バルブ（電球）	
W数	288
交換	210
パワーウィンドウ	61
パンク	
パンクした	256
番号灯（ライセンスプレートライト）	
W数	288
電球の交換	217
ハンドル（ステアリングホイール）	
ステアリングスイッチ	190
ステアリングロック	110
調整	57
ひ ビークルスタビリティ	
コントロール（VSC）	146
ヒーター	
オートエアコン	158
ミラーヒーター	166
非常点滅灯（ハザードライト）	
W数	288
スイッチ	239
電球の交換	214, 216, 217
尾灯（テールライト）	
W数	288
ライトスイッチ	135
電球の交換	217
ヒューズ	220
表示灯	124

ふ フォグライト（リヤフォグライト）	
W数	288
スイッチ	139
電球の交換	215
フック	
けん引フック	242
デッキフック	186
フューエルポンプ	
シャットオフシステム	247
冬用タイヤ	153
ブレーキ	
パーキングブレーキ	118
メンテナンスデータ	286
ブレーキアシスト	146
フロアマット	184
フロントシート	
調整	46
フロント方向指示灯	
W数	288
電球の交換	214
レバー	117
へ 平均車速	130
平均燃費	128
ヘッドライト	
W数	288
スイッチ	135
ディスチャージヘッドライトに 関する警告	219
電球の交換	212, 217
ライト消し忘れ防止機能	137
ライトセンサー	137
ヘッドレスト	
調整	50

ほ	ホイール	
	サイズ.....	287
	手入れ.....	193
	ホイールナットレンチ.....	256
	方向指示灯（ウインカー）	
	W数.....	288
	電球の交換.....	214, 216, 217
	方向指示レバー.....	117
	ホーン（警音器）.....	120
	ボトルホルダー.....	175
	ボンネット.....	203

ま	マルチインフォメーション	
	ディスプレイ.....	127

み	ミラー	
	インナーミラー.....	58
	ドアミラー.....	59
	バニティミラー.....	178
	ミラーヒーター.....	166

め	メーター（計器）	
	DISP ボタン.....	127
	マルチインフォメーション	
	ディスプレイ.....	127
	メーター.....	121
	メーター照度調整.....	123
	メンテナンス	
	メンテナンスデータ.....	284

も	ユーザーカスタマイズ機能.....	289
	油脂類.....	284

ら	ライセンスプレートライト（番号灯）	
	W数.....	288
	スイッチ.....	135
	電球の交換.....	217

	ライト	
	W数.....	288
	インテリアライト.....	168
	電球の交換.....	210
	パーソナルライト.....	168
	ハザードライト.....	239
	非常点滅灯.....	239
	ヘッドライト.....	135
	方向指示灯.....	117
	ラゲージルームライト.....	42
	リヤフォグライト.....	139
	ライト消し忘れ防止機能.....	137
	ライトセンサー.....	137
	ラゲージスルー.....	183
	ラゲージルーム.....	186
	ラゲージルームライト	
	W数.....	288
	作動について.....	42

り	リヤウインドウデフォグガー.....	166
	リヤシート.....	48
	リヤセンターアームレスト.....	182
	リヤフォグライト	
	W数.....	288
	スイッチ.....	139
	電球の交換.....	215
	リヤ方向指示灯	
	W数.....	288
	方向指示レバー.....	117
	電球の交換.....	216

る ルームミラー（インナーミラー）... 58

れ 冷却水

冬の前の準備・点検 153

容量 286

冷却装置

エンジンオーバーヒート 278

ろ ロック

ウインドウロック 61

シフトロックシステム 268

チャイルドプロテクター 37

ドアロック 36, 38

わ ワイパー

フロント 140

リヤ 144

ワイパーゴムの交換 235

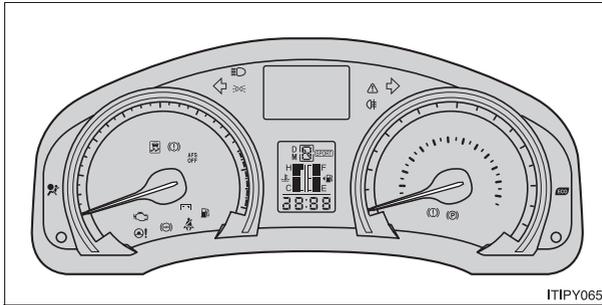
ワイパーブレード 154

ワイヤレスリモコン

電池交換 229

リモコン 34

タイヤがパンクした	P. 256	パンクしたときは
エンジンがかからない	P. 266	エンジンがかからないときは
	P. 68	エンジンイモビライザーシステム
	P. 275	バッテリーがあがったときは
シフトレバーが動かない	P. 268	シフトレバーがシフトできないときは
水温計の表示が上端まで達した	P. 278	オーバーヒートしたときは
エンジンルームから蒸気が立ちのぼった		
キーをなくした	P. 272	キーをなくしたときは
バッテリーがあがった	P. 275	バッテリーがあがったときは
ドアが施錠できない	P. 22 P. 34 P. 36	ドア
ぬかるみや砂地などで動けなくなった	P. 280	スタックしたときは
警告灯が点灯・点滅した	P. 250	警告灯がついたときは



■警告灯一覧

	ブレーキ警告灯 (赤色) P. 250		AFS OFF 表示灯 (点滅) P. 251
	充電警告灯 P. 250		スリップ表示灯 (点滅) P. 251
	エンジン警告灯 P. 251		パワーステアリング 警告灯 P. 251
	SRSエアバッグ/プリテン ショナー警告灯 P. 251		燃料残量警告灯 P. 252
	ABS& ブレーキアシ スト警告灯 P. 251		運転席シートベルト非着 用警告灯 P. 252
	電子制御ブレーキ警 告灯 (黄色) P. 251		助手席シートベルト非着 用警告灯 P. 252
			マスターウォーニング P. 252

警告メッセージが表示された

P. 254 警告メッセージが表示されたときは

警告音が鳴った

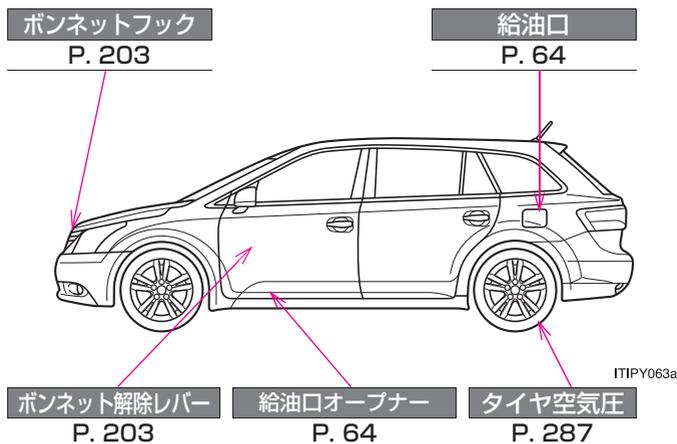
■警告灯の点灯・点滅をご確認ください。(→P. 250)

■警告灯が点灯・点滅していないとき、または車外で警告音が鳴ったときは、次のことをご確認ください。

お車の状況	鳴ったときの状況	参照ページ
停車／駐車中	エンジンを停止したとき	P. 31
	ドアを開けたとき	
	車外に出たとき	
	スマートエントリー&スタートシステムで施錠したとき	
走行中	シフトレバーをRにしたとき	P. 115
	ブレーキを踏んだとき	P. 102

ガソリンスタンドでの情報

給油や交換などの際に必要になる項目をまとめてあります。



燃料の容量 (参考値)	60L
燃料の種類	無鉛プレミアムガソリン (無鉛ハイオク) P. 65, 284
タイヤが冷えているときの空気圧	標準タイヤ 前輪 : 240(2.4) kPa(kg/cm ²) 後輪 : 220(2.2) kPa(kg/cm ²) 応急用タイヤ : 420 (4.2) kPa (kg/cm ²)
エンジンオイル容量 (参考値)	オイルのみ交換時 : 3.9L オイルとオイルフィルター交換時 : 4.2L
エンジンオイルの種類	トヨタ純正モーターオイル ・ SM 0W-20 (API SM, EC/ILSAC GF-4, SAE 0W-20) ・ SM 5W-30 (API SM, EC/ILSAC GF-4, SAE 5W-30) ・ SM 10W-30 (API SM, EC/ILSAC GF-4, SAE 10W-30) ・ SL 5W-20 (API SL, EC SAE 5W-20) ・ SL 10W-30 (API SL, EC SAE 10W-30)

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00～18:00

所在地 〒450 - 0002 名古屋市中村区名駅四丁目10の27
第二豊田ビル西館7階

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp>にて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>



M 20B67
01999-20B67
11-2011年11月21日
2011年9月16日 初版
2011年11月28日 2版
アベンス